

疾風天国 風のクロノア 1

かとうひろし

♣ 小学館

TC-2456

ISBN4-09-142456-2

C9979 ¥390E

9784091424563

1929979003906

定価：本体390円＋税

雑誌 45234-56 小学館



●作品紹介

★大人気ゲームソフト「風のクロノア」が、ついにまんがで登場だ！　敵キャラも味方キャラも、みんながなかよく暮らすルーナティア・風の街で、主人公・クロノアが巻き起こす大騒動の数かず…。爆笑連発のギャグストーリー！！

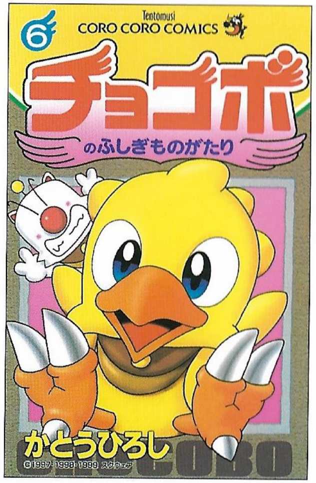
かとうひろし先生

作品ライブラリー

てんとう虫コミックス

チョコボのふしぎものがたり

全6巻



大人気ゲームのキャラクター・チョコボとおともだちのモーグリが、お宝探して大冒険。2人を待ち受けるゆかいなモンスターたち。笑いと感動のアドベンチャーファンタジー!!



かとうひろし

まんが家

生まれて間もない
子猫を拾って数カ月。
やたら元気に成長した彼は、
じゃれてるつもりで
噛む、引っかく、猫キックの嵐。
おかげでボクの腕は
傷だらけなのだ。

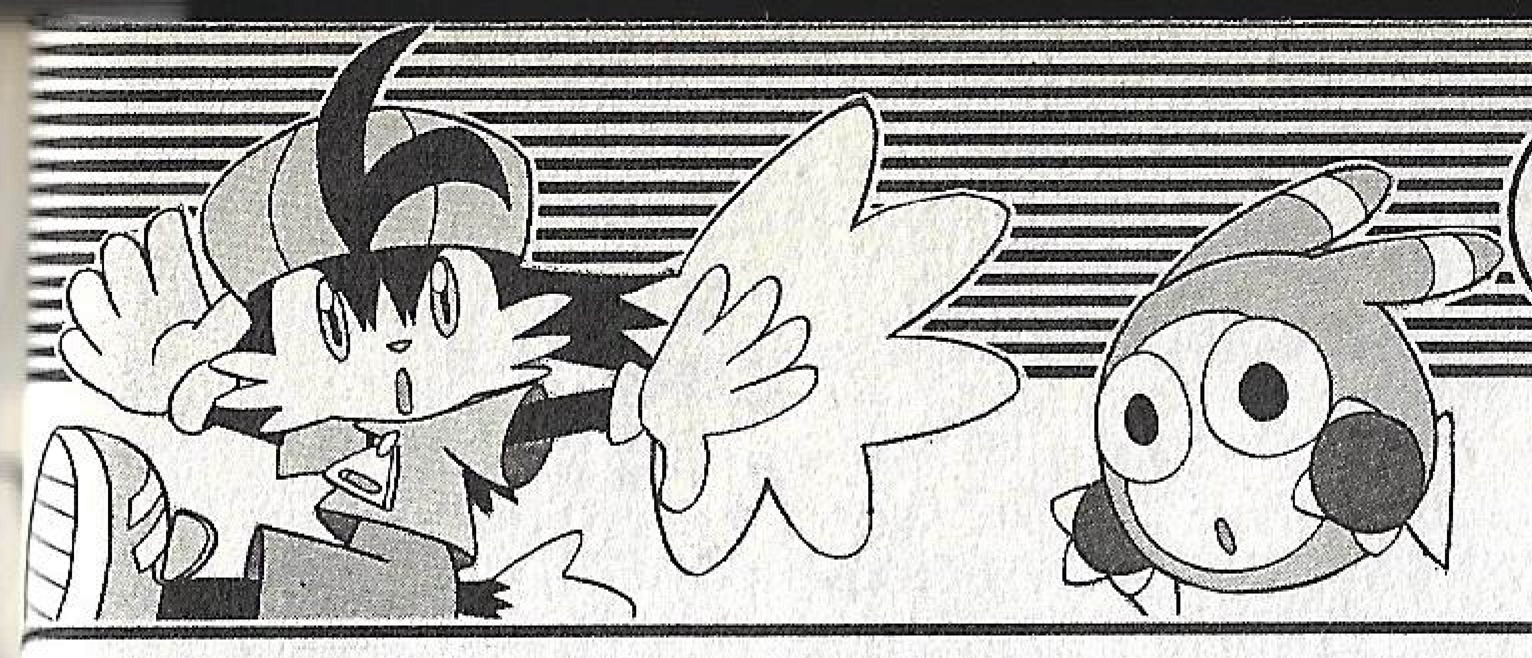
カバーデザイン　TITAN HEADS



コロコロコミック掲載作品

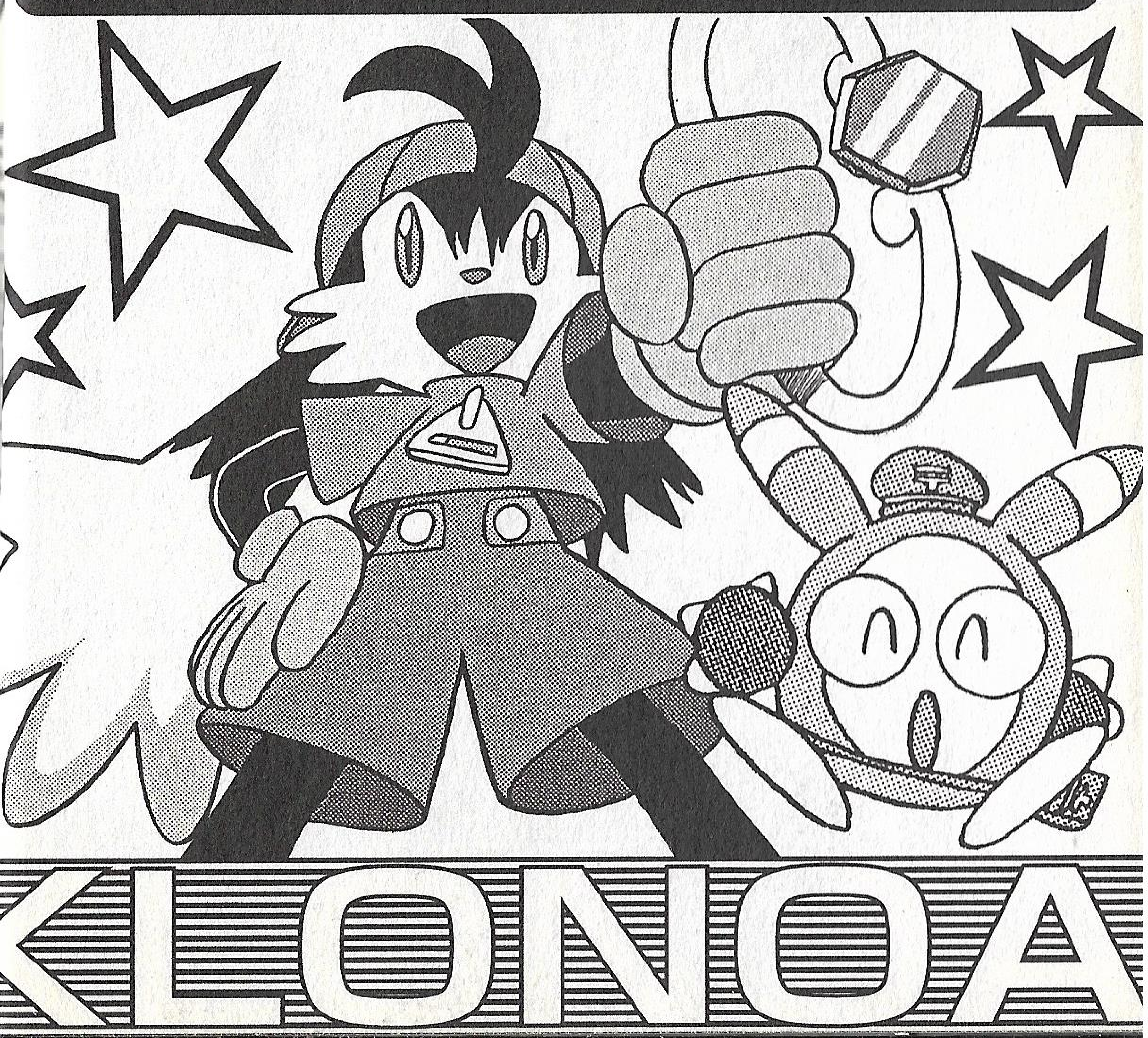


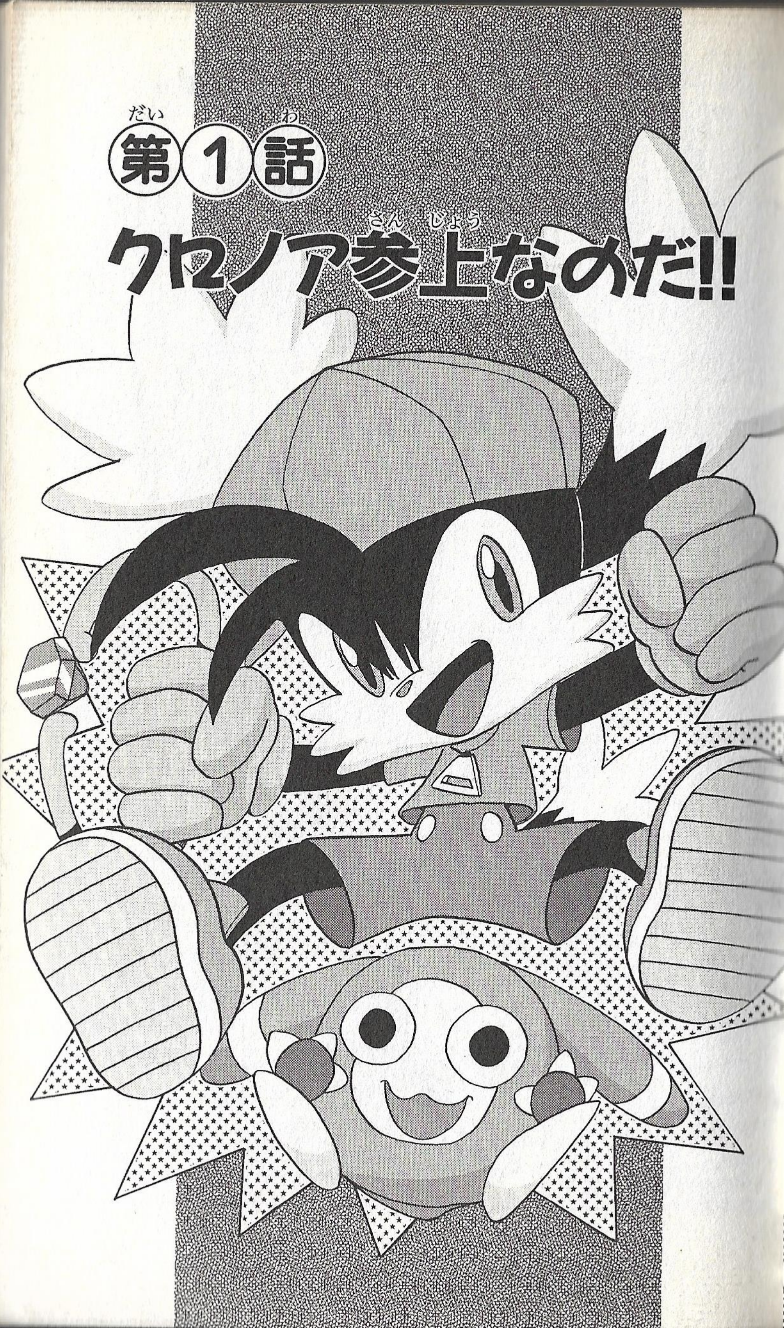
疾風天国 風のクロノア
キャラクター紹介
クロノア
陽気で、ちょっぴりドジな主人公。風だまという技を使う。
ムゥ
風の街の郵便屋さん。クロノアのツッコミ役!?
風の街の住民たち
クロノアが住むルナーティア・風の街は、個性的な住民でいっぱい。
フロロ
ジリアス
ロロ
よろいムゥ
ガンツ
金色の死神と呼ばれている、賞金かせぎ。
KLONOA
KLONOA

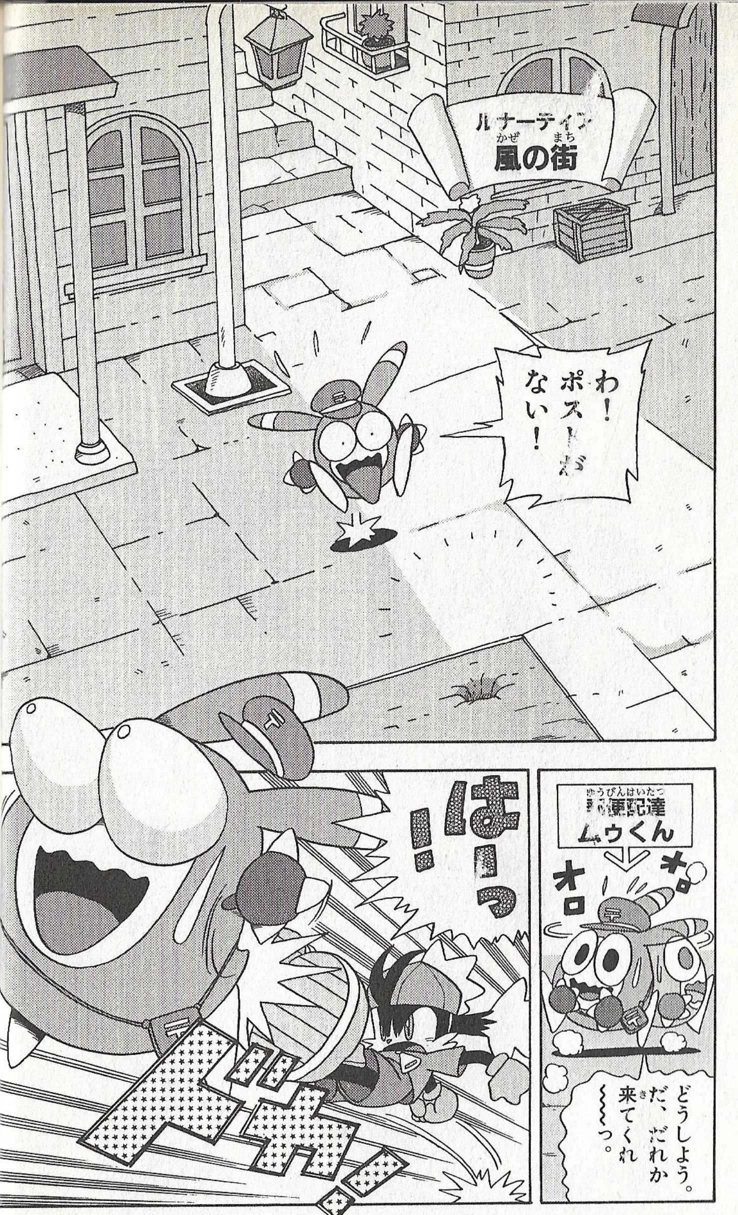


もくじ

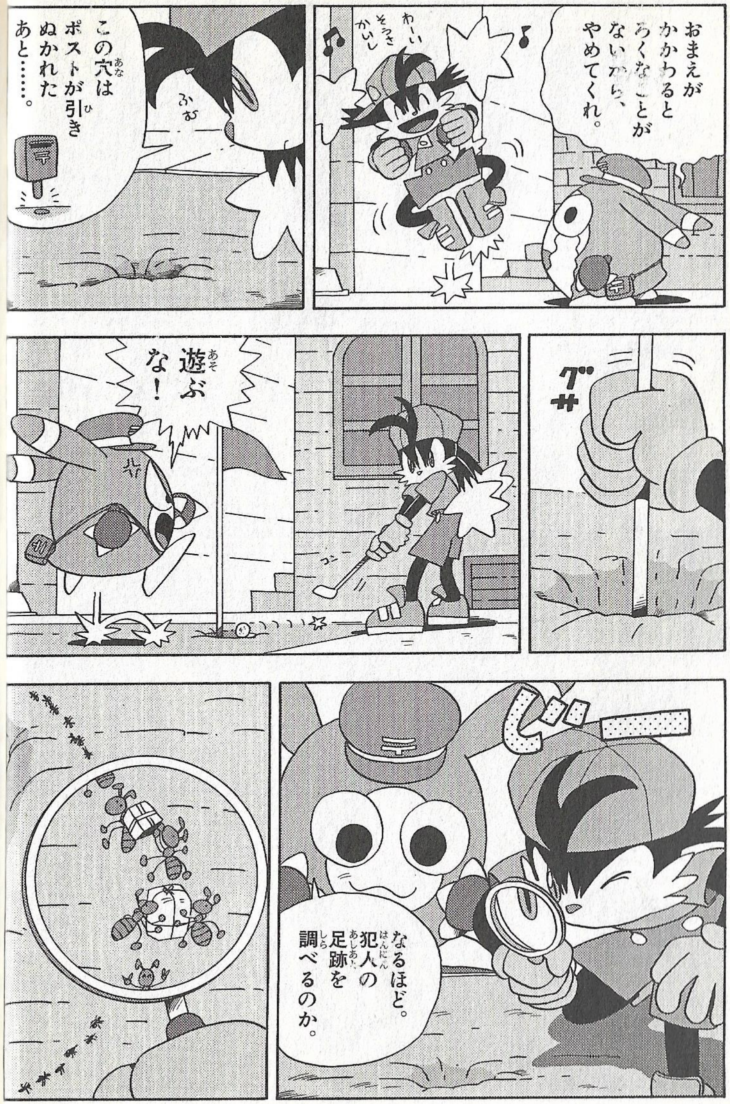
vol.1



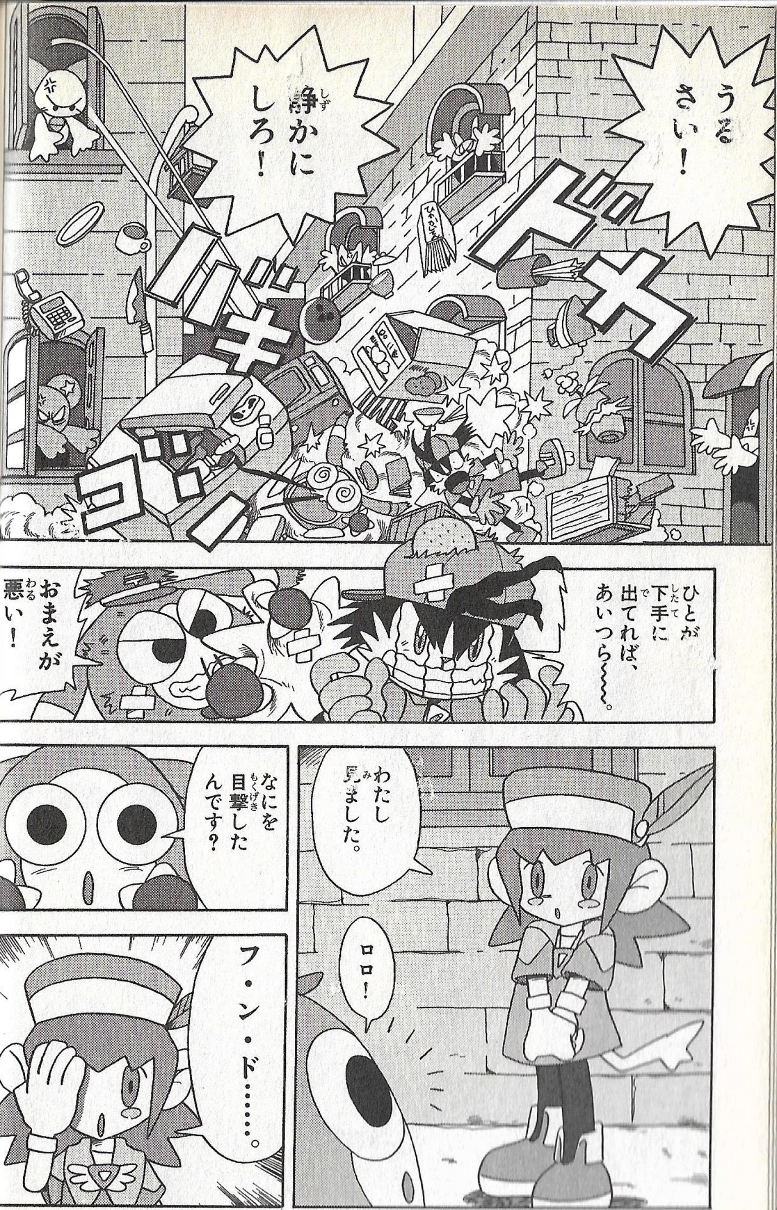

第1話
クロノア参上なのだ!!


ルナーテイズ
風の街
わ！ポストがない！
はーっ！
郵便配達
ムゥくん
オロ オロ
どうしよう。だ、だれか来てくれ〜〜っ。

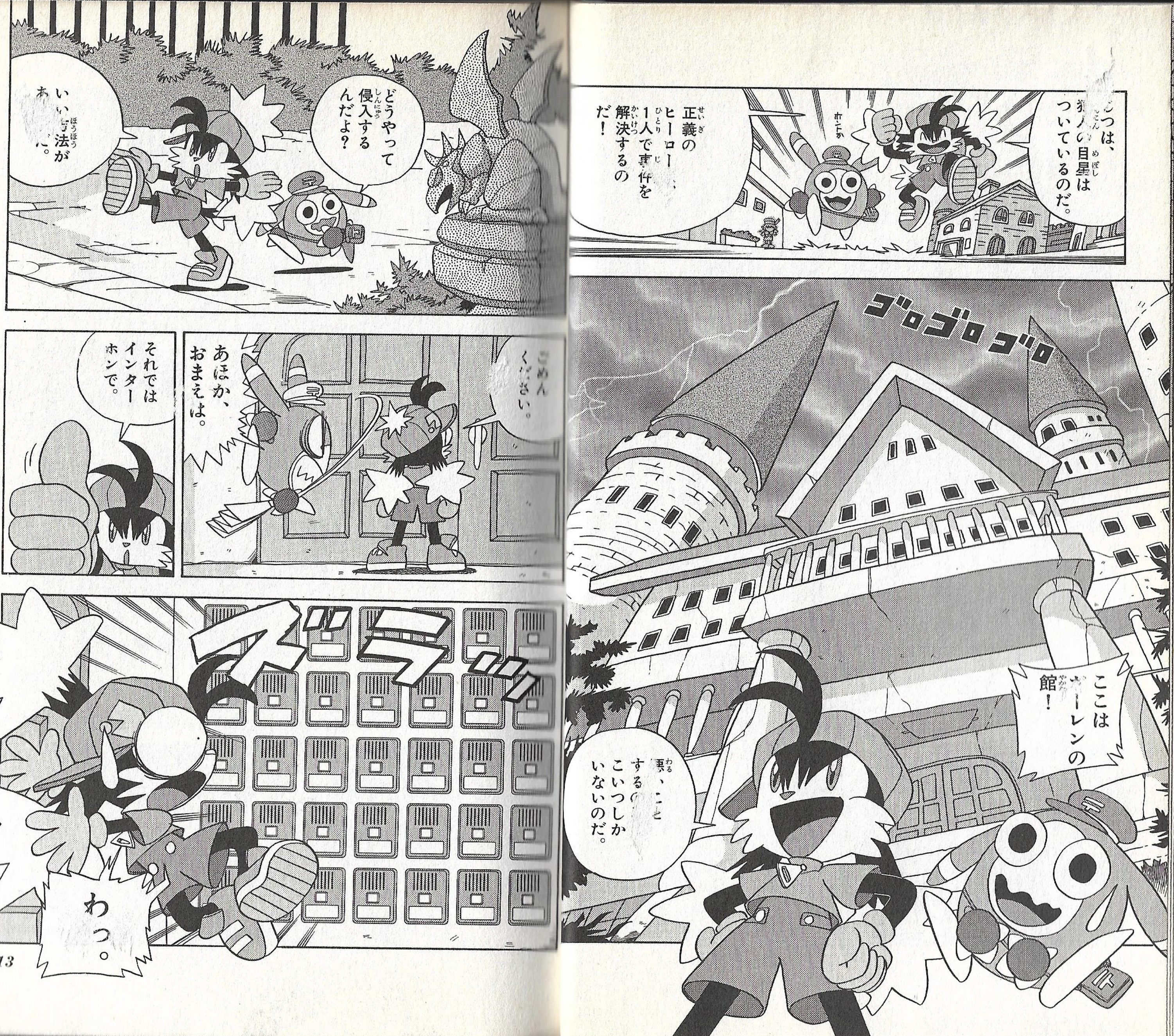

なにするんだよ、クロノア。
だれかけってくれって言っ
来てくれって言ったんだ！
なにか事件だね。
まずあやまれよ。
よし！この事件は、解決しよう。

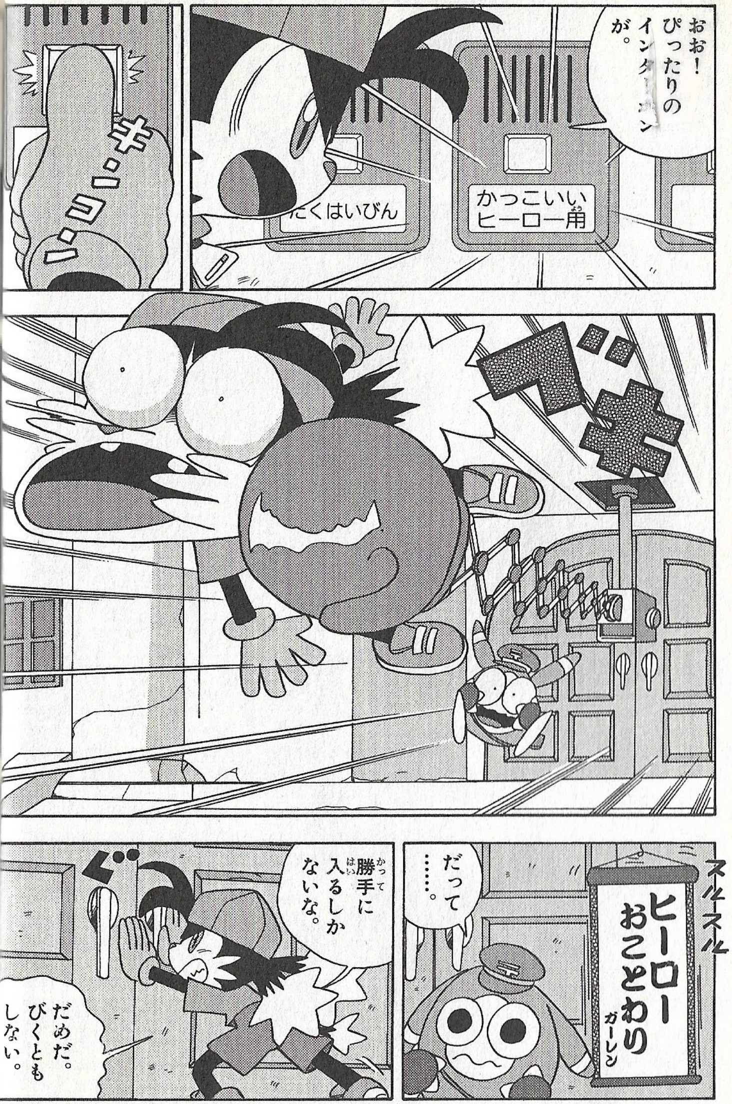

おまえがかかわるとろくなことがないから、やめてくれ。
わ〜い
そうさかいし
この穴はポストが引きぬかれたあと……。
ふむ
グサ
遊ぶな！
コン
じ〜
なるほど。犯人の足跡を調べるのか。


アリを
して
する！
ぺこ
目撃者がいるはずだ。
そうか、目撃者か。
でも、どうやってさがせば……。
さっ
ご町内のみなさま。目撃者がございましたら、ちり紙と交換いたします。


うるさい！
静かにしろ！
ドカ
バキ
ゴロ
ひとが下手に出てれば、あいつら〜〜〜。
おまえが悪い！
わたし見ました。
なにを目撃したんです？
ロロ！
フ・ン・ド……。


なにを言わせるんだ、おまえは。
キャ
それで、きみはなにを目撃したんだね？
こっちだろ！
わたし……見たんです。
そうだったのか。よし！いくぞ、助手。
だれが助手だ。
まだなにも聞いてないし！

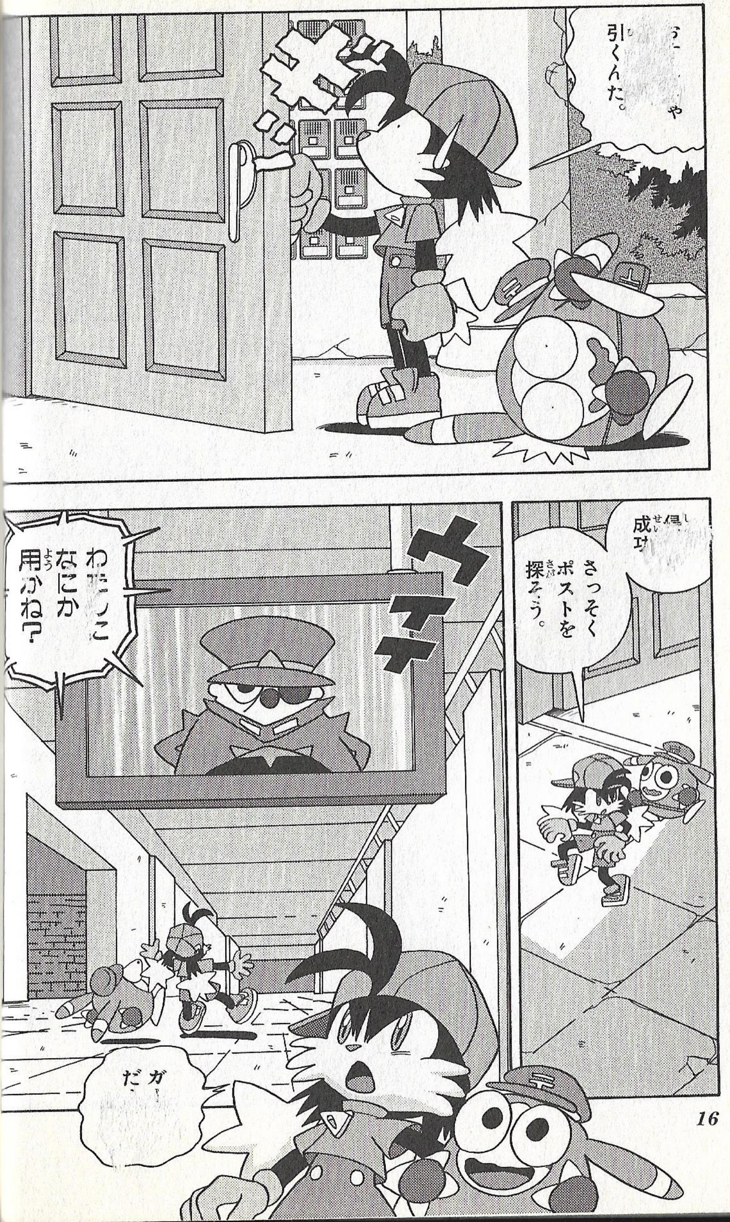

つは、
の目星は
ついているのだ。
正義のヒーロー、1人で事件を解決するのだ！
ゴロゴロゴロ
ここは
レンの館！
こいつしか
いないのだ。
どうやって侵入するんだよ？
法が
ごめんください。
あほか、おまえは。
それではインターホンで。
ズラッ
わっ。



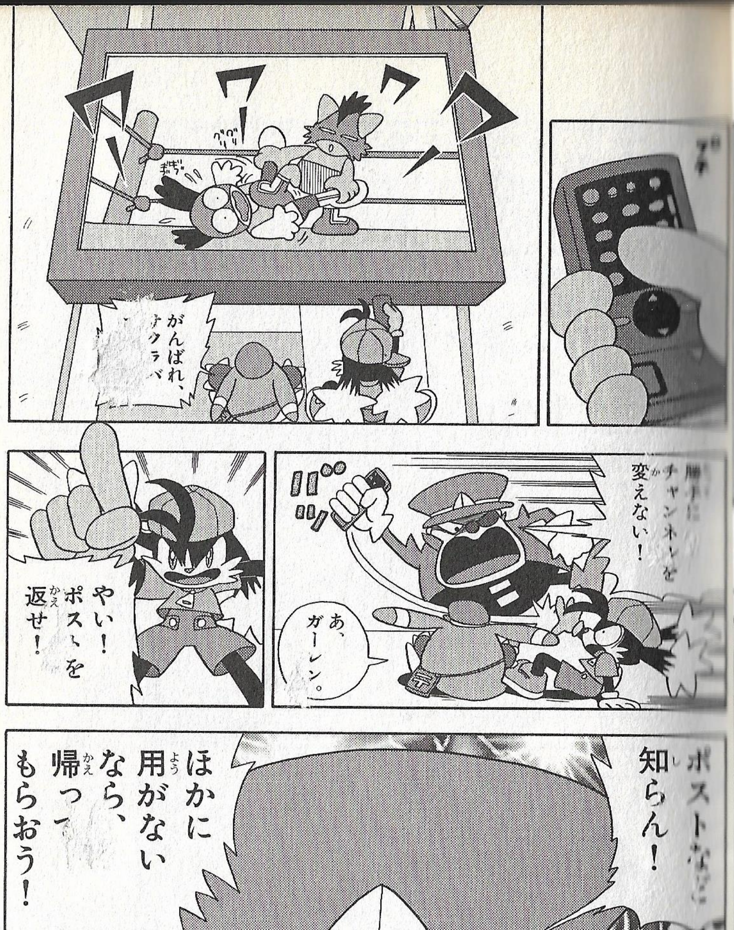
おお！ぴったりのインターホンが。
かっこいいヒーロー用
たくはいびん
キ・ンコ・ン
ヒーローおことわり ガーレン
スルスル
だって……。
勝手に入るしかないな。
ぐ
だめだ。びくともしない。



とびらを開けるのだ。
クロノア、なんだかかっこいい。
いくぞーーっ。
はー！
おまえがいけよ！
あっ。
このとびら……。
ど、どうした、クロノア……。



引くんだ。
さっそくポストを探そう。
わたしになにか用かね？



ワ
ワ
ワ
ワ
がんばれ、クラバ
勝手にチャンネルを変えない！
あ、ガーレン。
やい！ポストを返せ！
ポストなど知らん！
ほかに用がないなら、帰ってもらおう！


おじゃましました──っ。♪
ギ
って、帰ってどーする。
作戦なのだ！
帰ったと見せかけて、油断させるのだ！
ありゃ。かぎをかけられちゃった。
ガチャ
ガチャ
用心しちゃったじゃないか。
こんなときこそ、
秘密兵器、風だまを使うのだ。

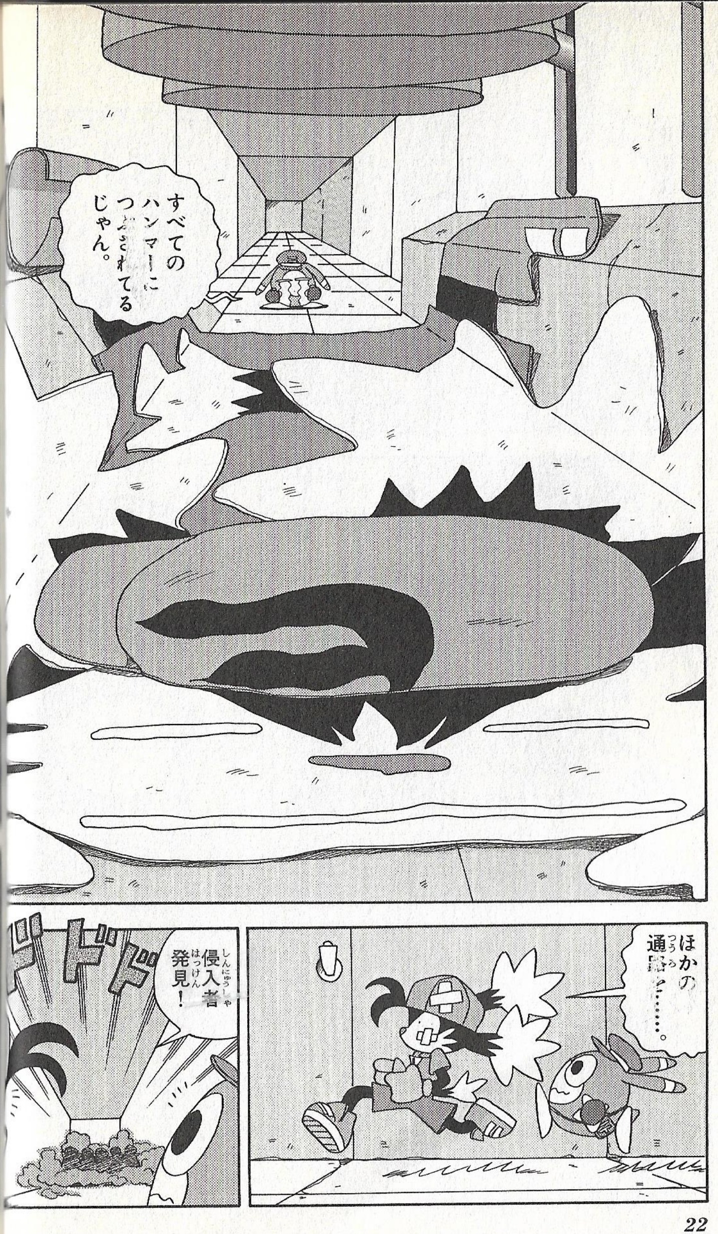

風だまとは？
風のエネルギーをぶつけて、なんでもふくらませてしまう、クロノアの必殺技である。
風だまでドアをぶち破るつもりか!!
ハアー
ぷっ〜
ムゥをふくらませて、窓から侵入だ。
入れないじゃん。

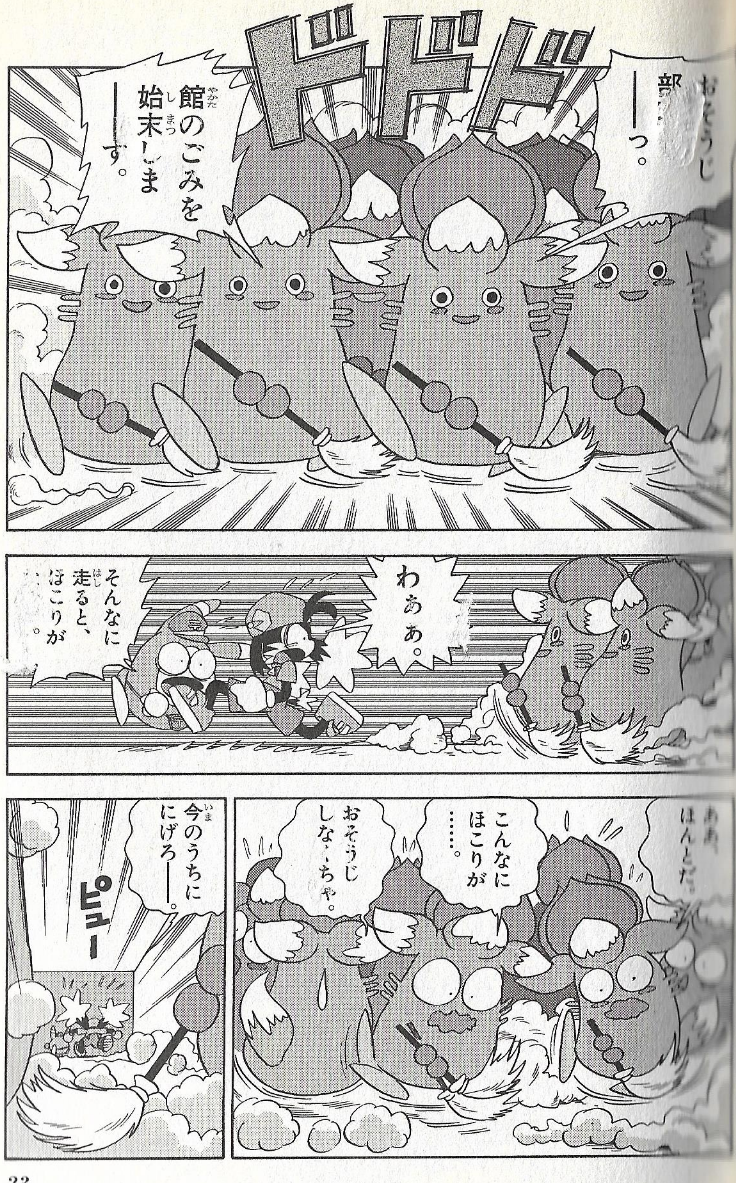


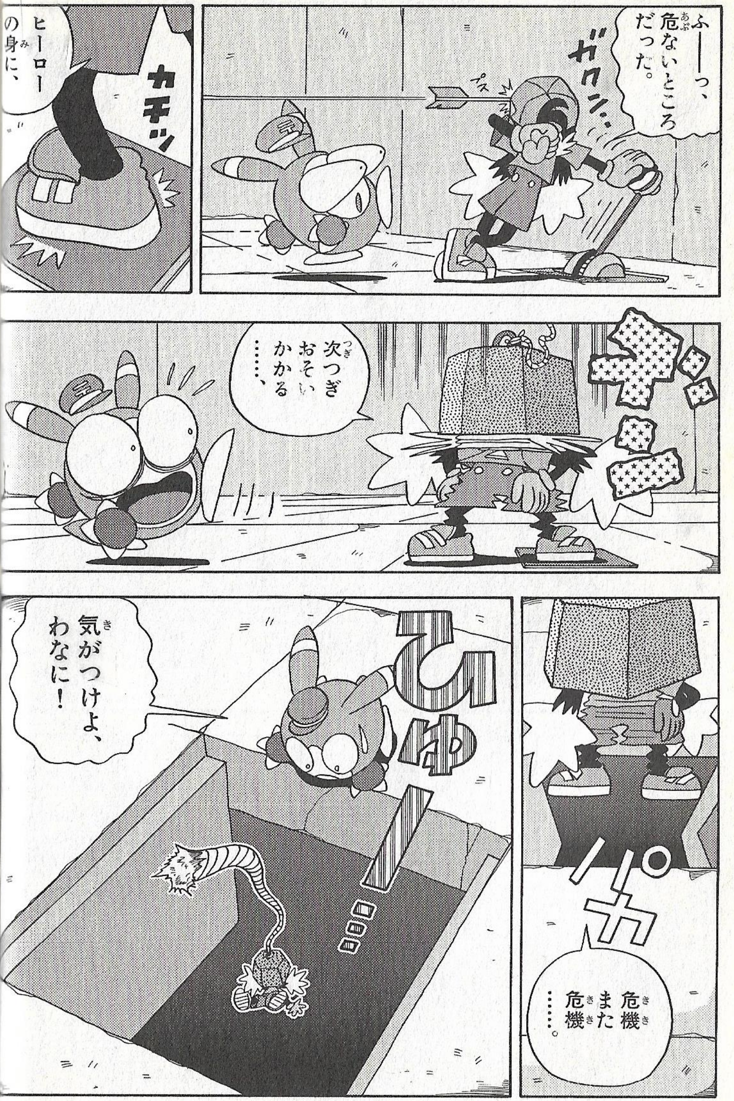
こと、
アの
この秘密の部屋
さぐっているにちがいない。
警備システ
スイッ
すべてのわなの作動開始！
む
さっそく侵入者を発見しました。
ストトトトト
おれま

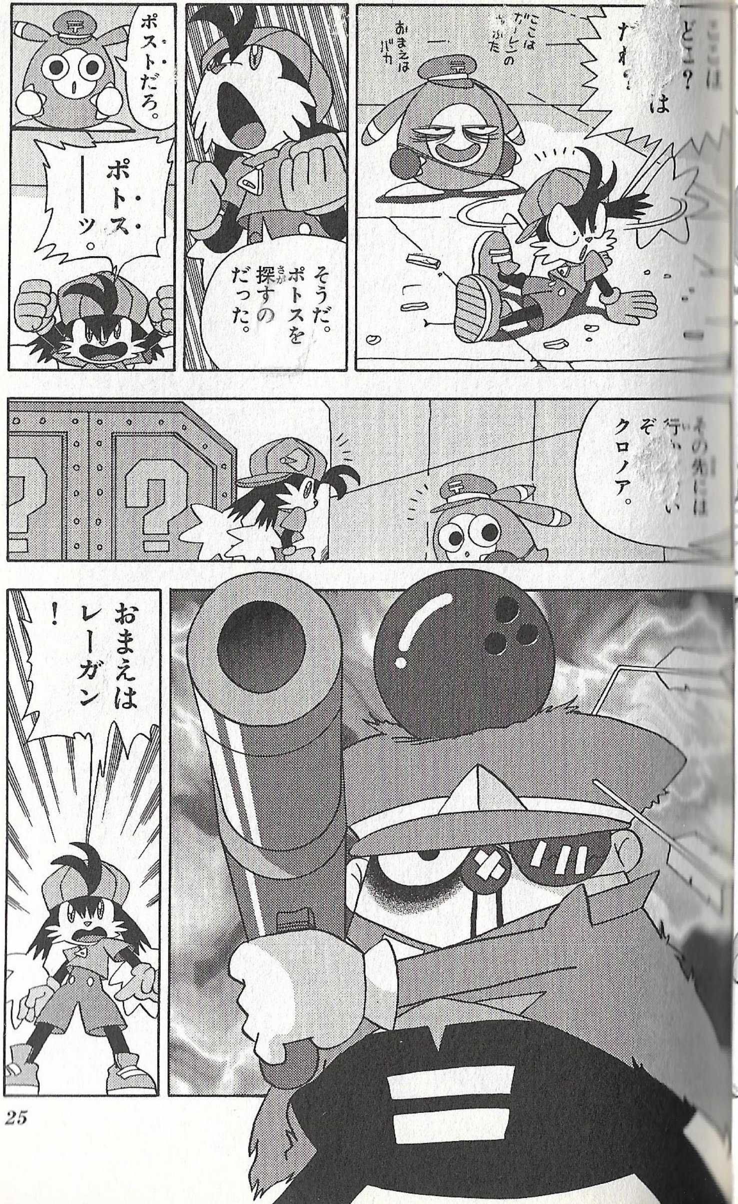


ここを通ると、
わなだ。
落ちる前に通りぬければいいんだろ！
見てな。
ハーッ
ダッ
す、すごい。


すべてのハンマーにつぶされてるじゃん。
ほかの通路を……。
侵入者発見！
ドドド

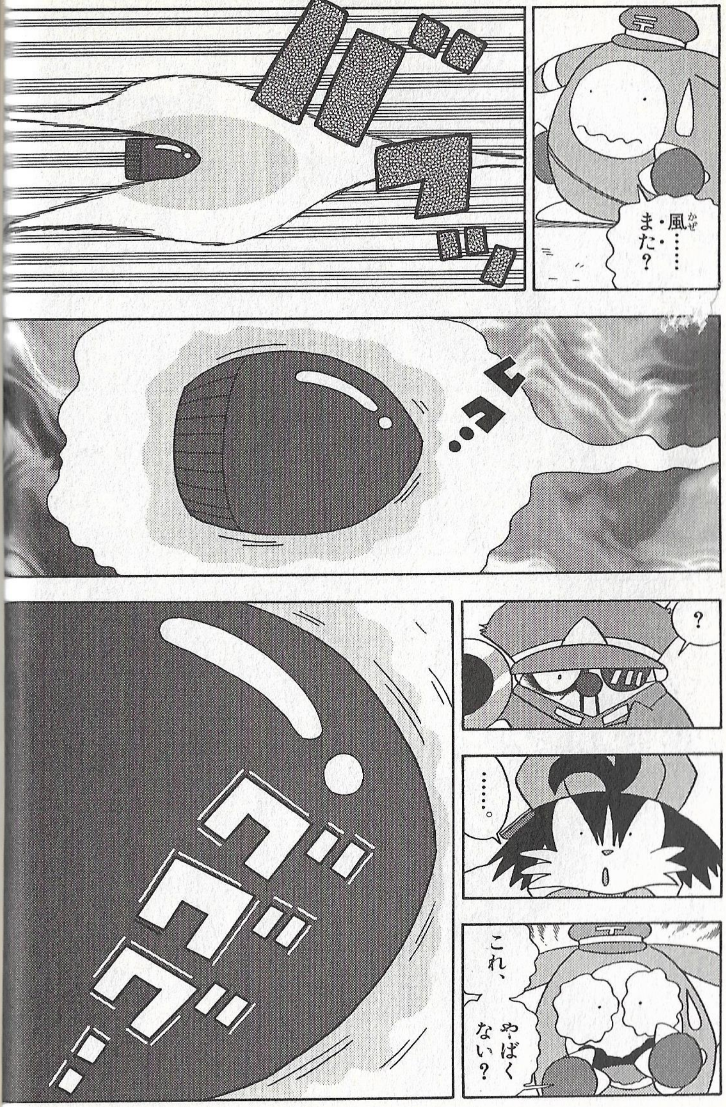

おそうじ部——っ。
ドドドド
館のごみを始末しま——す。
わぁあ。
そんなに走ると、ほこりが……。
ああ、ほんとだ。
こんなにほこりが……。
おそうじしなくちゃ。
今のうちににげろ——。
ピュー

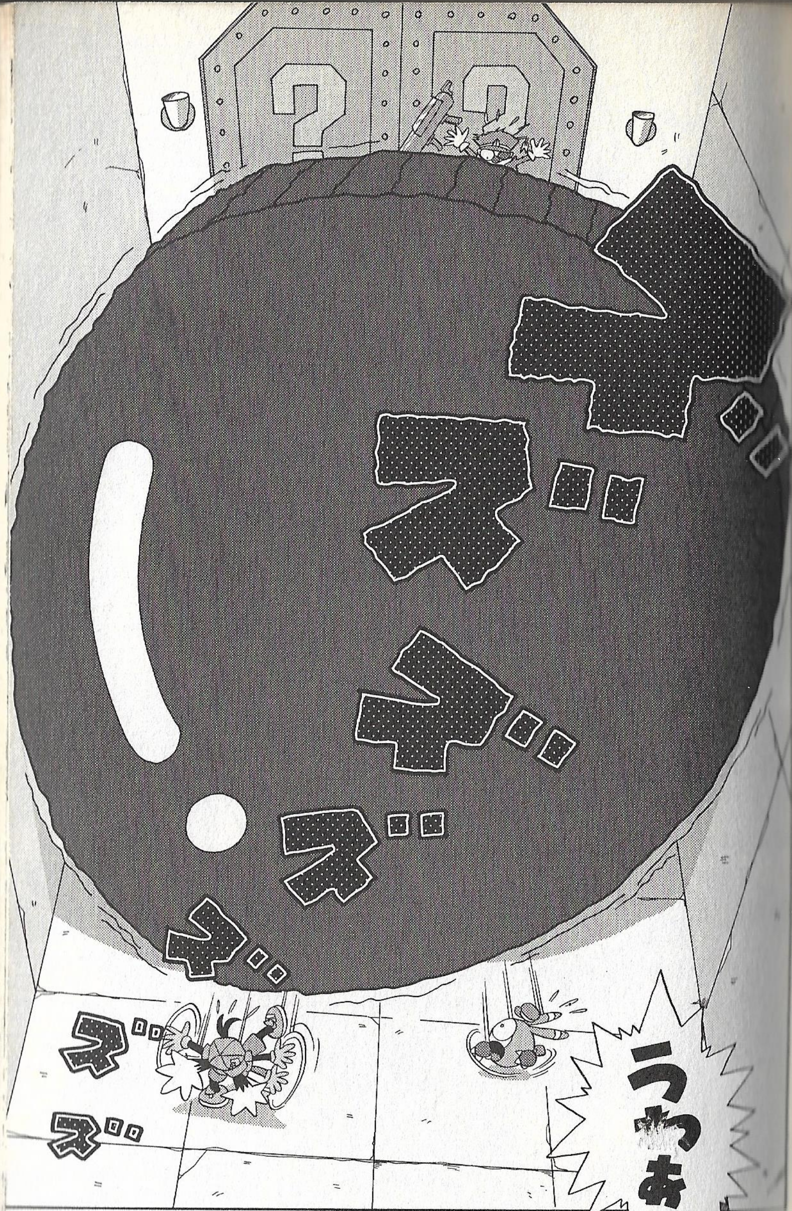

ふーーっ、危ないところだった。
ガクン…
プス
カチッ
ヒーローの身に、
次つぎおそいかかる……、
ひゅ
気がつけよ、わなに!
パカ
危機また危機……。

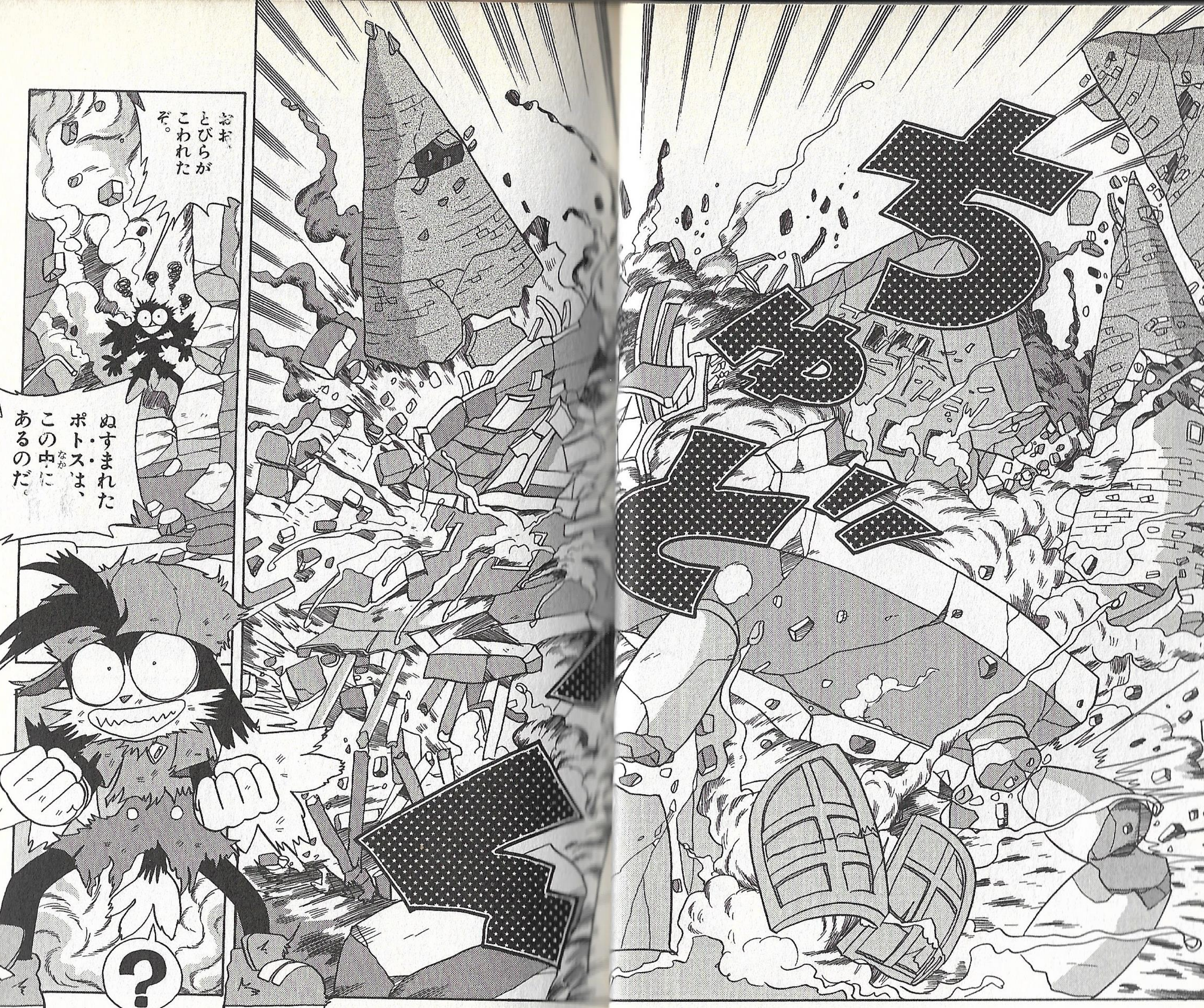

どこ?
は
そうだ。ポトスを探すのだった。
ポスト・・・だろ。
ポ・・トス——ッ。
クロノア。
おまえはレーガン!

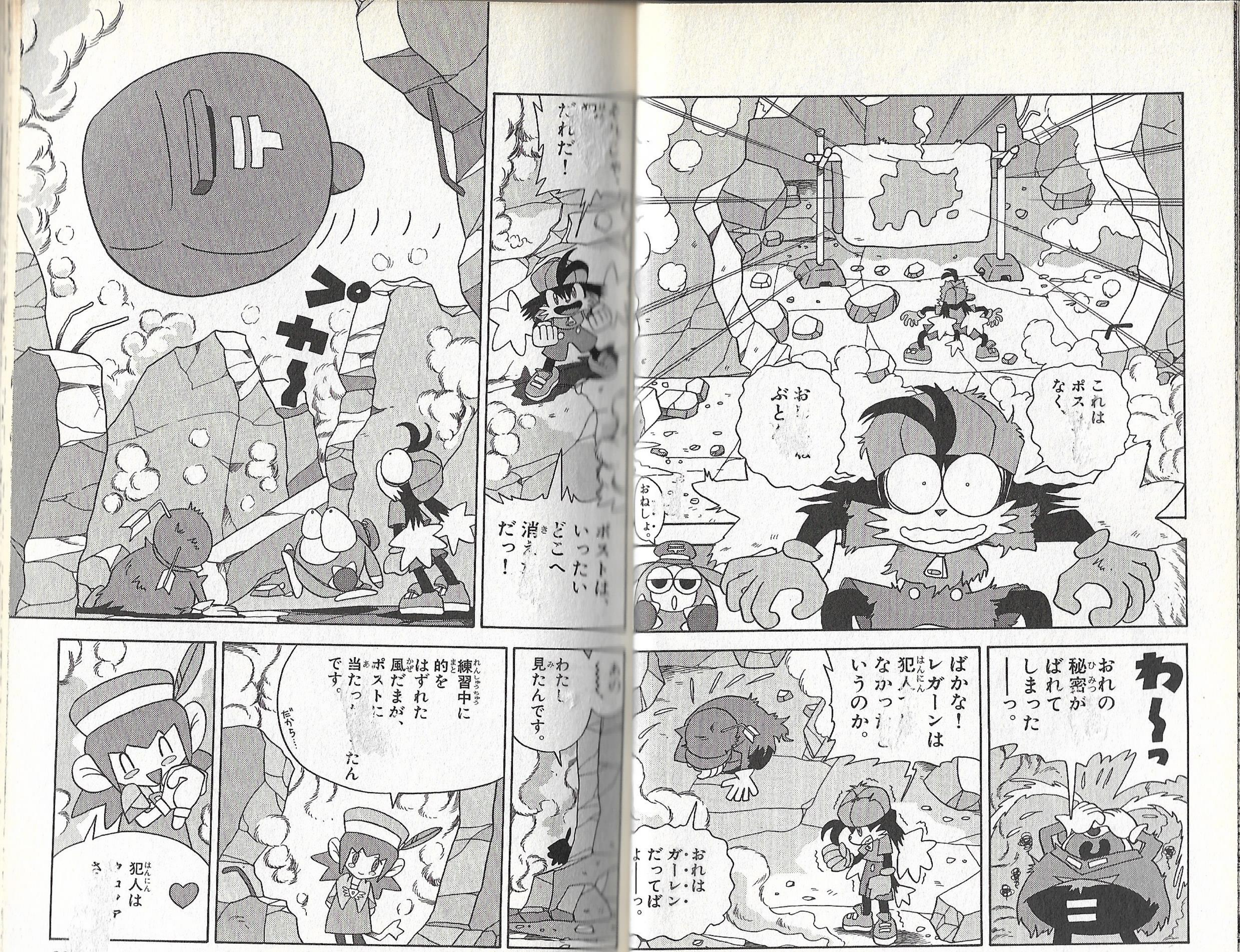

おれは・・・ガーレンだ。
命に代えても、この中には入れさせん。
こ　きを待っていたぞ。
正義が勝つか、悪が勝つか、
ジャキーン
クロノア！それは輪投げの輪だ！
一騎打ちだ！
それはちくわ。
ジャキーン


勝負だ、レンガ——ッ！
ジャキーン
おれは・・・ガーレンだ。
がんばれ、クロノア。
くらえ、バズーカ。
くらえ、風また！
ドゴォ
ドン

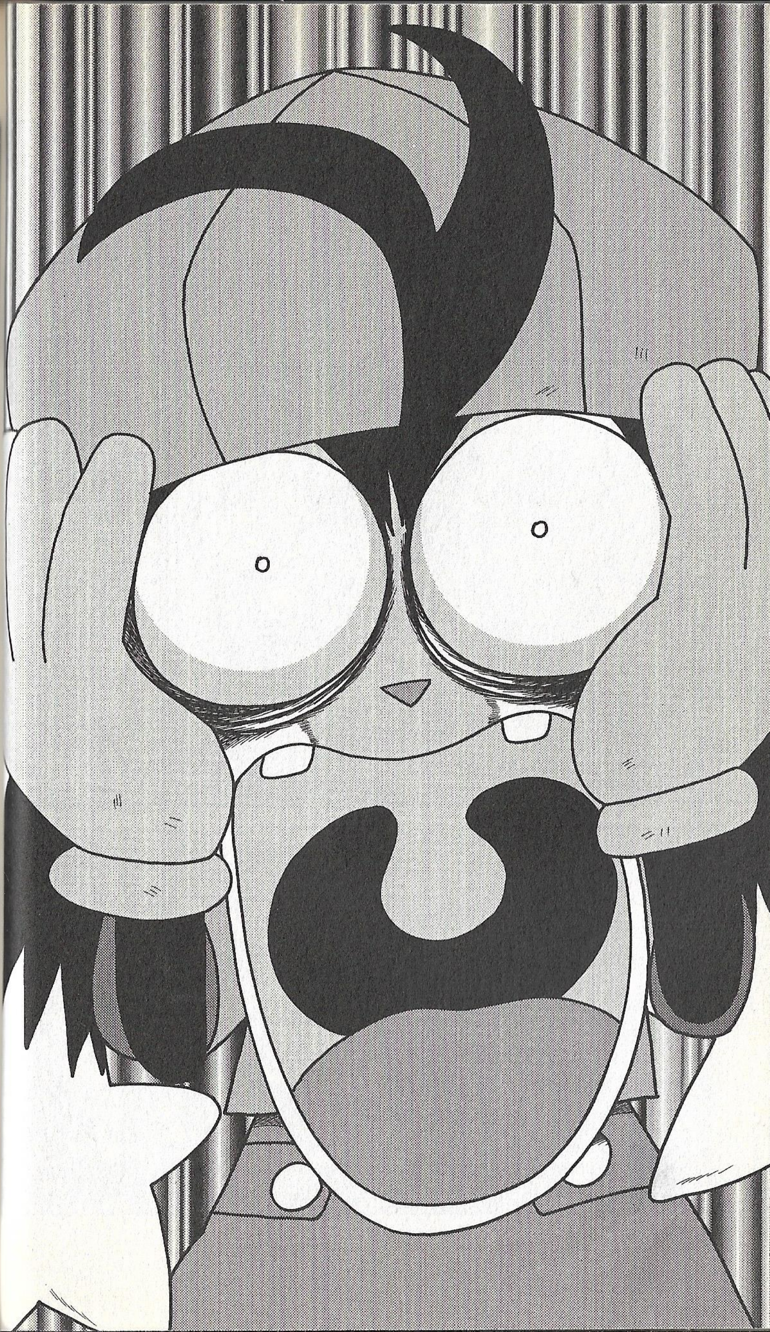

風……また？
ゴッ…
？
……。
これ、やばくない？
ゴゴゴ…


ズズズズズズズ
うわあ


ちゅどん
おお、とびらがこわれたぞ。
ぬすまれたポトスは、この中にあるのだ。
?

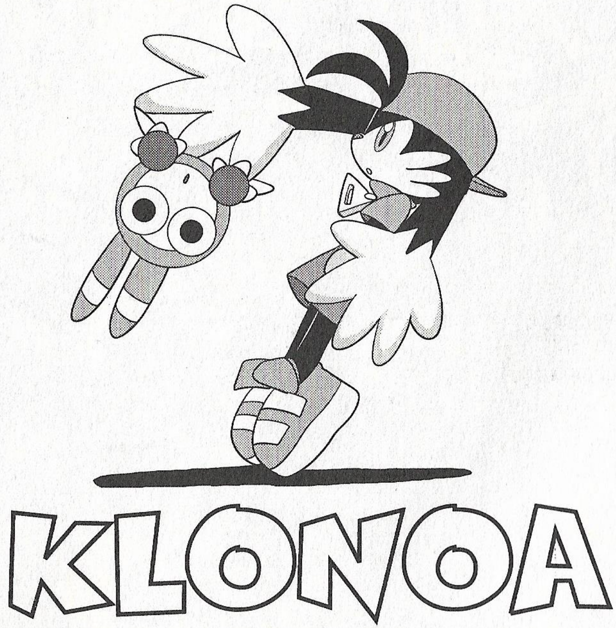


これはポス
なく、
おねしょ。
だれだ！
ポストは、いったいどこへ
だっ！
わ〜っ
おれの秘密がばれてしまった——っ。
ばかな！レガーンは犯人
いうのか。
おれはガーレンだってばよ——っ。
わたし見たんです。
ポカ〜
練習中に的をはずれた風だまが、ポストに当たっ
たんです。
だから…
犯人は




なんておそろしい結末だ……。
チャ
返せ――!
ドム
ドム
ドム
返せましえ――ん。


第2話
よろいムゥを止めるのだ!

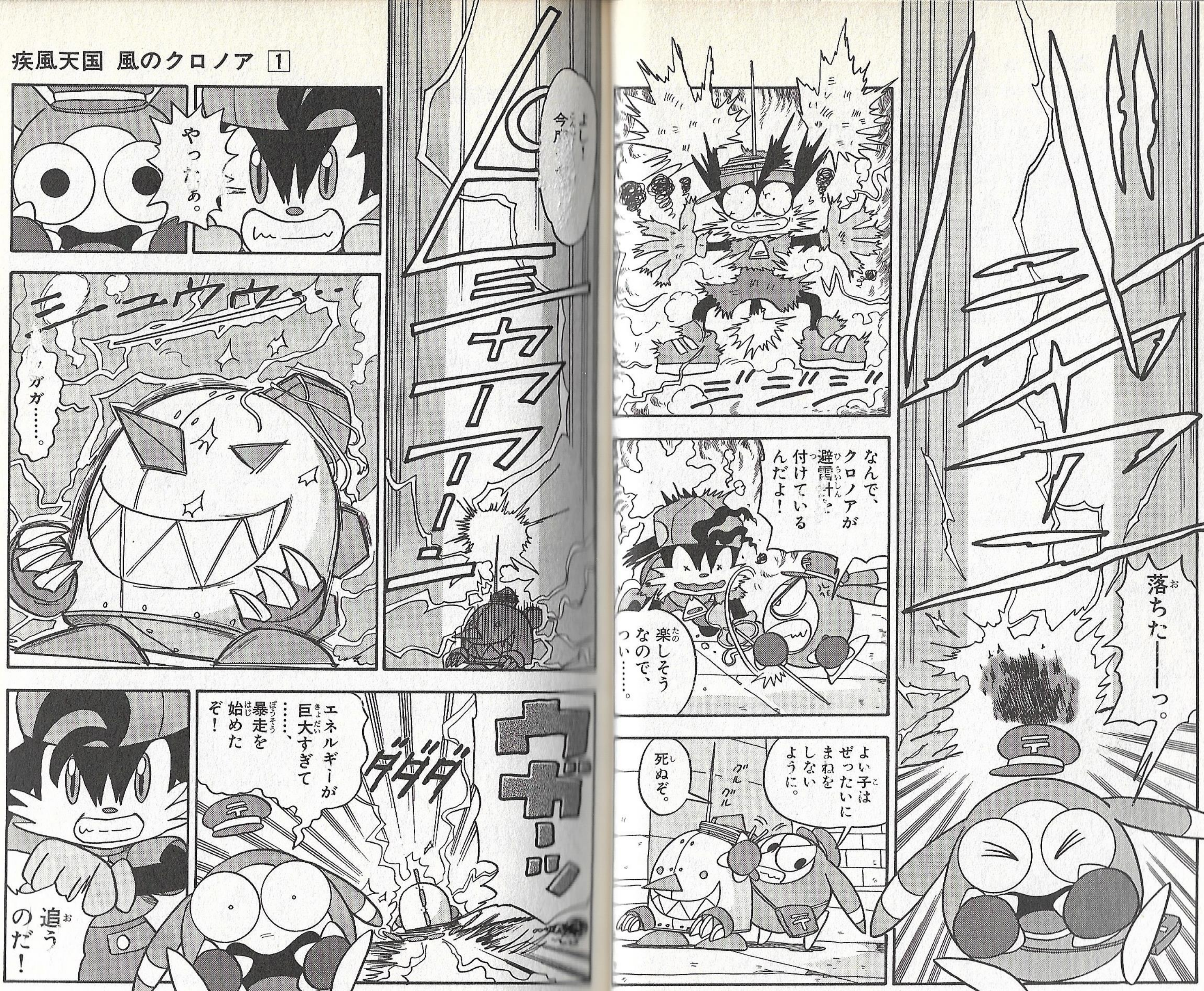

KLONOA


今日は、助手のムゥくんを連れて、街をパトロールなのだ。
仕事だ。
う〜ん
だれかたおれている。
なに！どこに。
おお！バケツかと思った。
ふんでる。ふんでる。


み、水をくれ。
う〜
水だ
水をやろうにも、口が開かないのだ。
よろい、はずそう。
任せなさい。
すぱなーっ！
おや？中にまたよろいムゥがいるぞ。
パカ
パカ
パカ
パカ
きりがないのだ。


はは。こんなに小さくなってしまった。
もとにもどそう……。
よろいムゥがロボットだったとは……。
さっきと形がちがう……。
動かないのだ。
エネルギーが切れているんじゃない？
電池を入れてみよう。
スポッ
るん
助けてくれて、ありがとう。


ドデ
もう電池が切れた。
もっと大量のエネルギーが必要なんだよ！
ゴロゴロ
雷のエネルギーを使うのだ！
それはいい考えだ。
避雷針を立てて、
しよう。
グルグル
ゴロゴロ
近づいてきた！
ゴロゴロゴロ
まぎらわしいときに、地ならしをするな！

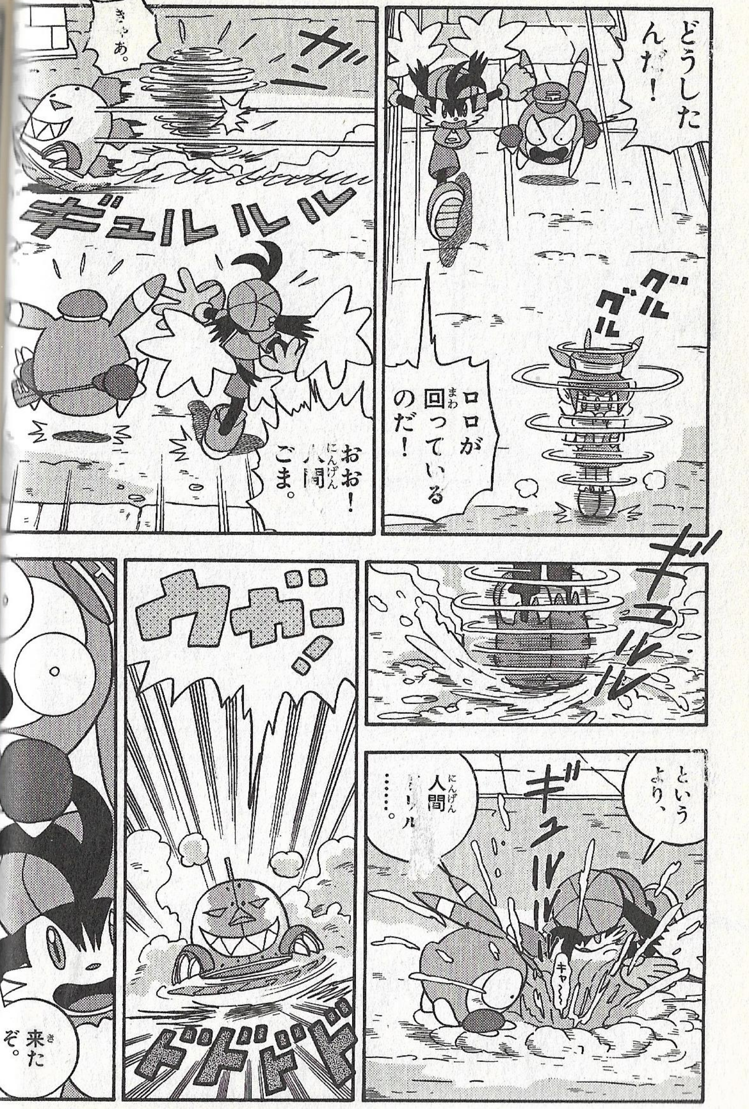

ジジジ
なんで、クロノアが避雷針を付けているんだよ！
楽しそうなので、つい……。
落ちたーーっ。
よい子はぜったいにまねをしないように。
死ぬぞ。
グルグル
やったぁ。
ガガ……。
エネルギーが巨大すぎて……、暴走を始めたぞ！
ダダダ
追うのだ！

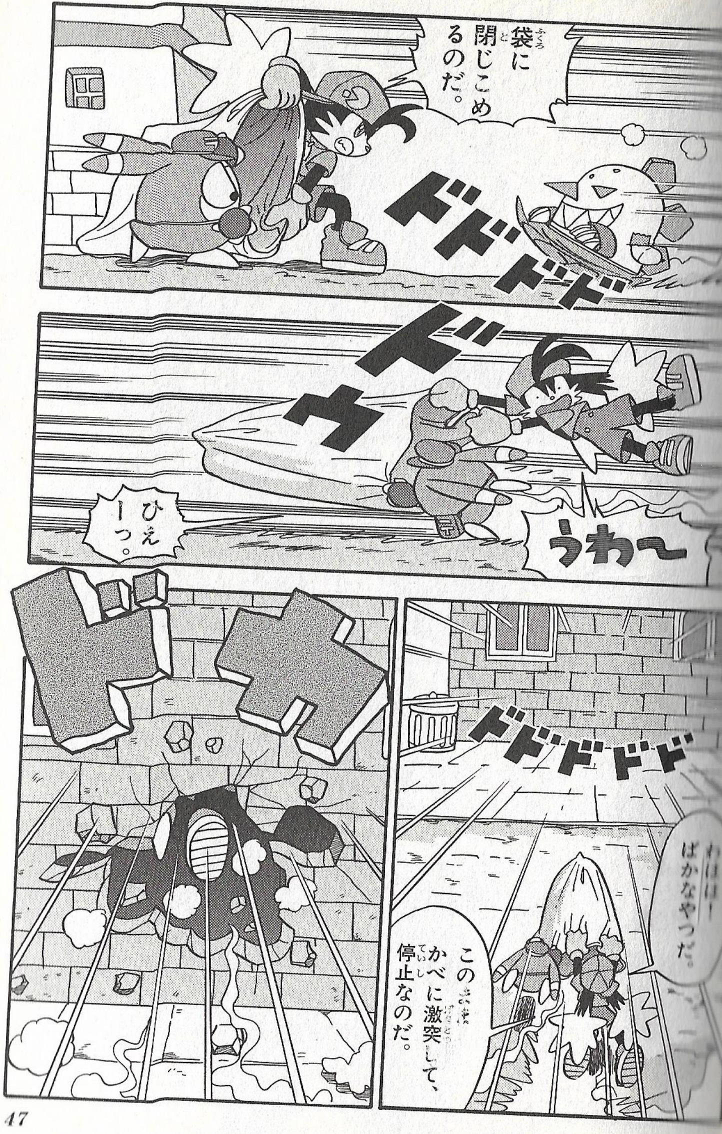


ドドドドド
追いこして どうするっ!
わふーっ!
ぴしっ。
止めろっ
きみが よけいな口出しを するから、見失って しまったのだ。
ハァ ハァ
ゼィ ゼィ
オレのせいかい
フフフ
こんなことも あろうかと、あいつに パンくずの 袋を 付けたのだ。

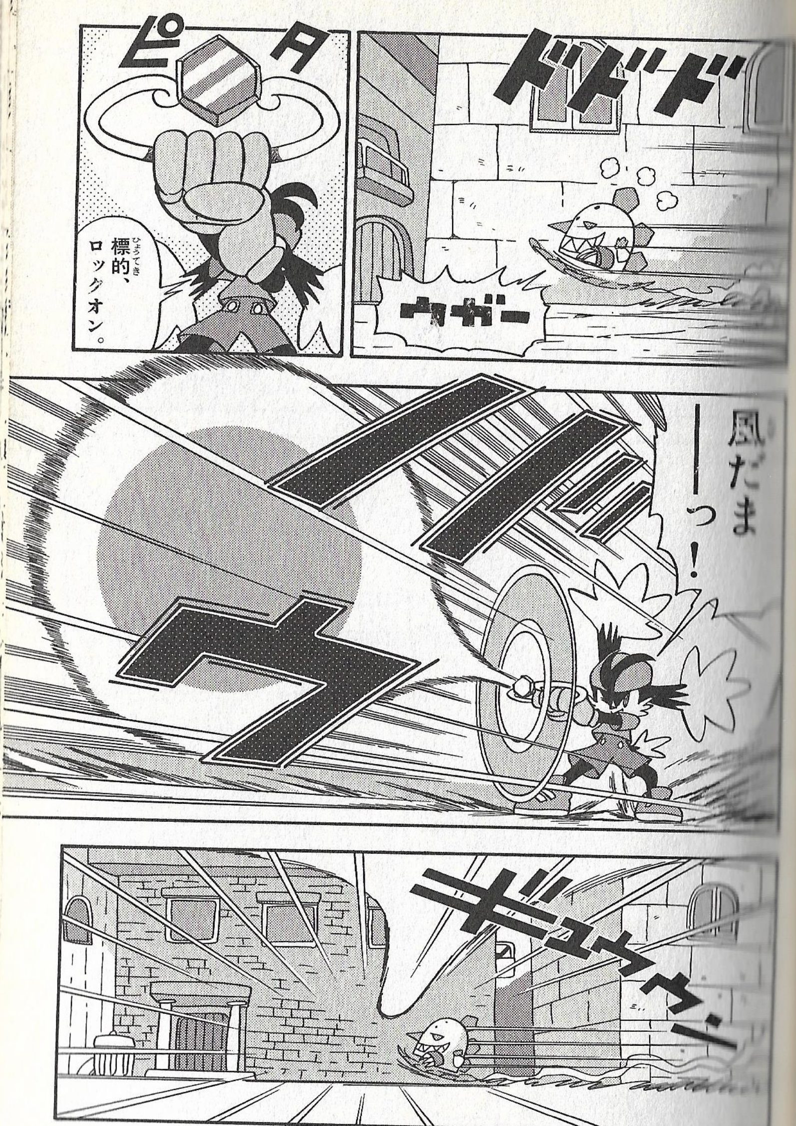


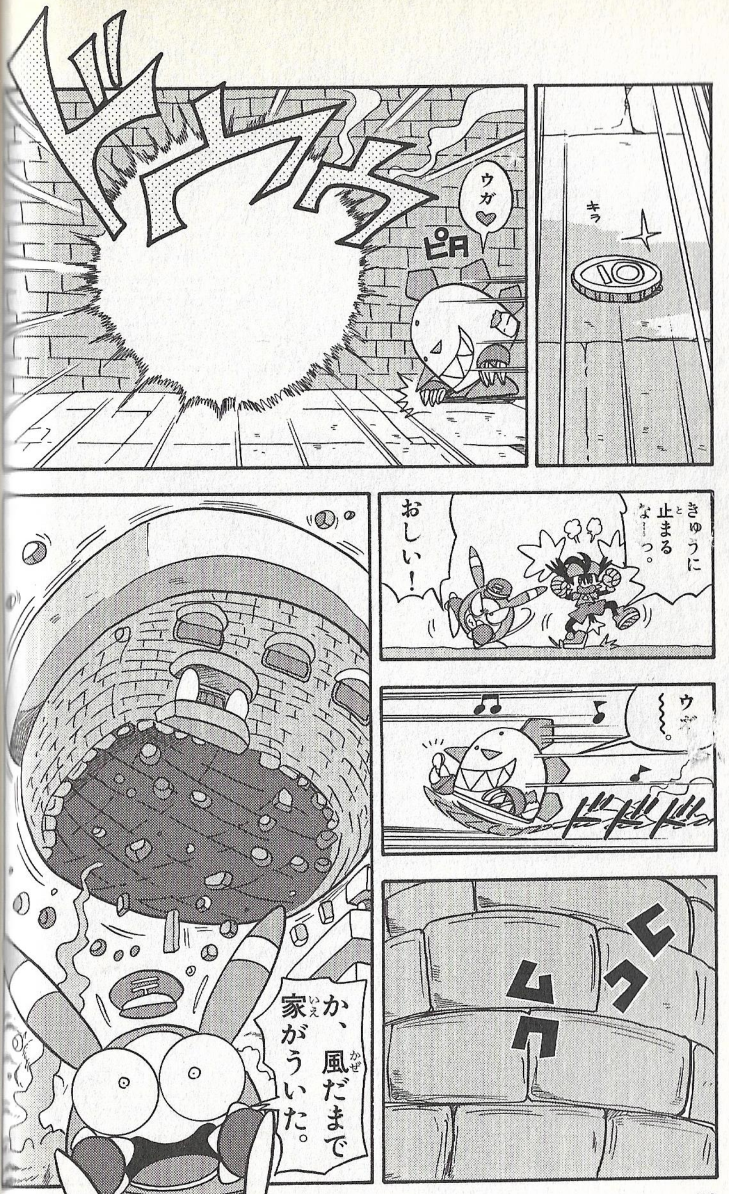
穴から こぼれた パンくずを たどれば、行く先は わかるのだ。
ガムテープ
パンくず
すごい、見直したよ、クロノア!
ぽっぽ〜〜。
ハトは。
ゲーップ
おい、パンくず 全部 食われてるぞ。
この! くいしんぼ バトめ。
ポッポー
ロロの 声だ。

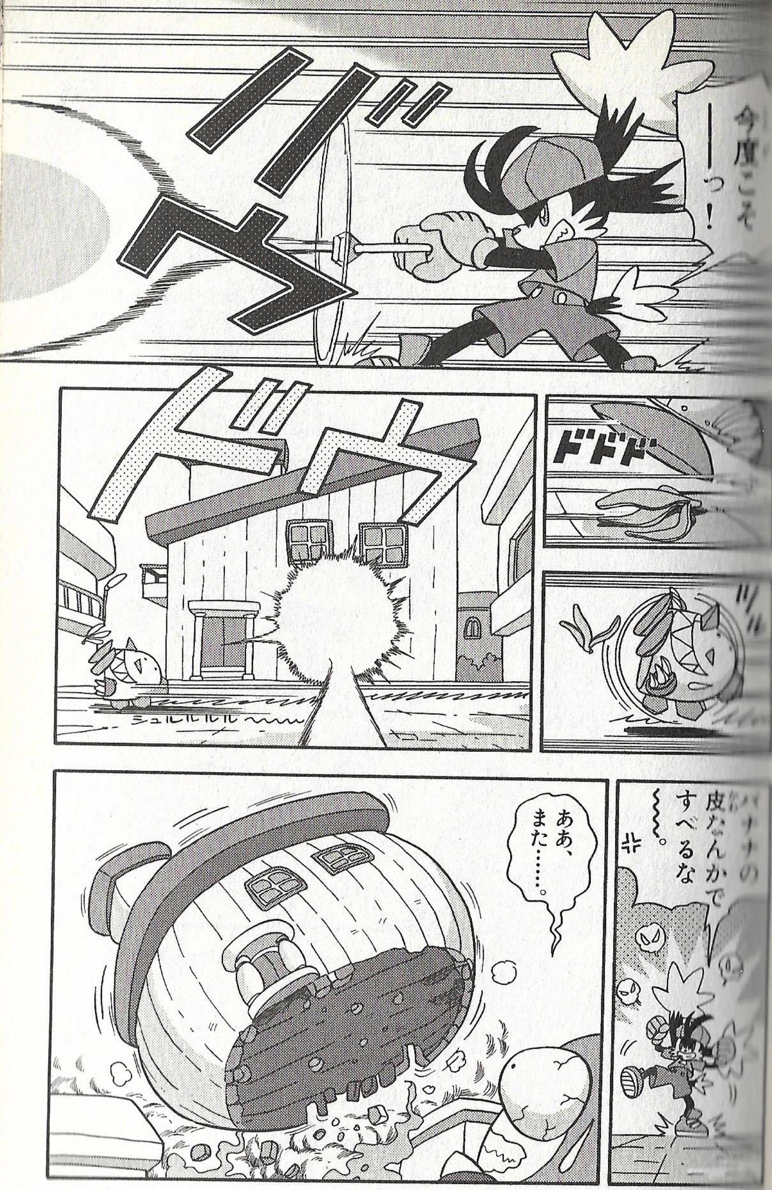

どうしたんだ！
グルグル
ロロが回っているのだ！
きゃあ。
ガッ
ギュルルルル
おお！人間ごま。
ギュルルル
というより、
人間
……。
ギュルル
キャ〜
ウガーッ！
来たぞ。
ドドドドド

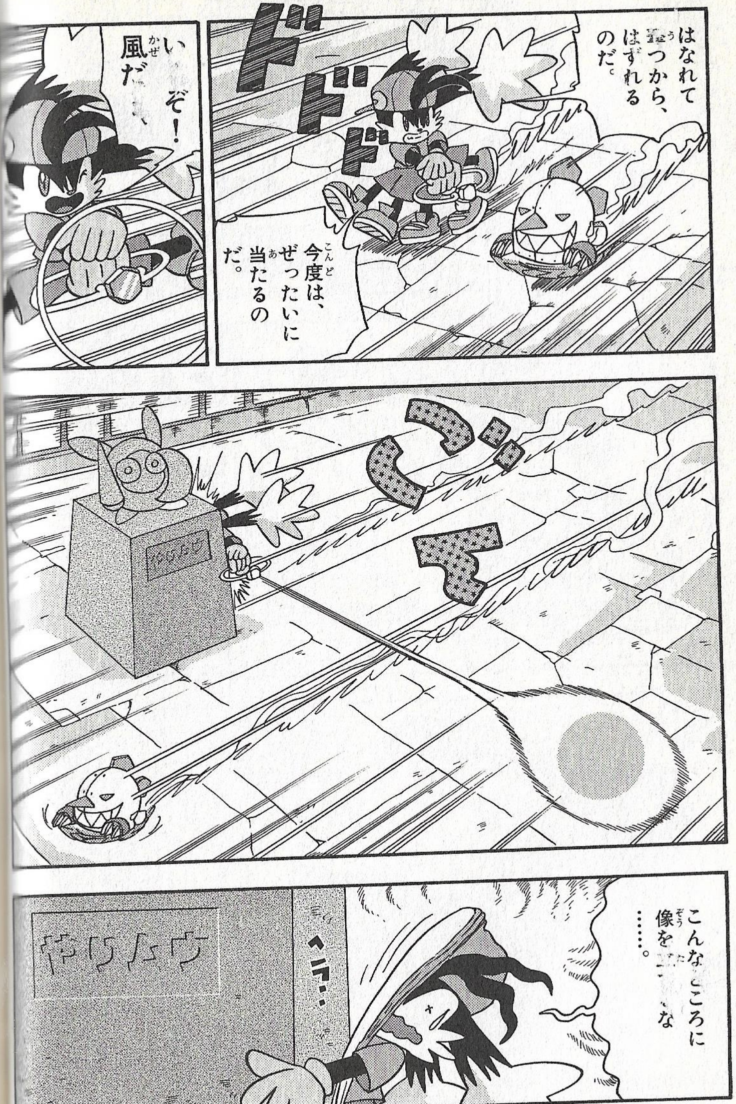

袋に閉じこめるのだ。
ドドドドド
ドドウ
うわ〜
ひえーっ。
ドドドドドド
わははー ばかなやつだ。
このままかべに激突して、停止なのだ。

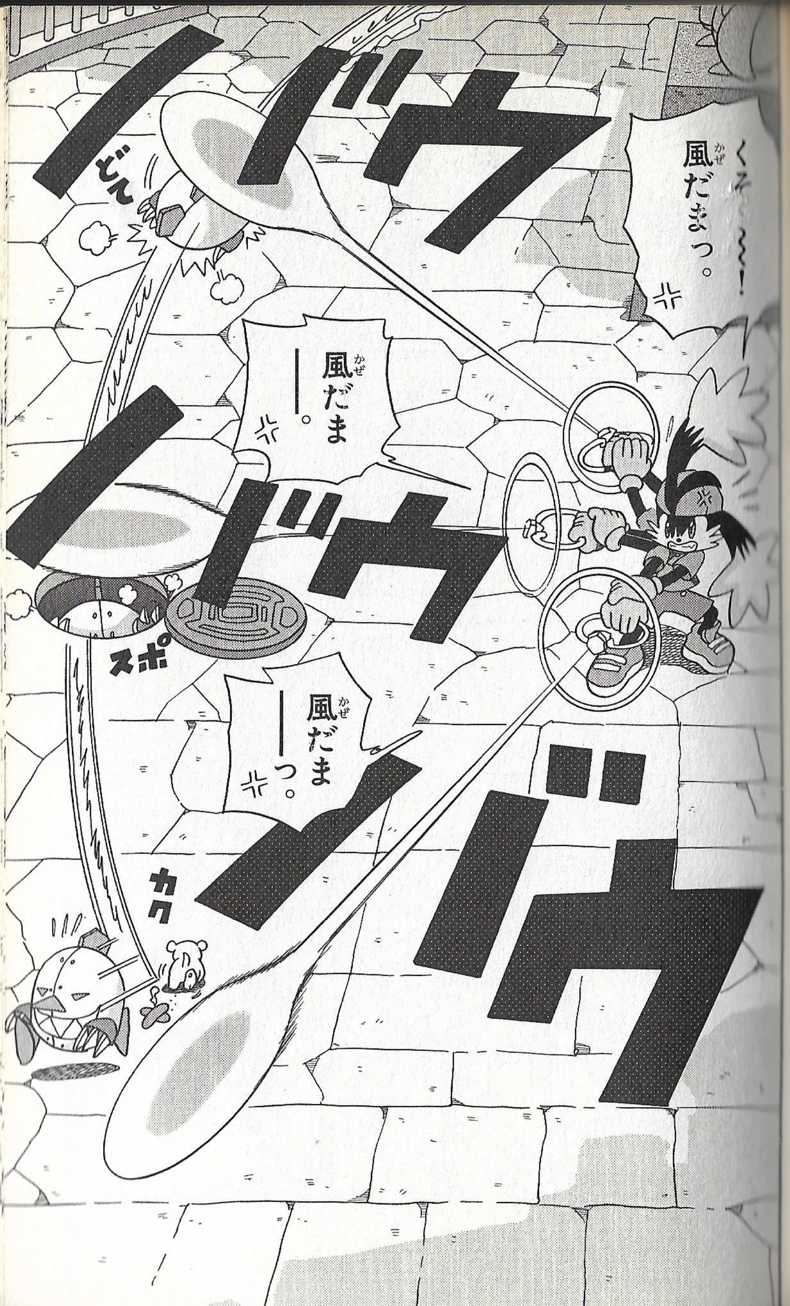

かべをぶちぬくとは、すごいパワーなのだ。
このままでは、街がたいへんな
なるぞ。
ドドドド
任
た
風だまで、暴走を止めてみせるのだ。


ピタ
標的、ロックオン。
ウガー
風だま――っ！
ギュウウーン


キラ
ドゥウウ
ウガ♥
ピタ
きゅうに止まるな～っ。
おしい！
ウガ～～～。
か、風だまで家がういた。
ムクムク

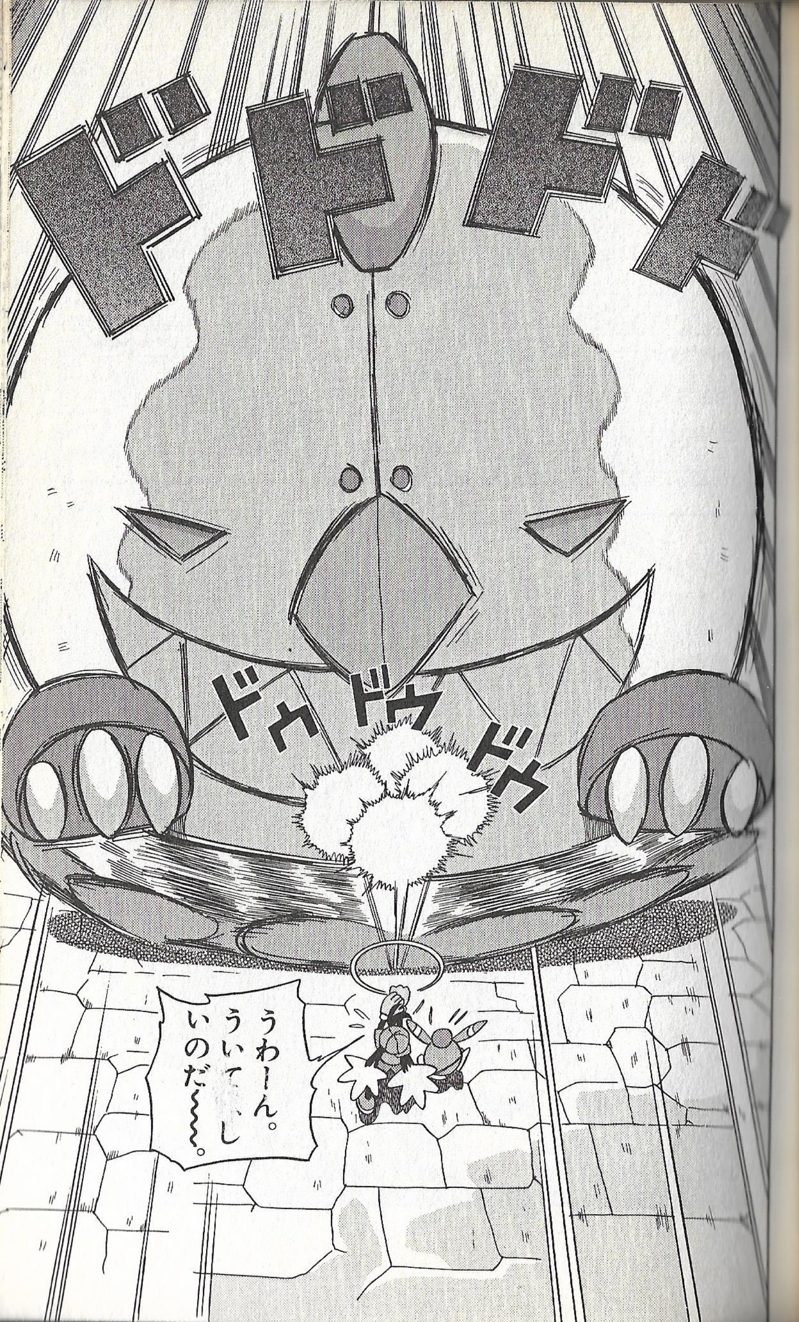

今度こそ――っ！
ドドド
ドゥウ
シュルルルル～～
バナナの皮なんかですべるな～～～。
ああ、また……。


はなれて撃つから、はずれるのだ。
ドドド
今度は、ぜったいに当たるのだ。
ぞ！
風だ
こんなところに
像を
……。
ヘラ・・

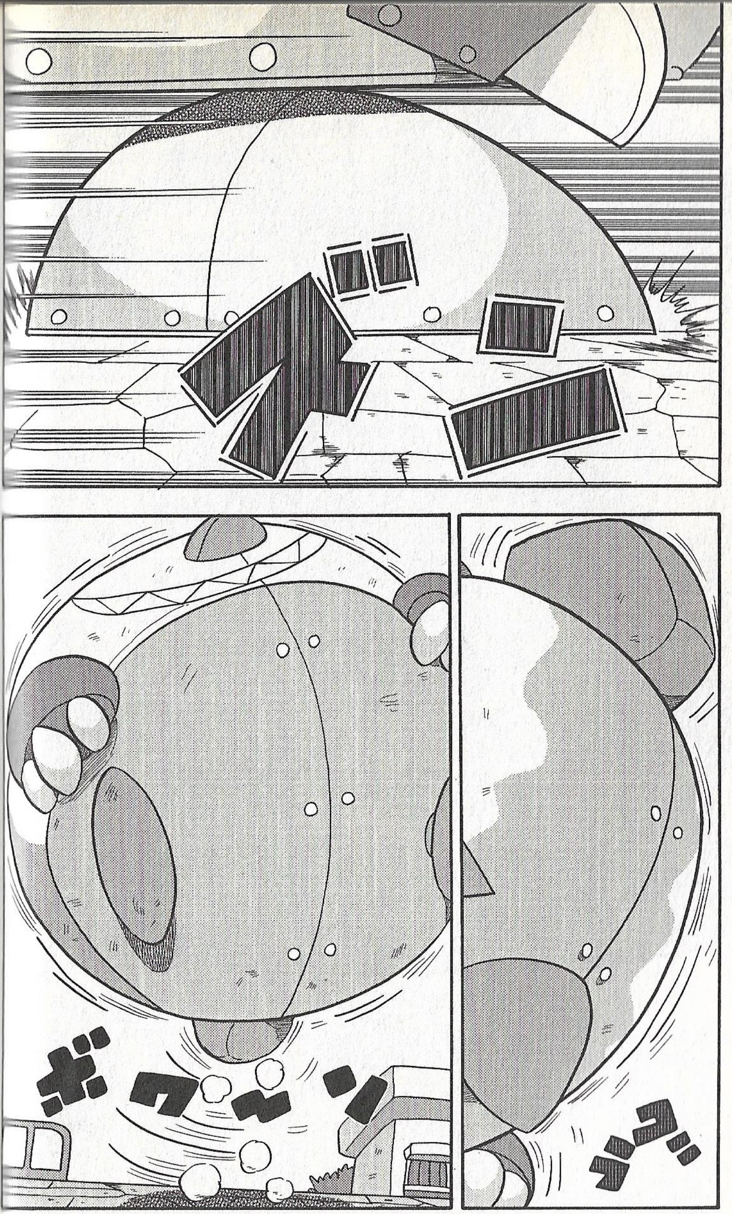

バウ
くそ〜〜！
風だまっ。
どて
風だま——。
バウ
スポ
風だま——っ。
バウ
カク

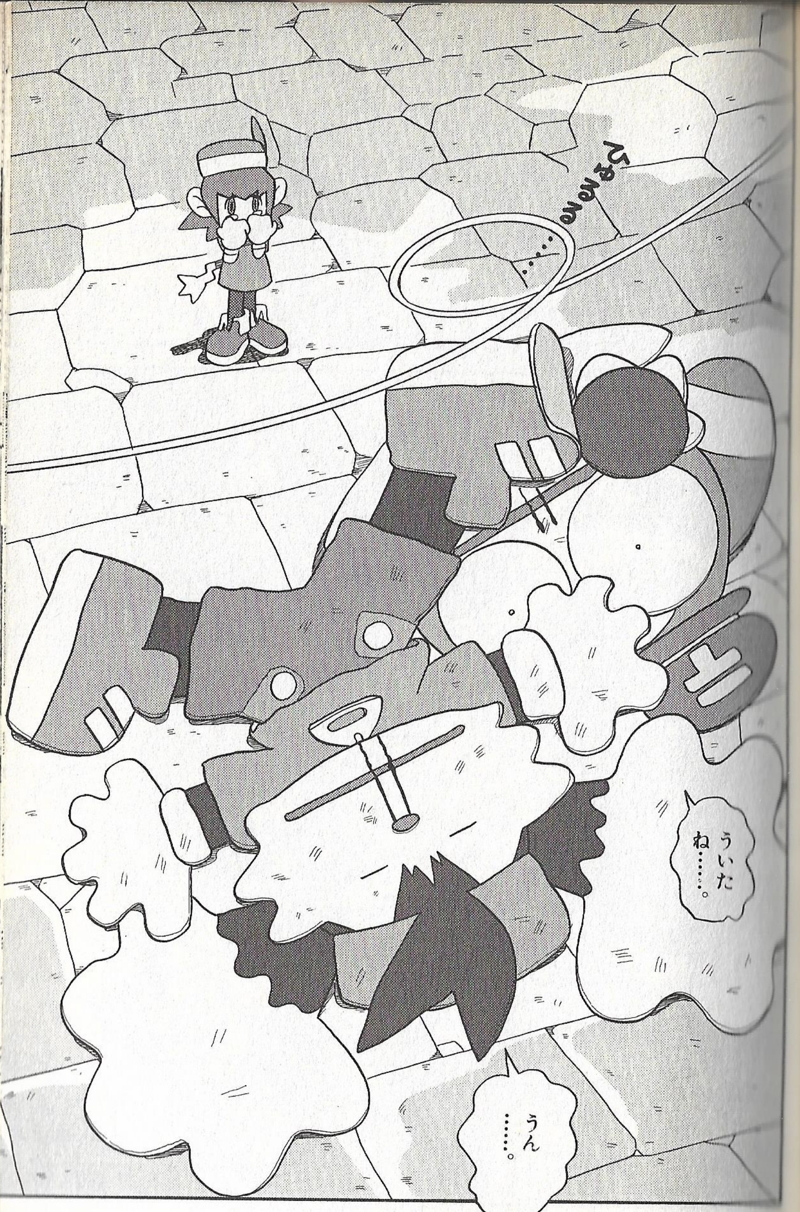


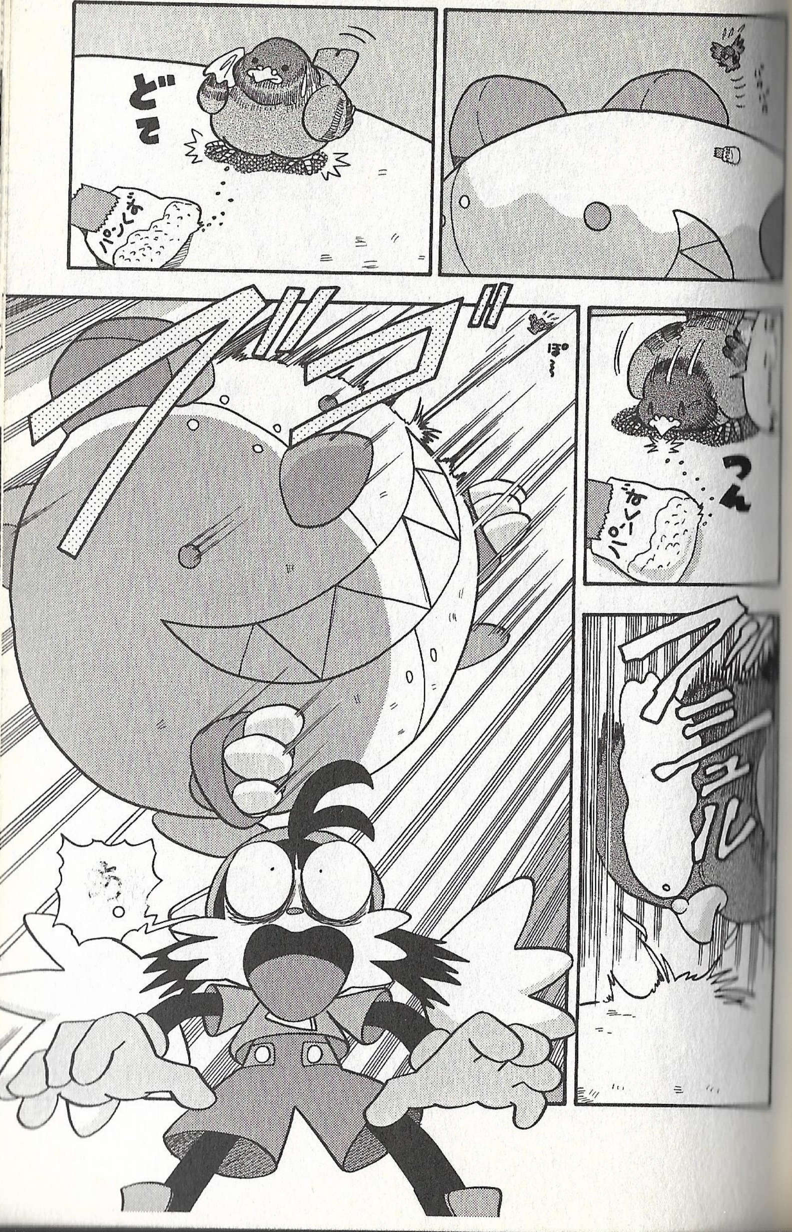
どうして、当たらないのだ。
うえ～ん
バウ
くる
ムクムク
当たった。
バッ
雷のエネルギーが、風だまのパワーをじゃましているんだ、きっと！
もっと風だまを撃てばいいのだ。
ドドドド
ムクムク
ありゃ？ふくらむだけうかばないぞ？

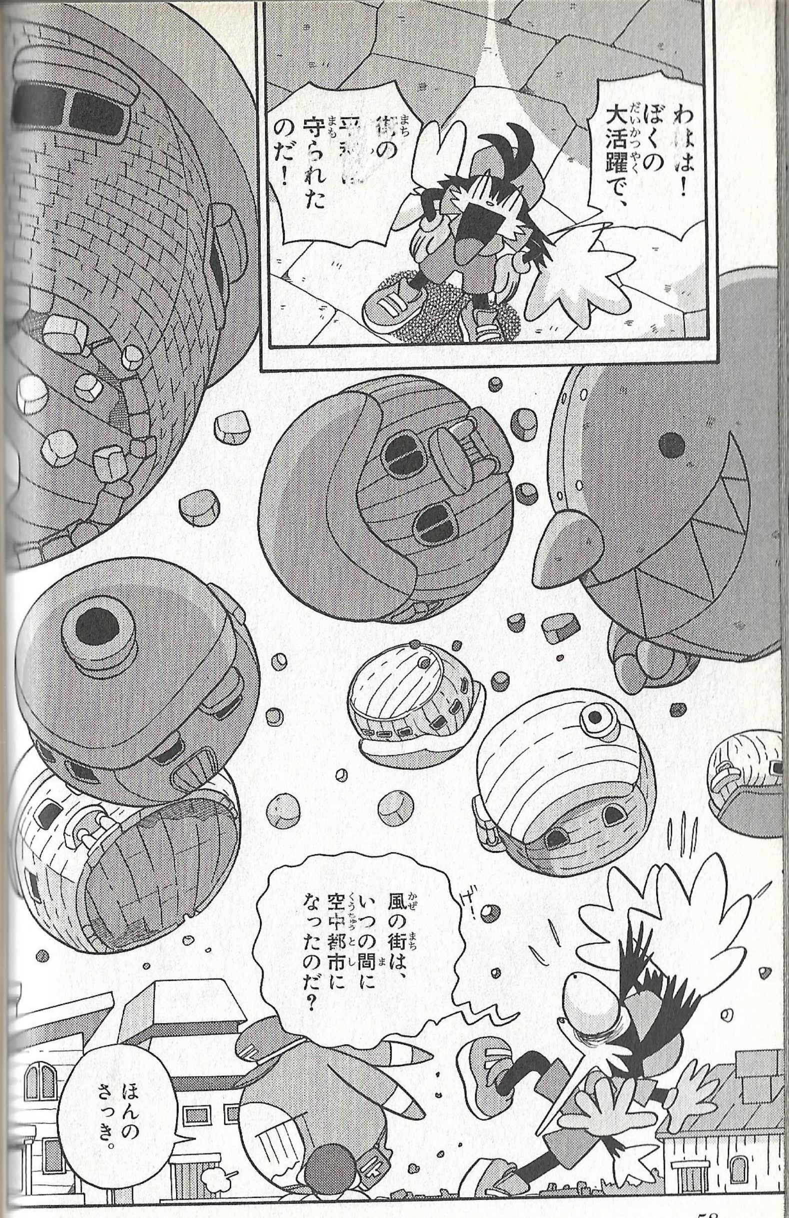


ドドドド
ドゥドゥドゥ
うわ～ん。ういてほしいのだ～～～。


ボワ〜ン
ゴロ

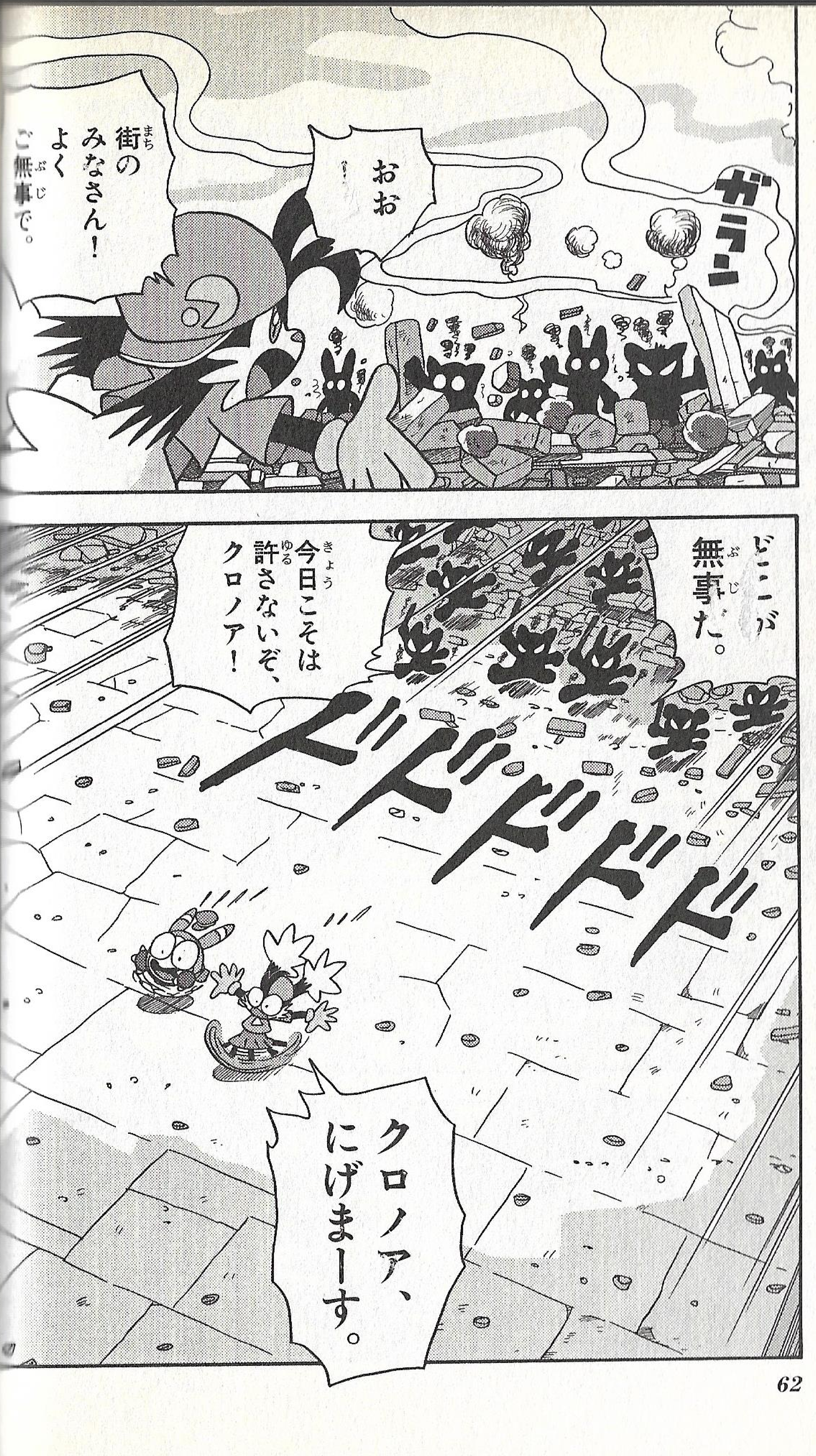

ひゅるる……
ういたね……。
うん……。


どて
つん

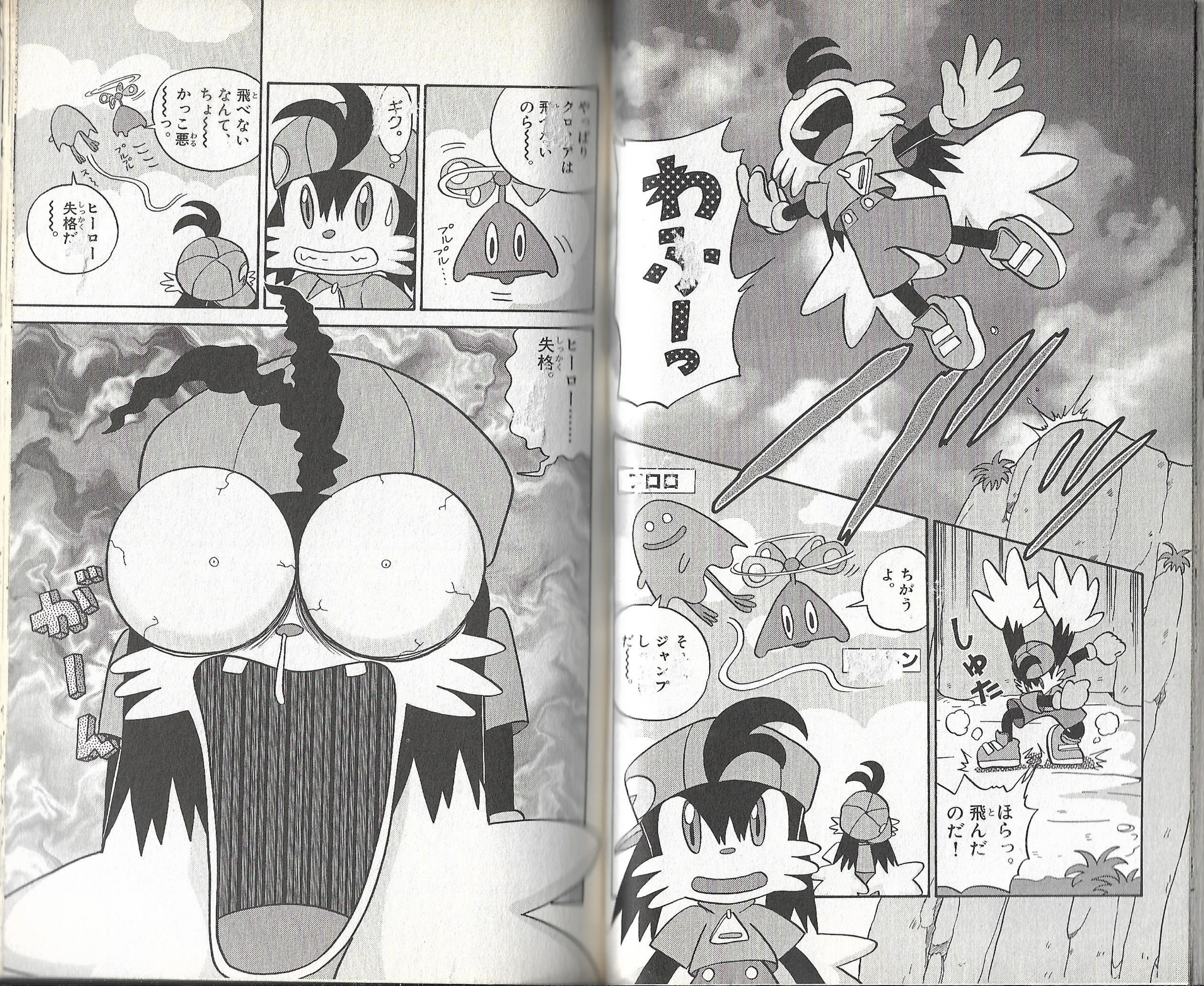

わはは!
ぼくの大活躍で、
街の平和は守られたのだ!
風の街は、いつの間に空中都市になったのだ?
げ!
ほんのさっき。

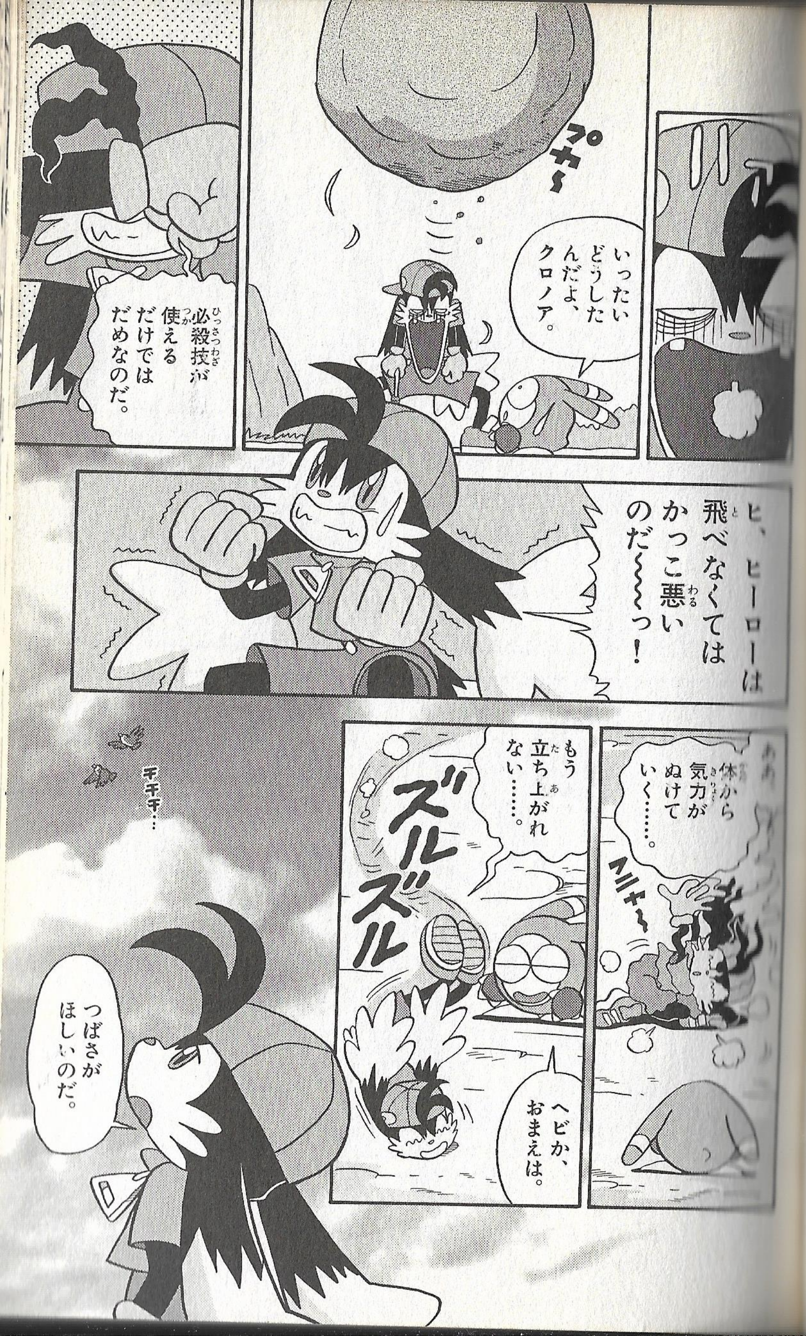

ドガ
ドガ
ドガ
ドガ
ドガ
ドガ
ドガ
ああ——っ!

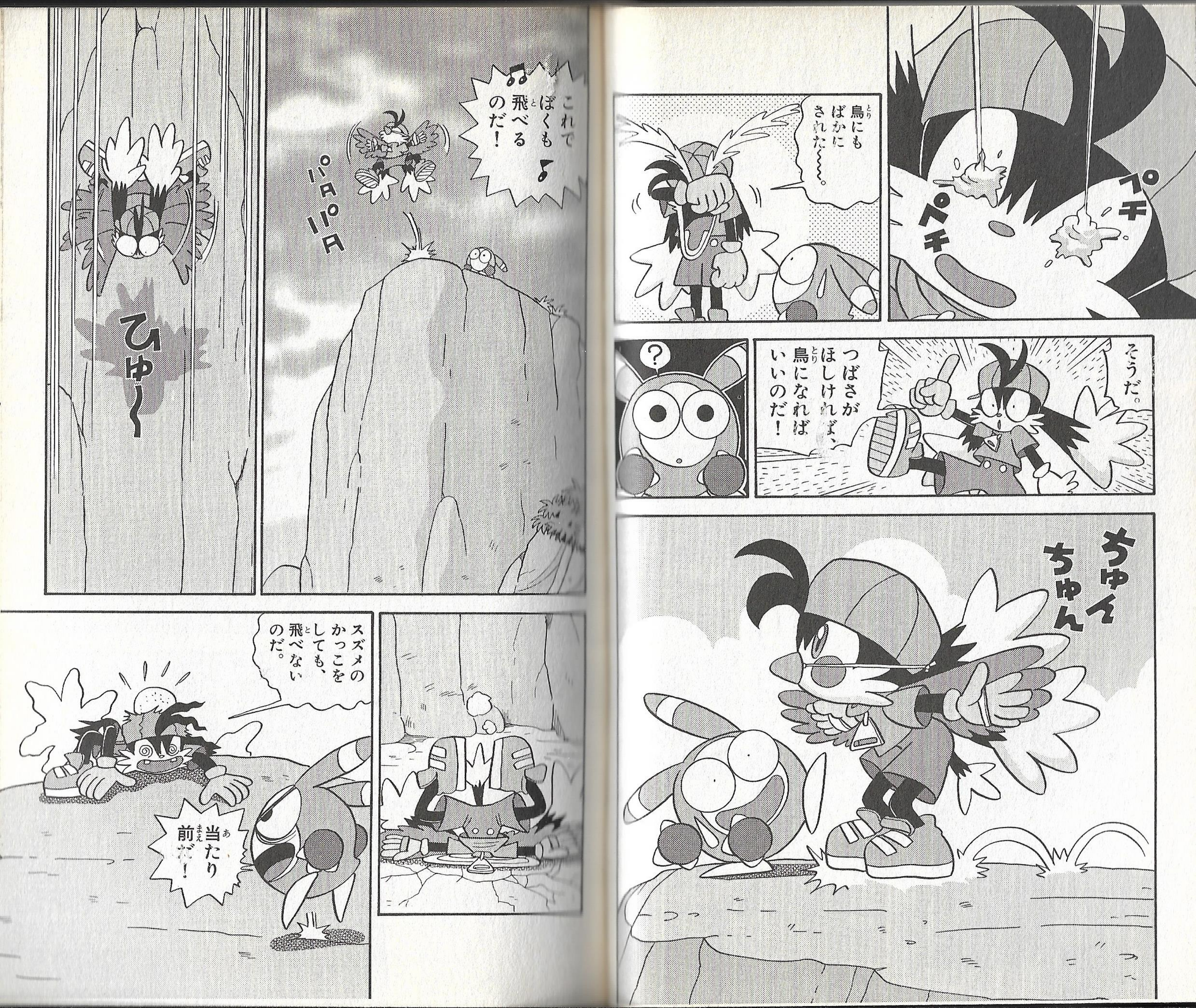

……。

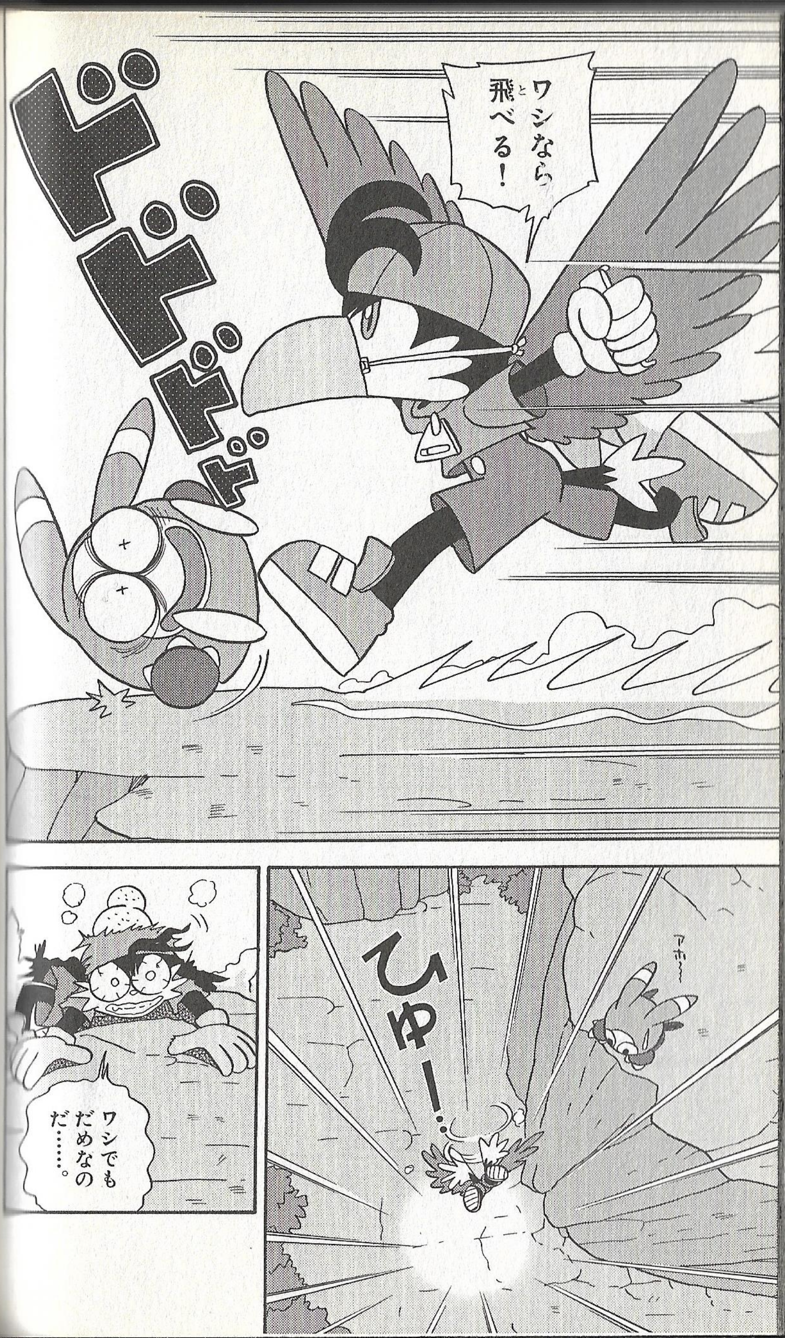

ガラン
おお
街のみなさん！よくご無事で。
どこが無事だ。
今日こそは許さないぞ、クロノア！
ドドドドド
クロノア、にげまーす。


第3話
空飛ぶヒーローになるのだ!


わふーっ
しゅたっ
ほらっ。飛んだのだ!
ちがうよ。
ギク。
プルプル……
飛べないなんて、ちょ〜〜〜かっこ悪〜〜〜っ。
ヒーロー失格だ〜〜〜。
ヒーロー……失格。
がーん

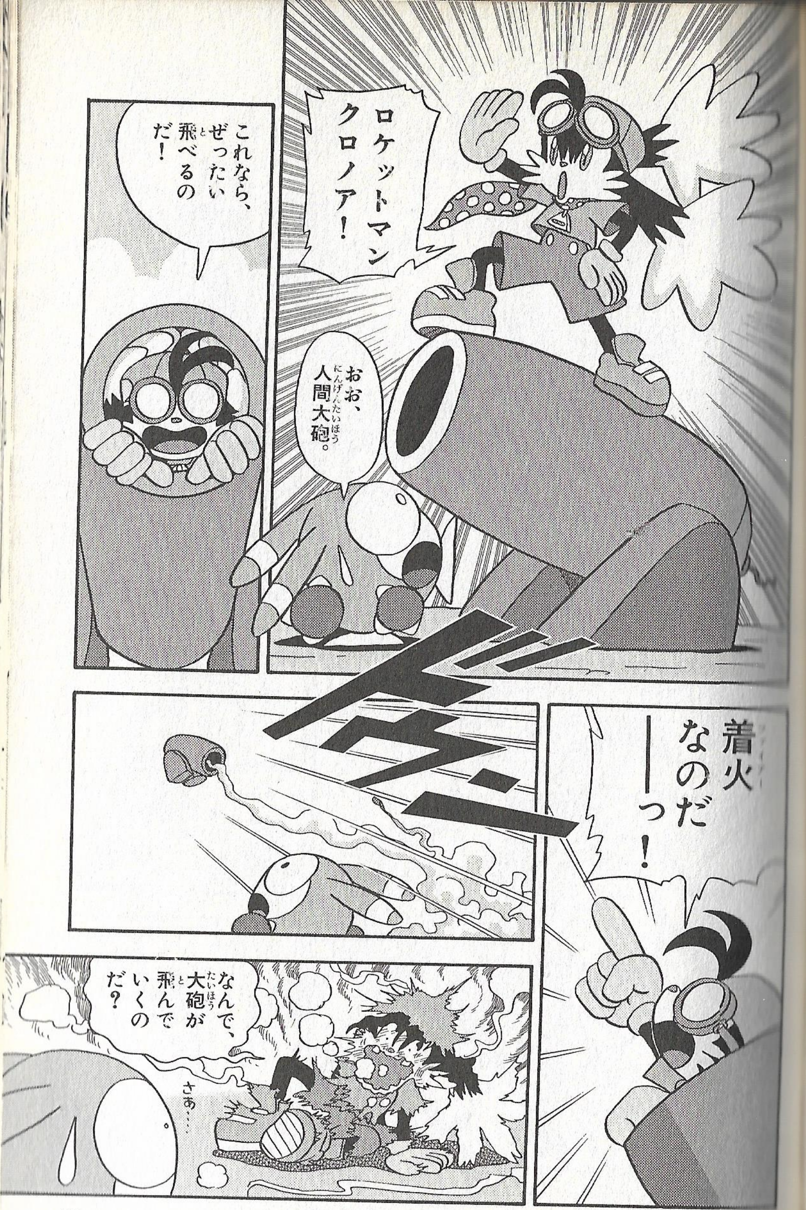

へんだな。辺りがきゅうに暗くなったぞ。
しゅううう
わっ!
しゅううう
おまえは闇の魔王か!
ぶら〜〜
風だま〜〜。
バウ

プカ〜
いったいどうしたんだよ、クロノア。
必殺技が使えるだけではだめなのだ。
ヒ、ヒーローは飛べなくてはかっこ悪いのだ〜〜っ!
あぁ
体から気力がぬけていく……。
フニャ〜
ヘビか、おまえは。
もう立ち上がれない……。
ズルズル
チチチ…
つばさがほしいのだ。

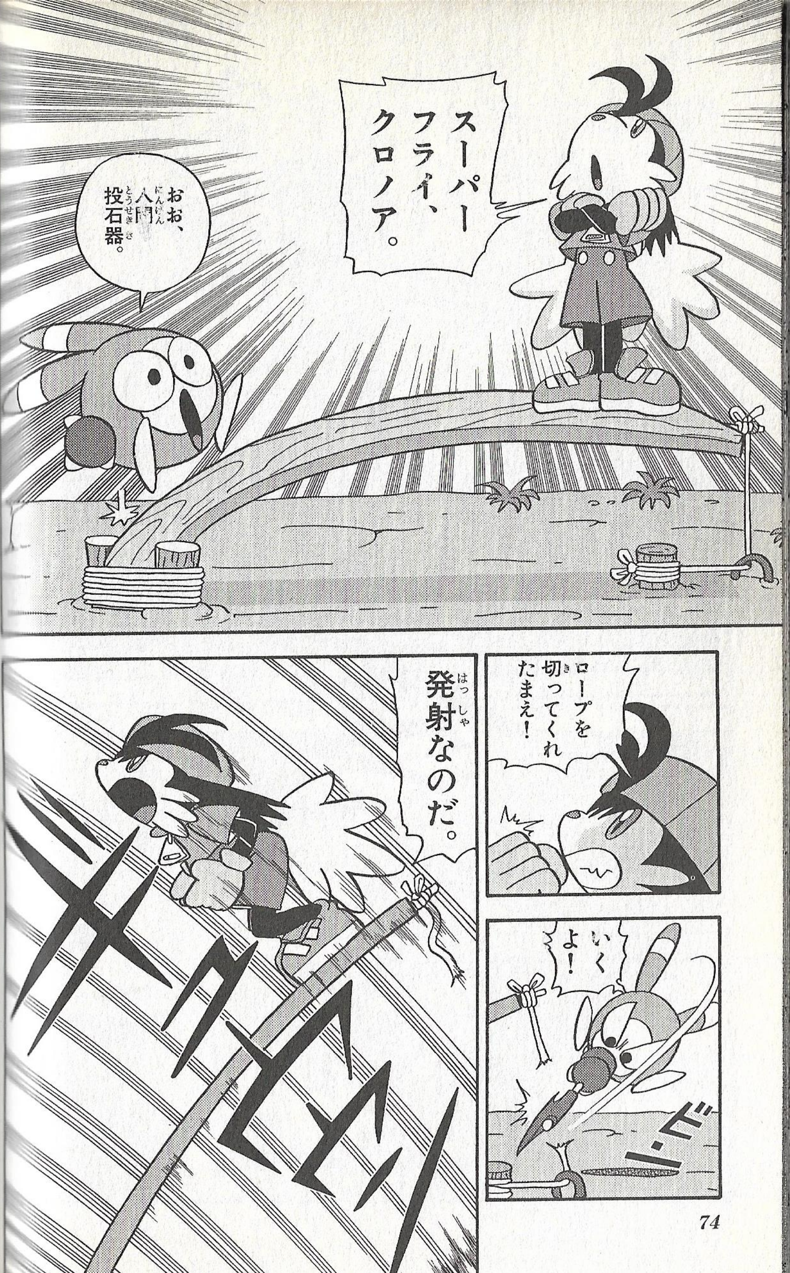

ペチ
ペチ
鳥にもばかにされた〜〜〜。
そうだ。
つばさがほしければ、鳥になればいいのだ！
?
ちゅんちゅん
これでぼくも飛べるのだ！
パタパタ
ひゅ〜〜
スズメのかっこをしても、飛べないのだ。
当たり前だ！


ワシなら飛べる！
ドドドド
ひゅー
ワシでもだめなのだ……。


三度目の正直。
ペンギンは飛ばない！
ひゅー
なるのはあきらめたのだ。
プロペラを付けてみました。


せっけいず
ゴム
くろのあ せっけい
クランク
のんも
強力なゴム動力でプロペラを回して、飛行するのだ。
ゴムを巻いてくれたまえ。
よし
ギリギリ…
はい！飛びます。
ぎゅるる
ひゅ～

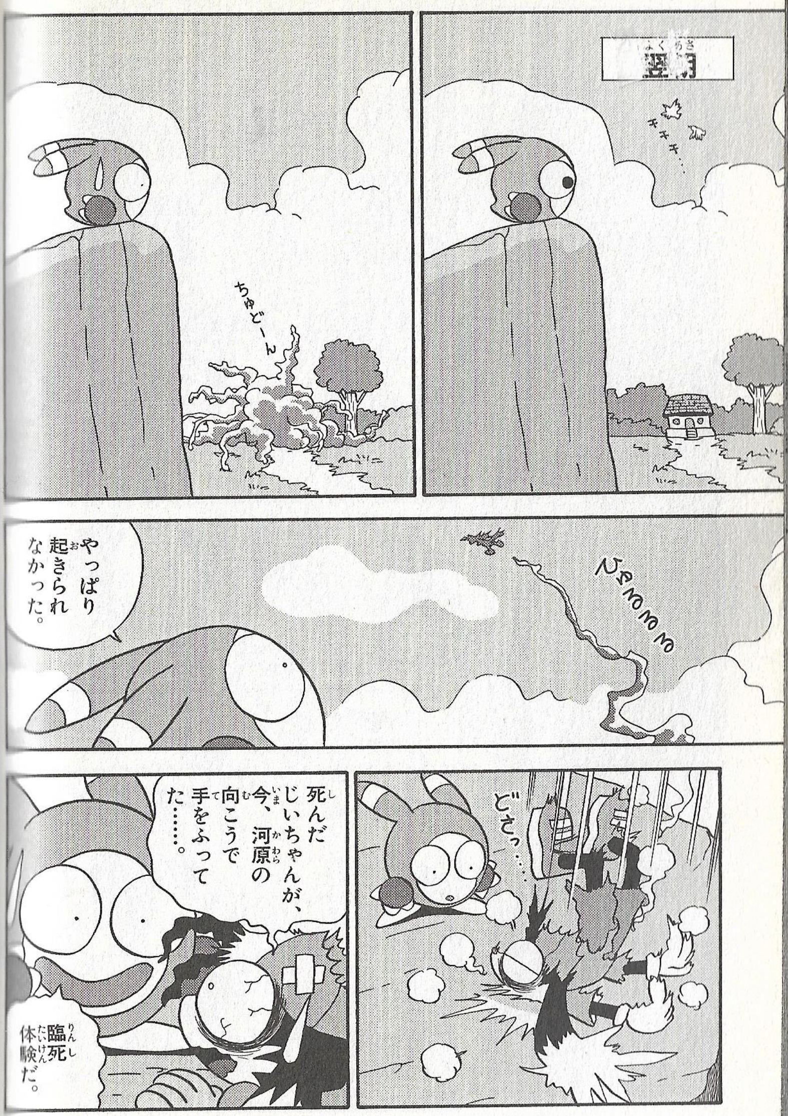

ロケットマンクロノア！
これなら、ぜったい飛べるのだ！
おお、人間大砲。
着火なのだ──っ！
ドゥーン
なんで、大砲が飛んでいくのだ？
さぁ…


スーパーフライ、クロノア。
おお、人間投石器。
ロープを切ってくれたまえ！
発射なのだ。
いくよ！


おーいクロノア
むりむり〜〜〜っ。
飛べるわけないぞ〜〜〜。
ぜったい飛んでみせるのだ！ぼくはヒーローなのだ〜〜〜っ。


クロノアの家
うっ・・
ク、クロノアが泣いている
トン トントントン
ううっ
タマネギ刻ん るんかい!
カレー作ろうと思って。
腹がへっては戦はできないのだ。
ぼくのカレーはおいしいのだ。
わけがわからん
早朝から特訓をするのだ。
でも、クロノア、朝に弱いじゃないか。

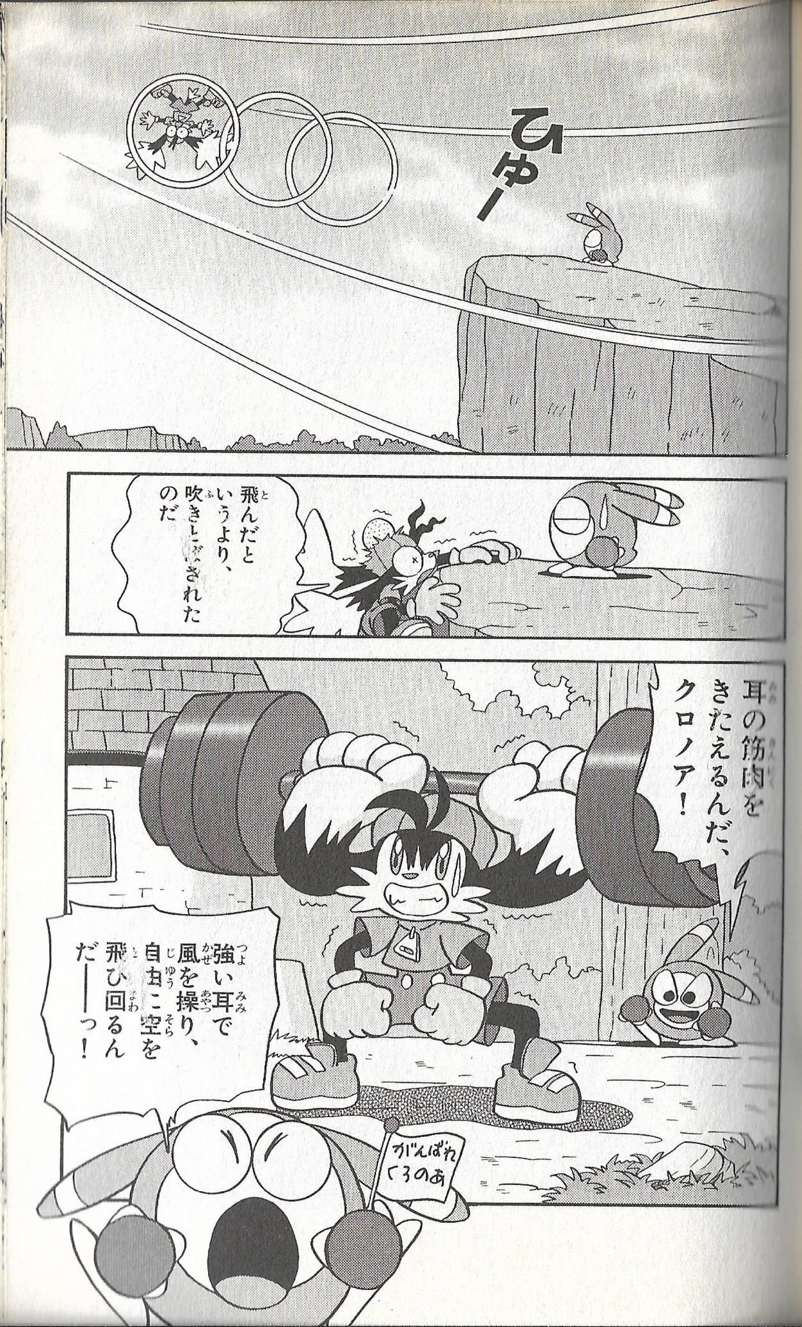

爆弾 ある だいじょうぶなのだ。
?
時間に起き 爆発するのだ。
危ないじゃん。
自分を追いこむのだ。
命がけなのだ。
爆発前にちゃんと起きてみせるのだ!
パチパチ
なんだかスゴイ


翌朝
チチチ…
ちゅどーん
やっぱり起きられなかった。
ひゅるるる
死んだじいちゃんが、今、河原の向こうで手をふってた……。
臨死体験だ。
どさっ……


さあ、特訓をはじめるのだ。
よし！その意気だ。
で、なにをするんだよ？
なにをするのだ？
こっちが聞いてるんだよっ。
じつは、もうなにをしていいかわからないのだ〜〜。
ひゅるるる
なんのために早起きしたんだよ……。
パタパタ
その大きな耳を使って、風に乗ったら飛べるかも。



きみは風になるんだ。ヒーロー、風のクロノアだよ！
うはーっ。
ゴホッ、ゴホッ
それは風邪のクロノア。
風のクロノア。

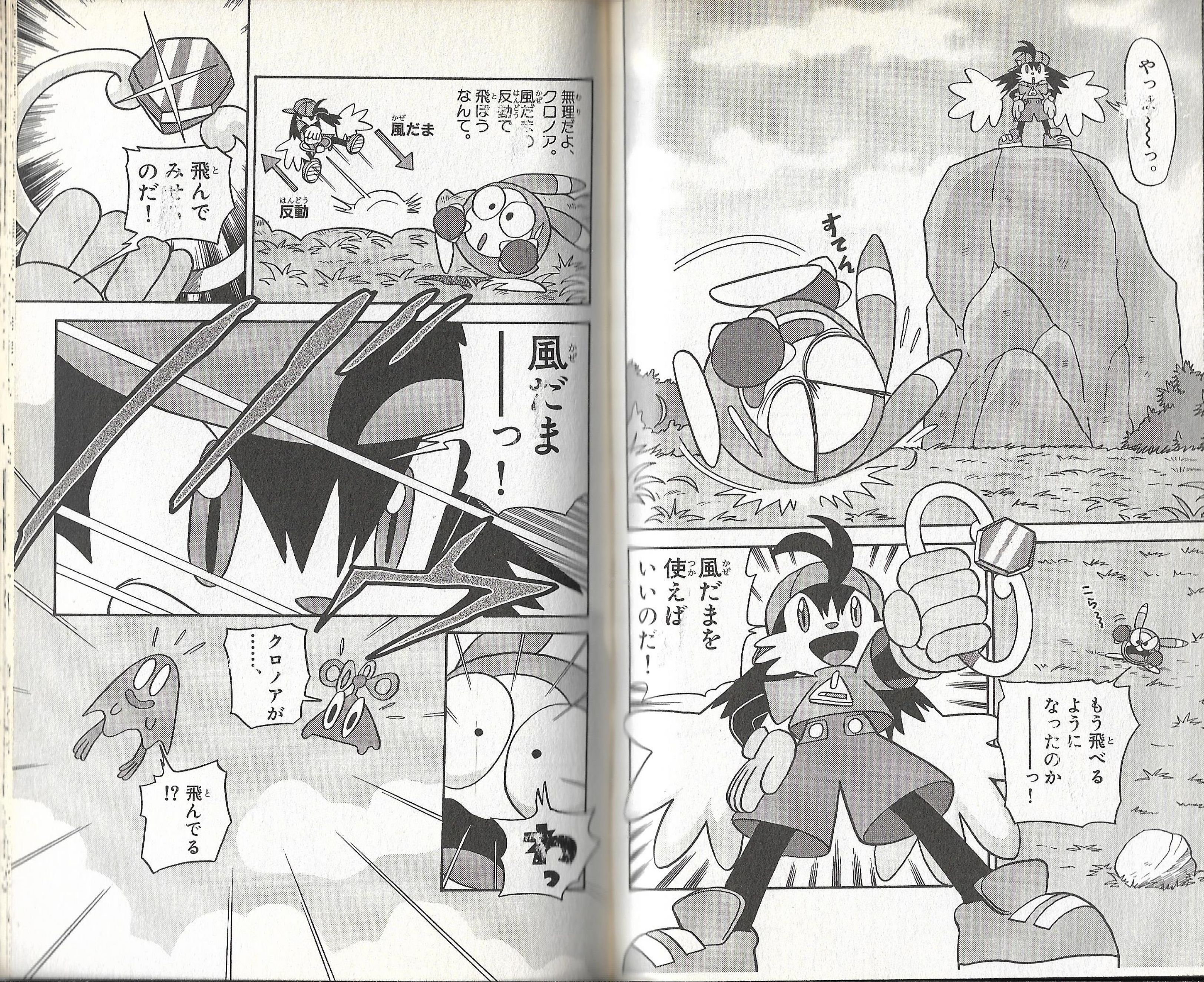


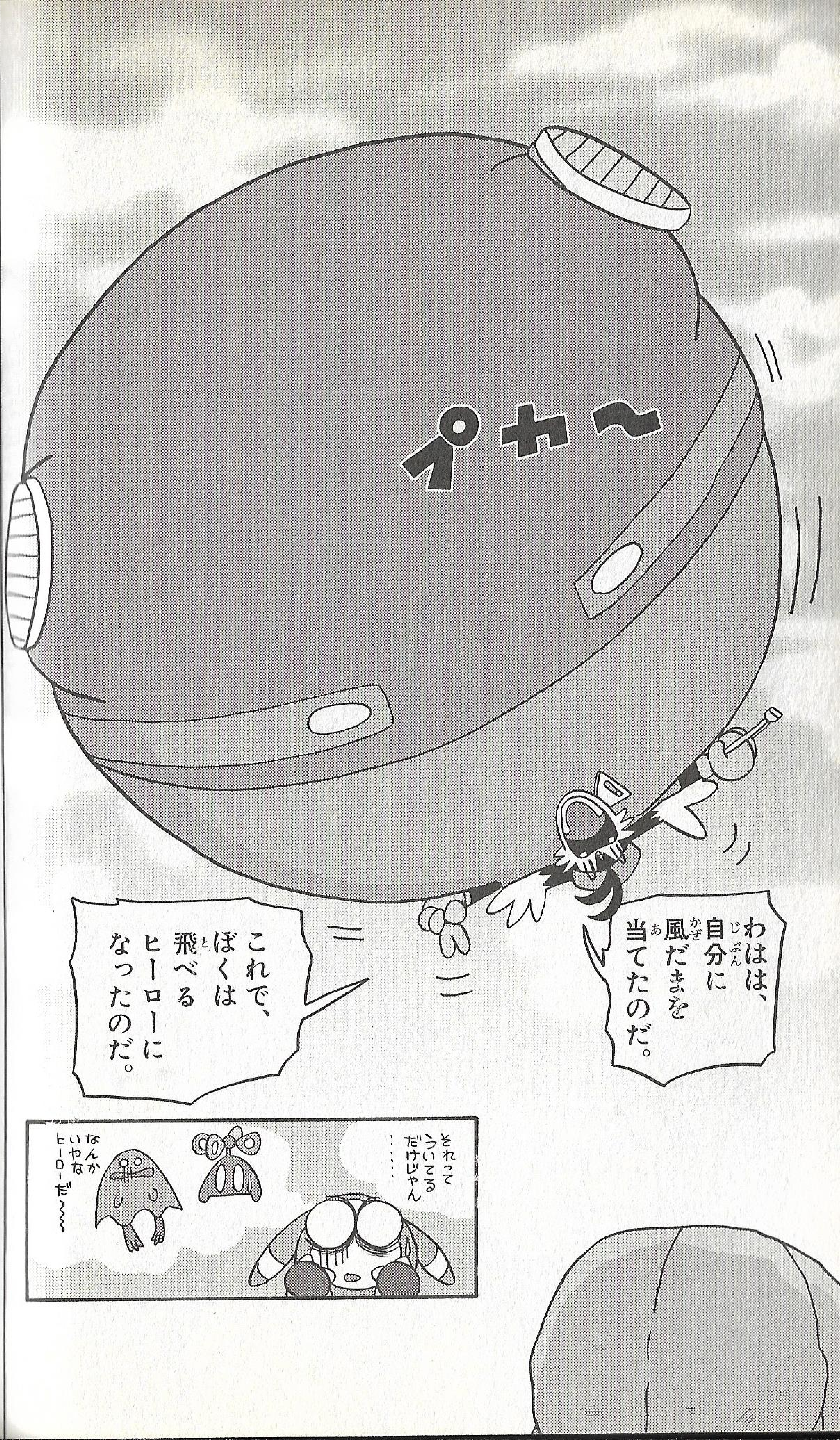
ひゅー
飛んだというより、吹きとばされたのだ
耳の筋肉をきたえるんだ、クロノア！
強い耳で風を操り、自由に空を飛び回るんだ——っ！
がんばれ くろのあ

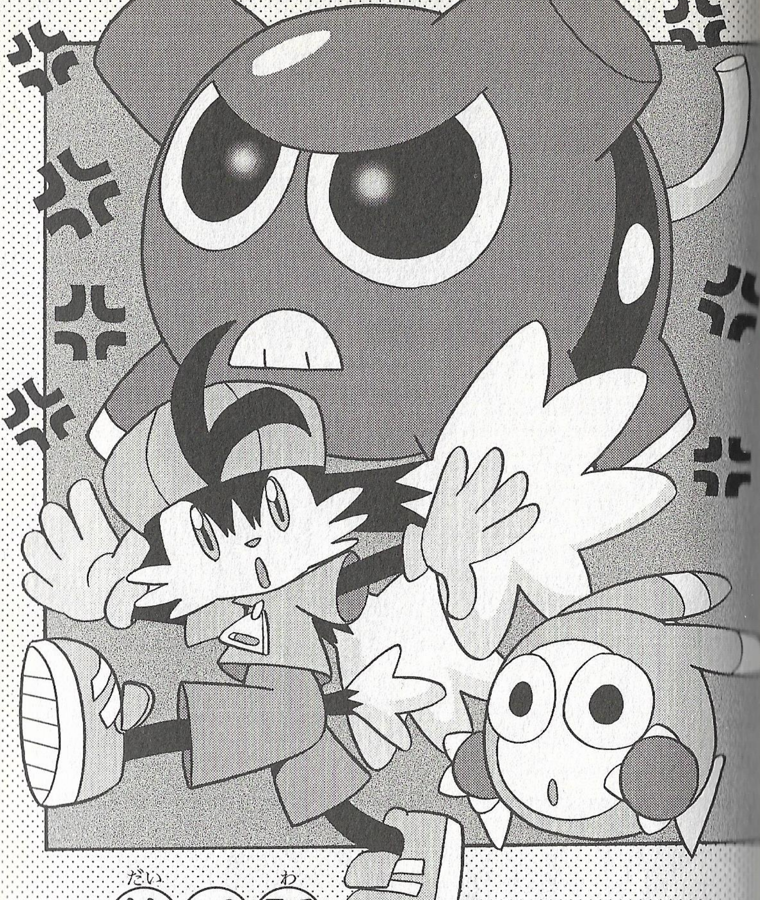

クロノアのきびしいトレーニングは毎日続いた。
いちに！
いちに！
雨の日も……、
いちに！
いちに！
クロノア。
雪の日も……、
いちに！
クロノア。
やりの日も……。
はっ。
はっ。
いたい。
そして、ついにトレーニングが終了した。
クロノア トレーニング
ムウ
パタン


むきっ
はっ
かたい鉄棒もこのとおり。
ぐにゅ
ぐにゅ
くねくね
自由自在に曲げられるのだ。
ぎゅ
いてて。
よくがんばった、クロノア。


風のクロノア。
飛 ます！
うそっ！
クロノアが、飛んでる！
ヒュウウウウ
飛んだ！
クロノア、風に
わはは、ぼくやっぱりヒーローなのだ。
?
風がやんだ……。
ひゅううう
やっぱり飛べないじゃん。
うわーん。
どこへ行くんだ、クロノア！
飛べるようになるまで、もうみんなの前には姿を現さないのだ〜〜。
クロノア……。

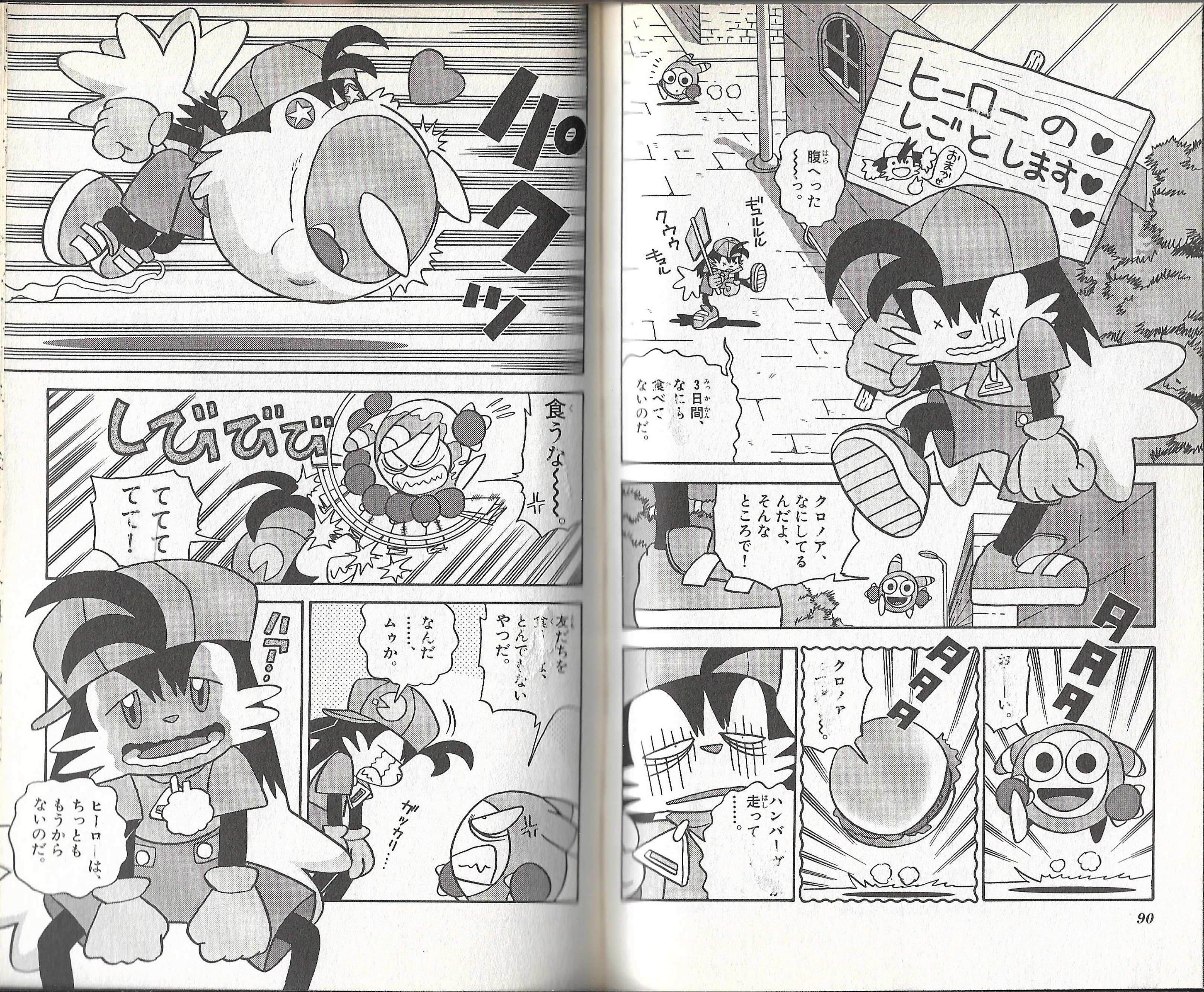

やっほ〜〜っ。
すてん
風だまを使えばいいのだ!
もう飛べるようになったのか——っ!
こらぁ〜
飛んでみせるのだ!
無理だよ、クロノア。風だまの反動で飛ぼうなんて。
風だま
反動
風だま——っ!
クロノアが……、
飛んでる!?
わっ


プカ〜
わはは、自分に風だまを当てたのだ。
これで、ぼくは飛べるヒーローになったのだ。
それってういてるだけじゃん……
なんかいやなヒーローだ〜〜

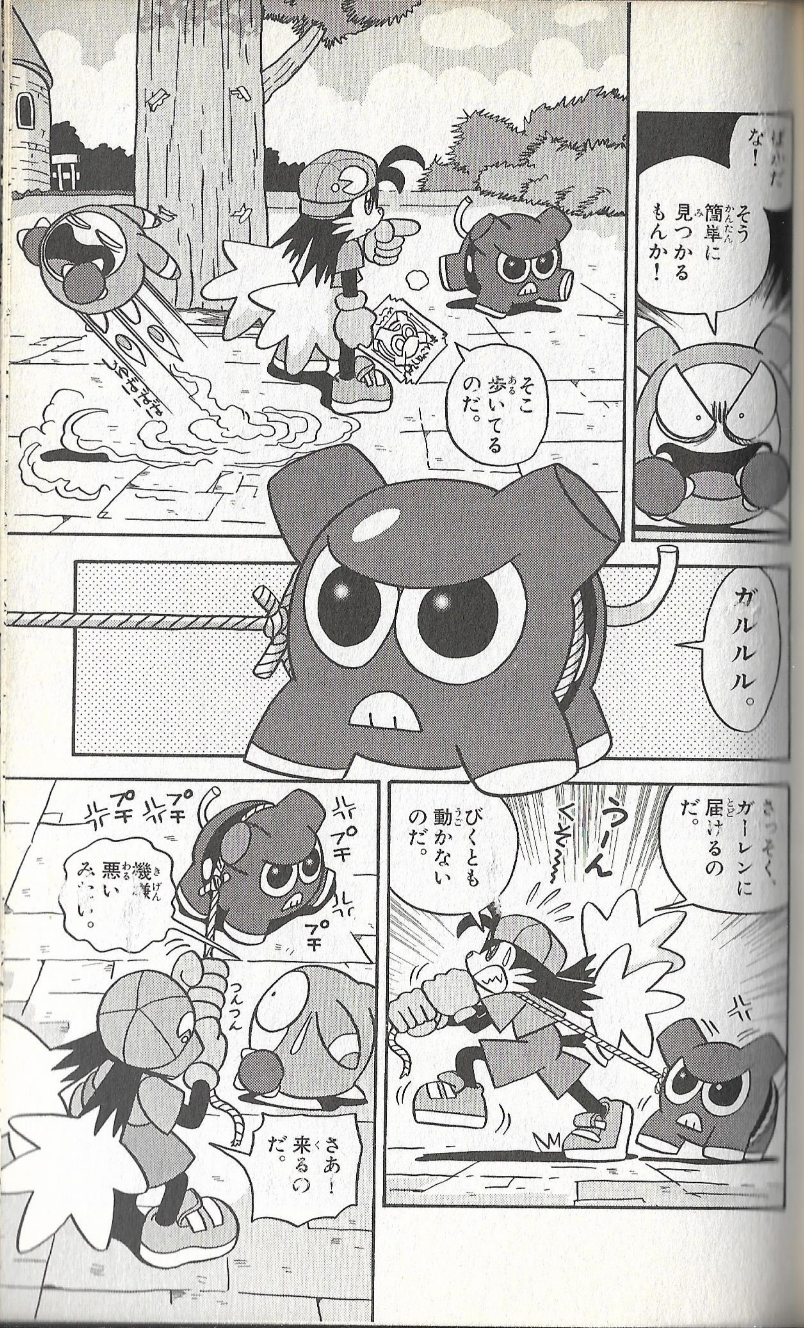


第4話

ブッピィに要注意なのだ!


ヒーローの
しごとします♥
おまかせ
腹へった〜〜っ。
ギュルルル
クウウ
キュル
3日間、なにも食べてないのだ。
クロノア、なにしてるんだよ、そんなところで!
タ
タタタ
おーい。
タタタ
クロノア〜〜。
ハンバーグ走って……。
パクッ
しびびび
食うな〜〜〜。
てててててて!
ハァ…!
友だちを食うよ、とんでもないやつだ。
なんだ……、ムゥか。
ガックリ……
ヒーローは、ちっとももうからないのだ。


ヒーロー廃業かも。
トン
ん
問題解決なのだ！
まいごのブッピイ
ボウをさがしてね
みつけた方に
100万円
さしあげます
ガーレンまで
これで、ぼくはお金持ちなのだ。

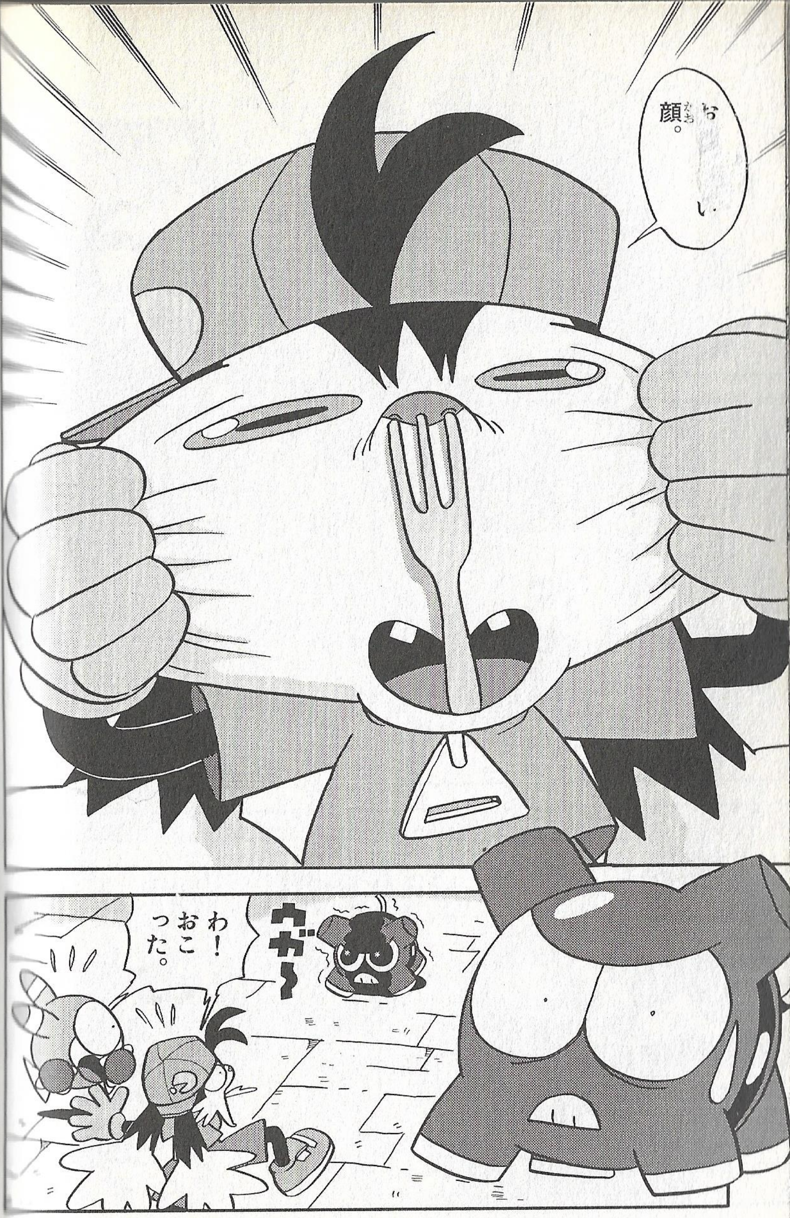

ばかだな！
そう簡単に見つかるもんか！
そこ歩いてるのだ。
ガルルルル。
さっそく、ガーレンに届けるのだ。
うーん
びくとも動かないのだ。
プチ
プチ
プチ
プチ
機嫌悪いみたい。
つんつん
さあ！来るのだ。



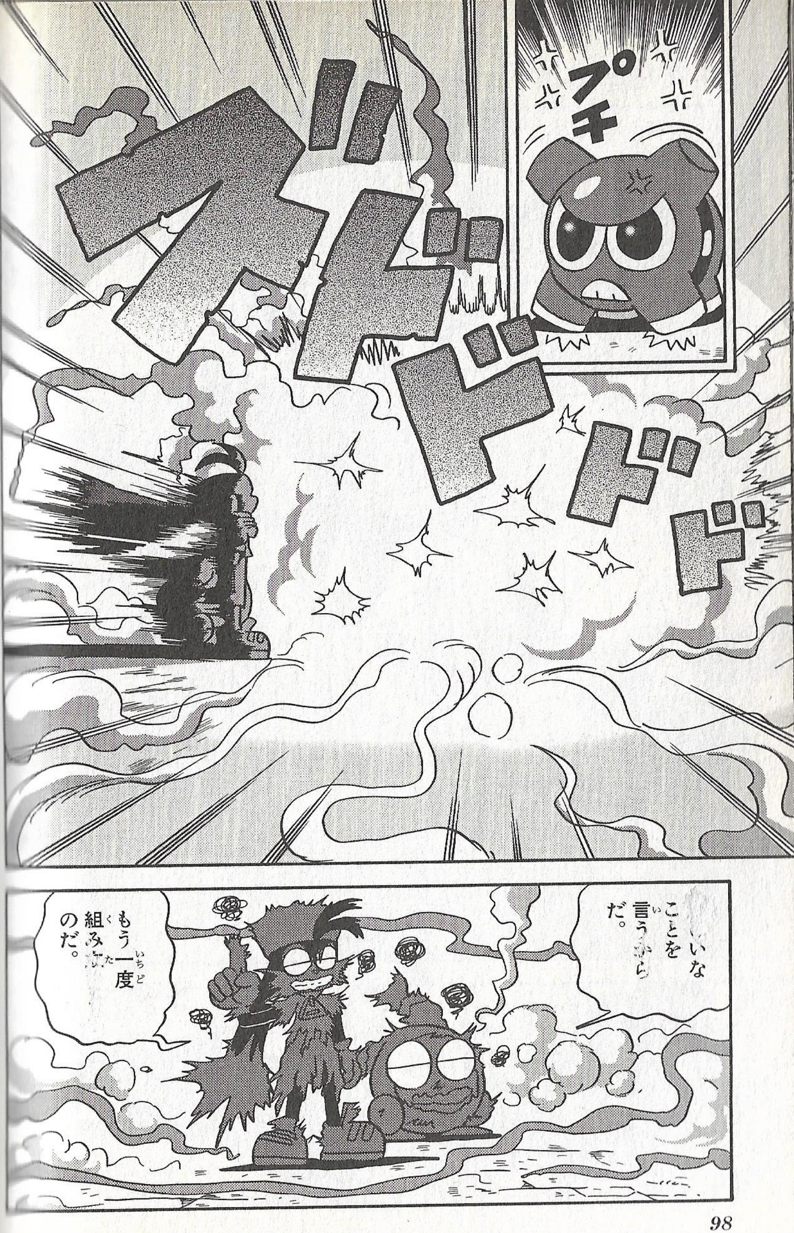
イヌあつかいはむかつく！
プチ プチ プチ プチ
やばい…
ブッピィは、おこると爆発するぞ。
ズドドドドド
そういうことは、早く言うのだ。
あ〜〜っ！ブッピィがばらばらなのだ。

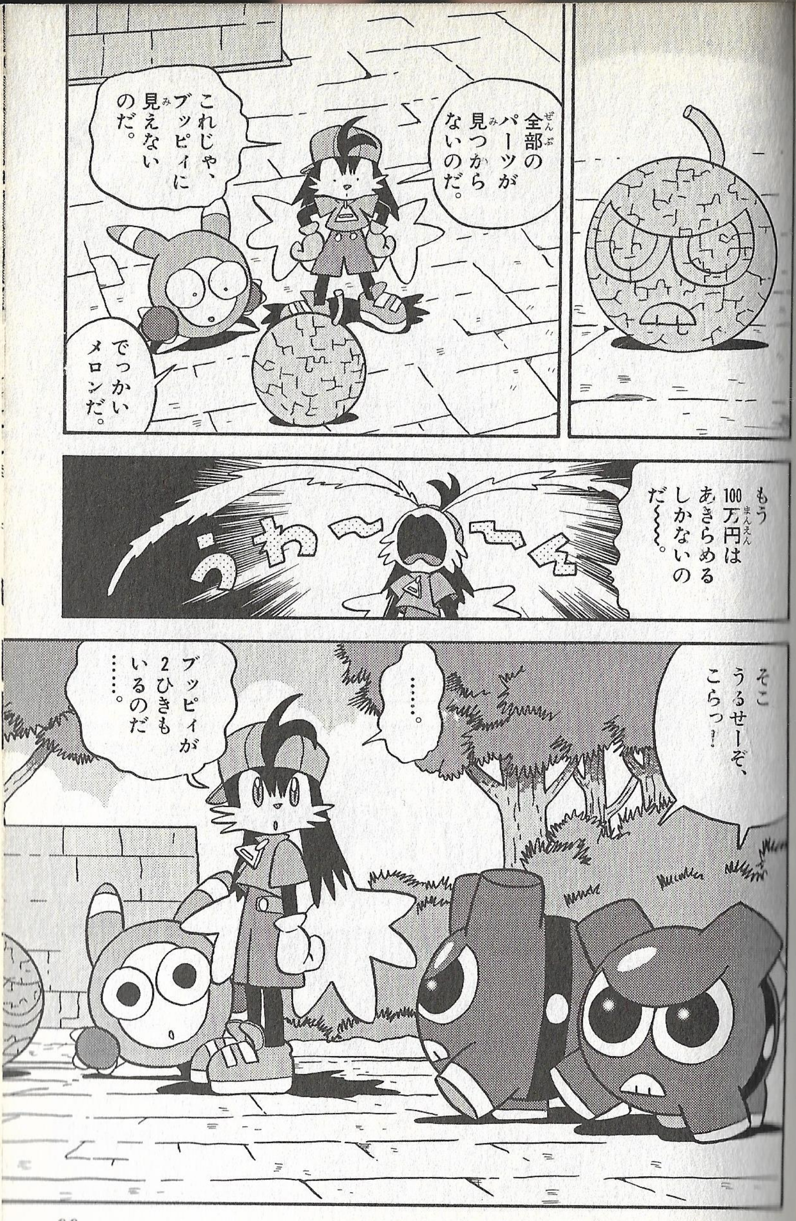


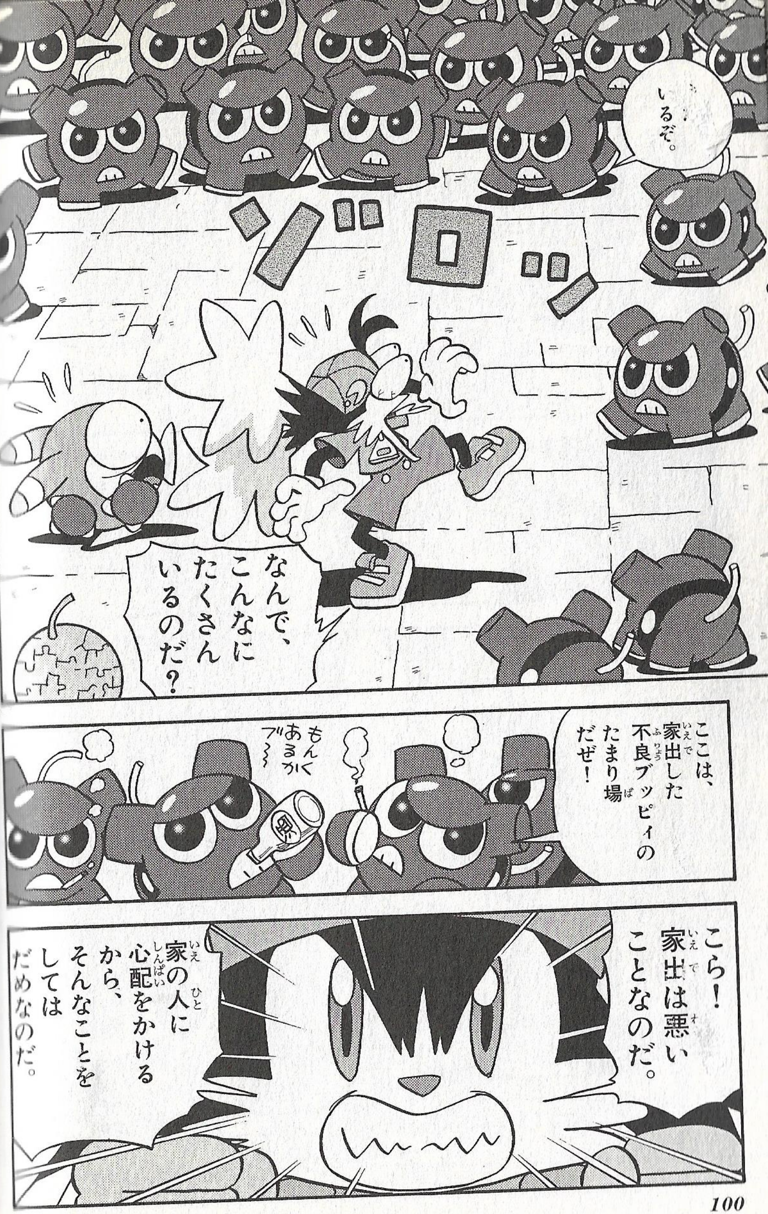
もとにもどすのだ。
あれ
平べったくなってしまった。
これじゃジグソーパズルだ
色をぬれば、元通りなのだ。
やったね、クロノア。
ペタ ペタ
こら〜〜〜。勝手にもどすな！
プチ
おこったら、また爆発してしまうのだ。
プチ プチ
クロノア！笑わせて機嫌を直させろ！
プチ プチ プチ プチ
わ…、笑わせるのか……。


お
い
顔。
わ！おこった。
ウガ〜

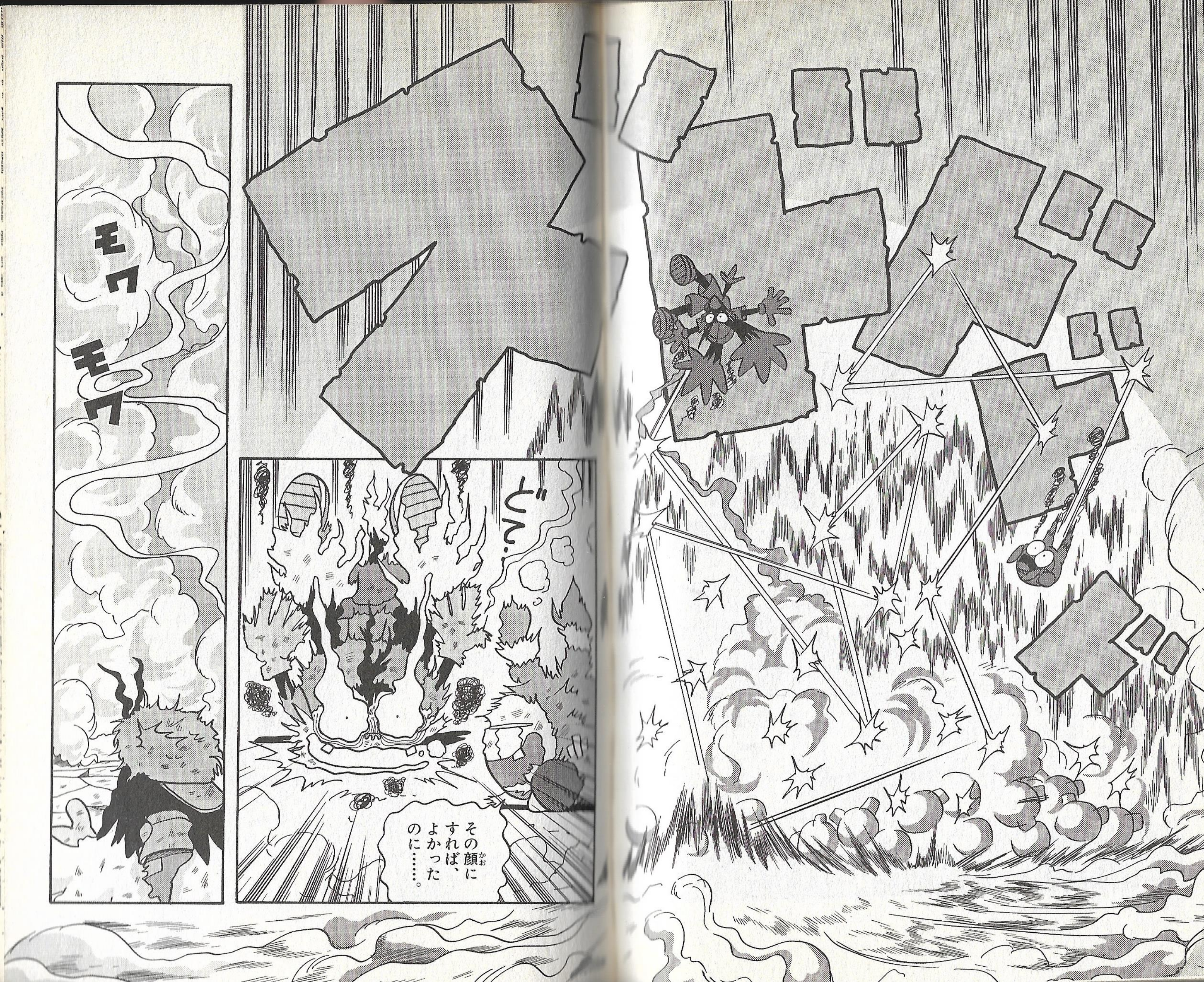

ウガガガ
？
爆発しないのだ。
ひょっとして笑っているのかも……。
おもしろい顔。
ウガガガ
ヒクヒク…
やっぱり笑ってるんだ。
笑っているのに、おこった顔とはへんな顔なのだ。


プチ
ズドドドド
いなことを言うからだ。
もう一度組み
のだ。

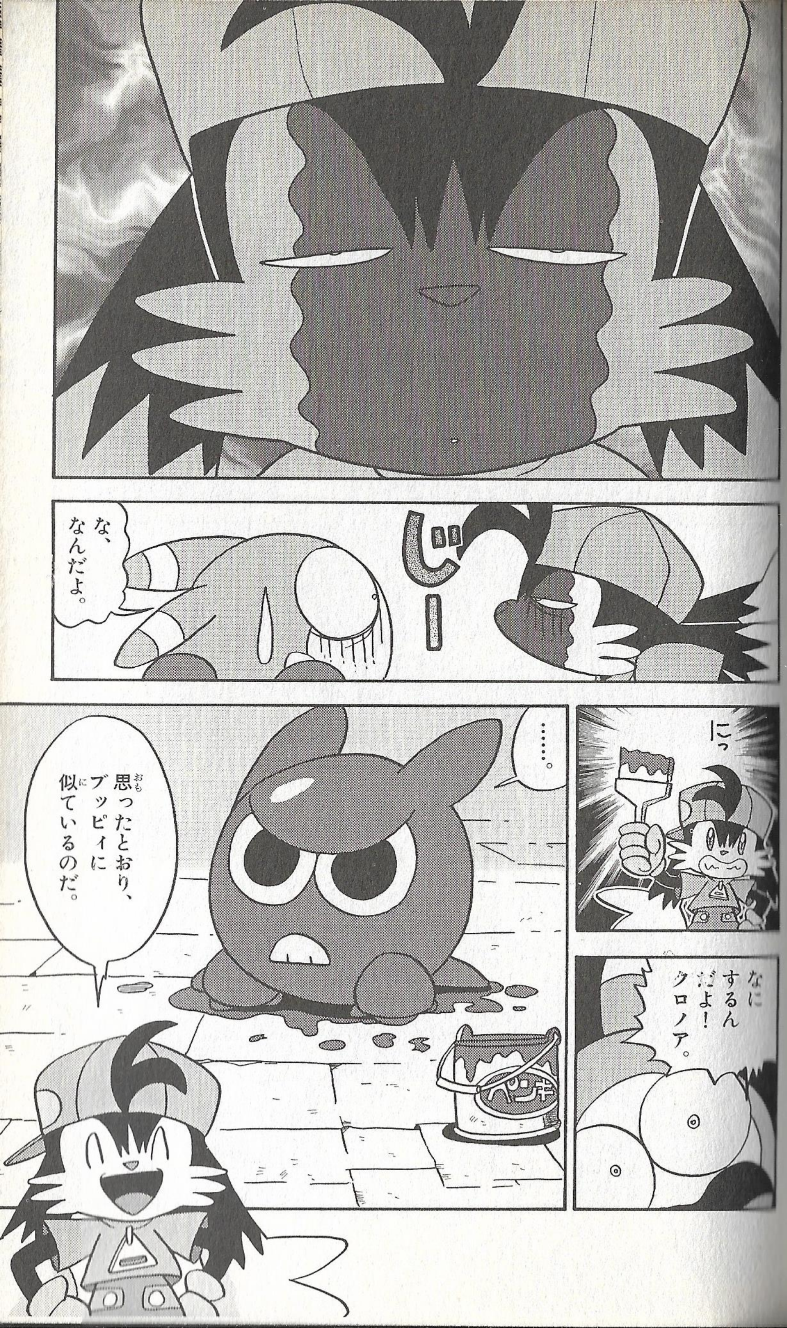

全部のパーツが見つからないのだ。
これじゃ、ブッピィに見えないのだ。
でっかいメロンだ。
もう100万円はあきらめるしかないのだ〜〜〜。
うわ〜〜ん
そこうるせーぞ、こらっ!
……。
ブッピィが2ひきもいるのだ……。


いるぞ。
ゾロッ
なんで、こんなにたくさんいるのだ?
ここは、家出した不良ブッピィのたまり場だぜ!
もんくあるかブ〜〜
こら! 家出は悪いことなのだ。
家の人に心配をかけるから、そんなことをしてはだめなのだ。


さすがヒーロー。いいこと言うじゃん。
なんやねん、こいつっ!
プチ
プチ
ひっ、爆発するぞ!
おもしろい顔!
ク、クロノア……。その顔、おもしろくない……。
プチ プチ プチ プチ プチ


どて…
その顔にすれば、よかったのに……。
モワ
モワ


あっ。
みんな爆発して、あとかたもないのだ。
もうだめだ〜〜〜。100万円〜〜〜。
ぼくもいっしょに仕事を探してあげるから。
ネッ
あきらめなよ、クロノア。


じー
な、なんだよ。
にっ
なにするんだよ！クロノア。
……。
思ったとおり、ブッピィに似ているのだ。



これで100万円は、ぼくのものなのだ。
コラ！
正義のヒーローがひとをだましていいのか？
ムゥをあずけている間に、本物を探せばいいのだ。
キュルル
グルルル
キュイ〜
今、ぼくに必要なのは100万円。
しかたがないなぁ。
そうだ。念のため、これを付けておこう。
なに、それ。
しっぽ型爆発装置。
これで、いつでも爆発できるから。



わははは
だれが爆発だ！こんなもの取りはずしてくれ。
完ぺきなのだ。
これで100万円はゲットなのだ。
ガーレンの館
ピンポーン
ごめんくださいなのだ！
ギィッ
なんだ。クロノアじゃないか。
まいごのブッピィを連れてきたのだ。
ただいまーっ。


うちのブッピィは、こんなににこにこしてないぞ。
ギク。
おこった顔をしてないと、ばれちゃうのだ。
おう！帰ってきてやったぞ。
なめんなよ、ごらぁ！
その調子なのだ。
うちのブッピィは、腕立てふせが得意なんだが……。
……。
腕立てふせ！なのだ。
おう。
いーち。にー。さーん。


連続1000回できるんだ。
せ、1000回……。
ゼィ ゼィ ゼィ
999 998、……。
1000回。
どて…
しっかりせんかい！
運動の後、ホウレンソウとピーマンのしぼりじるを飲むんだ。
まずそう……。
さぁ飲め。大ジョッキで30ぱい！

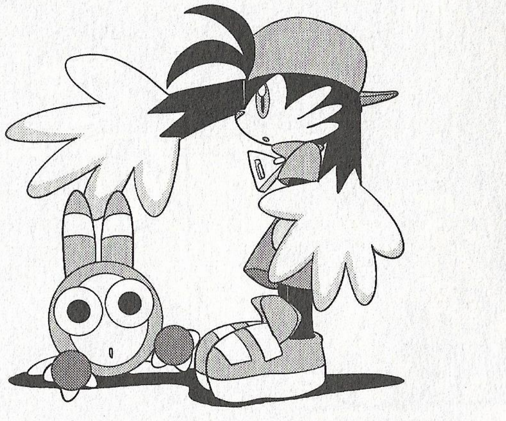

ばた…
たおれた……。
うちのブッピィなら、大喜びで飲むのに……。
げ…、大ピンチ。
ヨロ
ヨロ
ガッ～
あまりのうれしさに気を失ったのだ。
その意気なのだ～～～。
がんばるのだ
もうやけくそだ。
ガブ
ガブ
ガブ
ガブ
なんだかきぶんがわるくなってきたのだ……
おえ～


どうだ！まちがいなくまいごのブッピィなのだ。
まいったか！
げ～ぷ。
に
どーん
それでは100万円をさしあげよう！
いいだろう……。


やった！100万円なのだ！
バッ！
はい！さしあげました。
ギギギッ
おまえたちは30人目のばかだ。
まいごのはずのブッピィがなぜここに？
プププ
欲張りをからかうのはおもしろいぜ。
そし…、あのポスターはいたずら？
正義のヒーローをだますとは……。
プチ


プチ プチ プチ プチ
キレたのだーっ。
プチ プチ プチ プチ
……
ごん
あ！しっぽは……。
ドドドド
ヒーローだって爆発するのだ〜〜っ！
あ…やしきが……
やるじゃんアイツ…



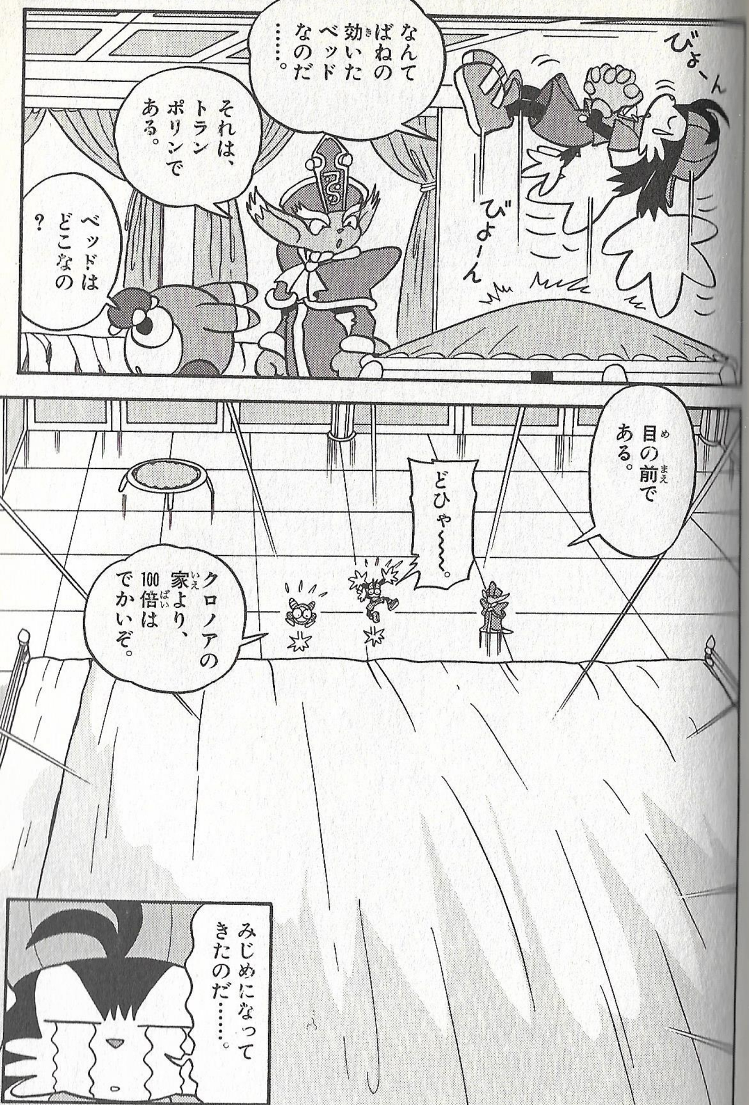


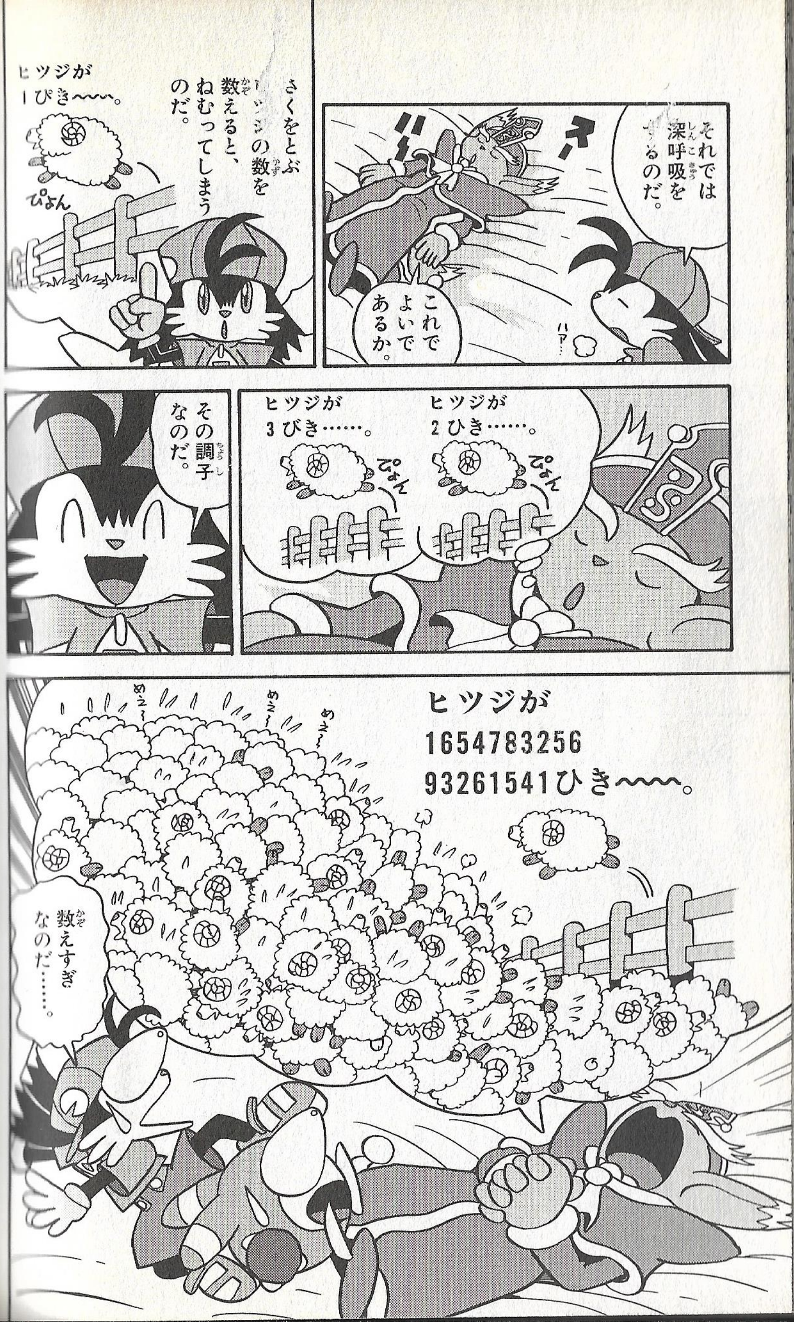
KLONOA

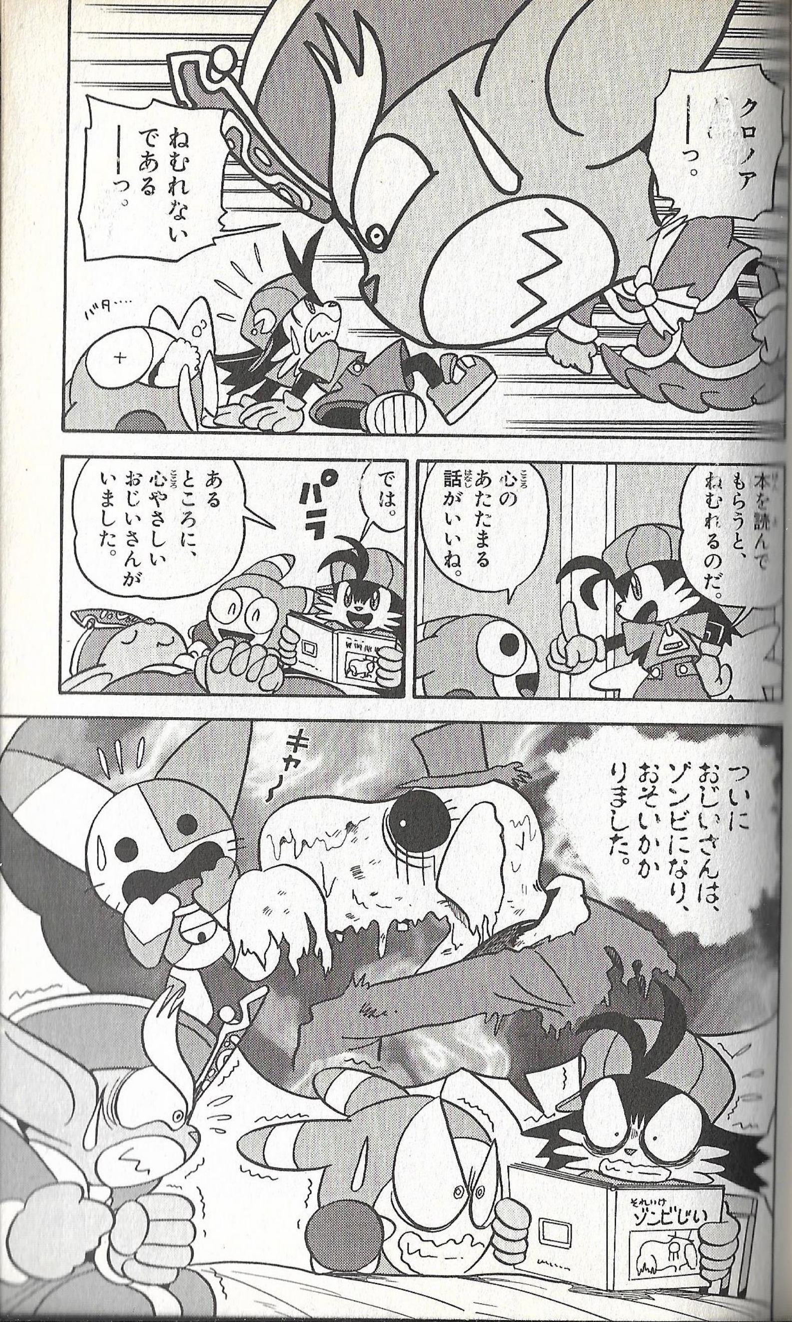

どーん
知らぬ間に、となりに家が建っているのだ。
でかい城だなあ。
ぼくの家は、こんなに小さいのに、世の中は不公平なのだ。
だれが住んでるんだろ。
こんな城に住むやつは、悪人に決まってるのだ！
決め…なよ。


どんな悪いやつか、顔を見てやるのだ。
決めるなってば。
わたしは、この城の主人、ジリアスである。
小屋の主人、クロノアである！
ひくっ だ…
おお！
あなたが、あの有名な正義のヒーロー！
だれだ、こんないい人を悪人だと言ったのは？
おまえだ……。


クロノアどの、わたしを助けてほしいのである――っ！
わ！！
この城に来てから、ねむれなくなったのである！
不眠症でつらいのである！
わかったから、そのでかい顔はやめるのだ！
ねむる方法なんて、簡単なのだ。
まず、ベッドに静かに横になるのだ。


びょ～ん
びょ～ん
なんてばねの効いたベッドなのだ……。
それは、トランポリンである。
ベッドはどこなの？
目の前である。
どひゃ～～～。
クロノアの家より、100倍はでかいぞ。
みじめになってきたのだ……。

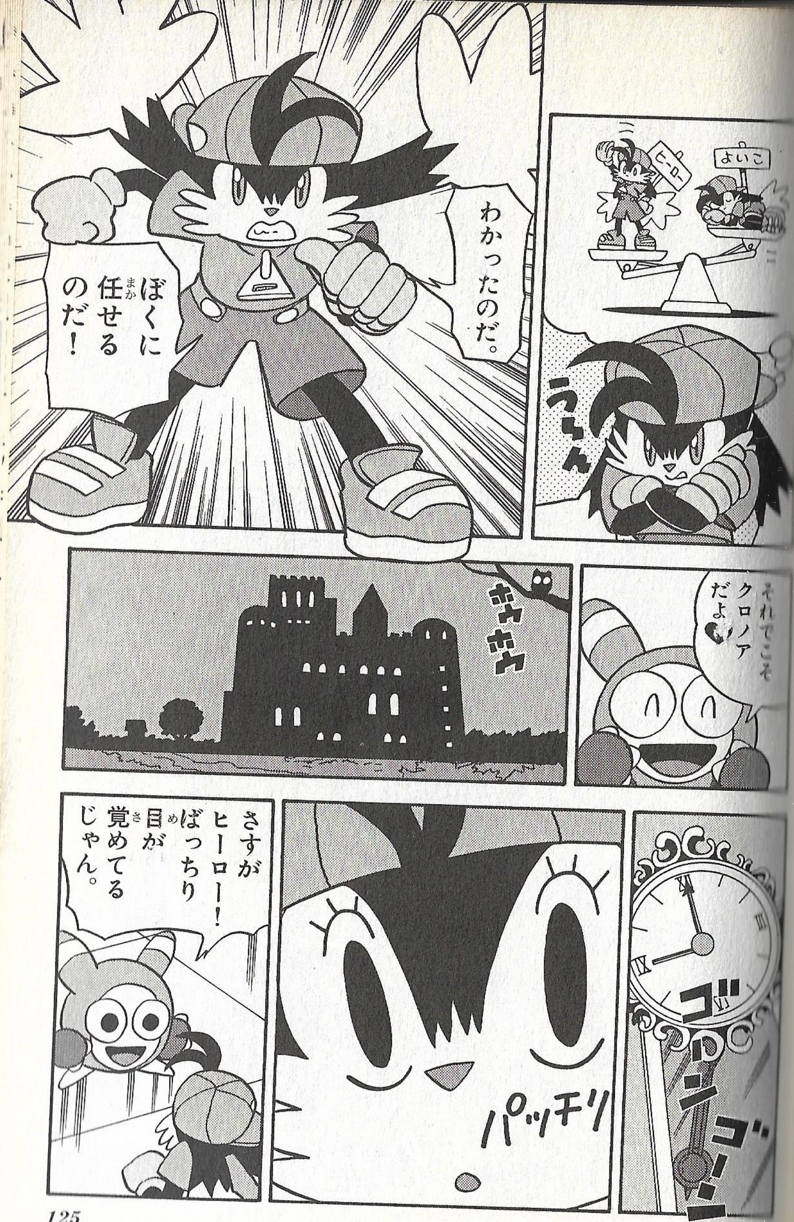

それでは深呼吸をするのだ。
これでよいであるか。
ハァー
さくをとぶヒツジの数を数えると、ねむってしまうのだ。
ヒツジが1ぴき〜〜〜。
ぴょん
ヒツジが2ひき……。
ぴょん
ヒツジが3びき……。
ぴょん
その調子なのだ。
ヒツジが
1654783256
93261541ひき〜〜〜。
数えすぎなのだ……。

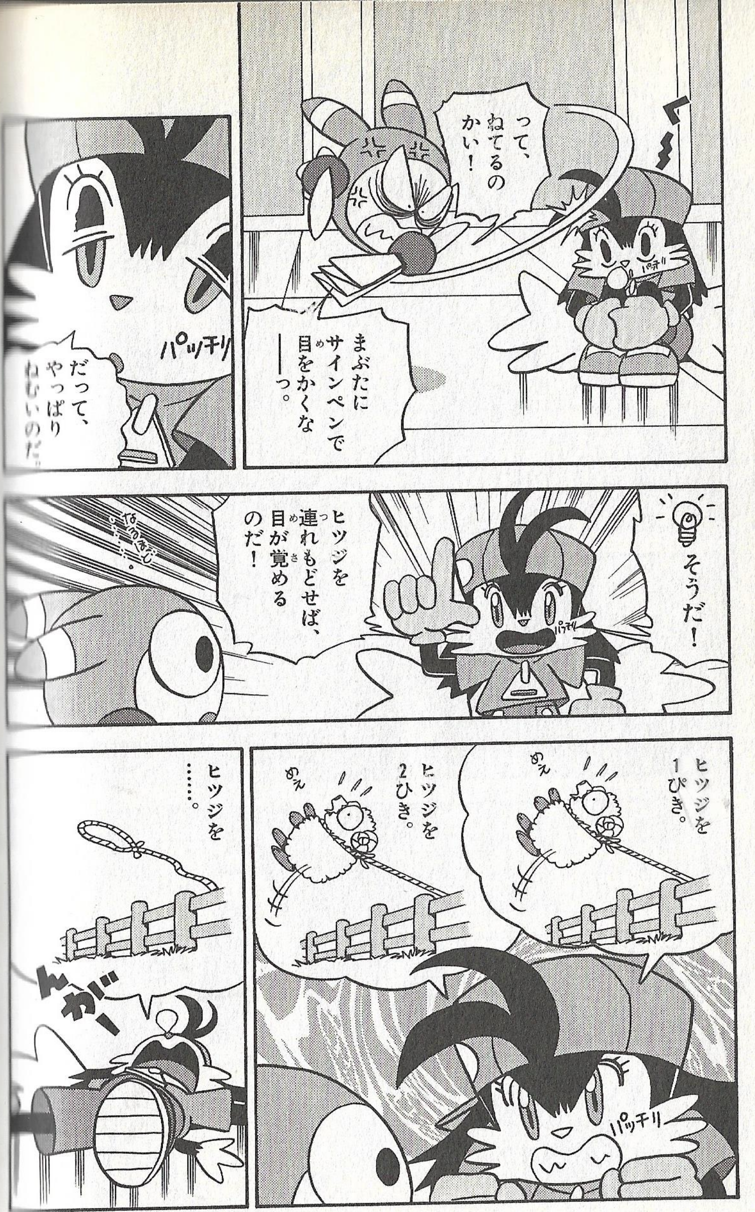

クロノアーーっ。
ねむれないであるーーっ。
バタ…
本を読んでもらうと、ねむれるのだ。
心のあたたまる話がいいね。
では。
パラ
あるところに、心やさしいおじいさんがいました。
ついにおじいさんは、ゾンビになり、おそいかかりました。
キャ〜
ゾンビじい

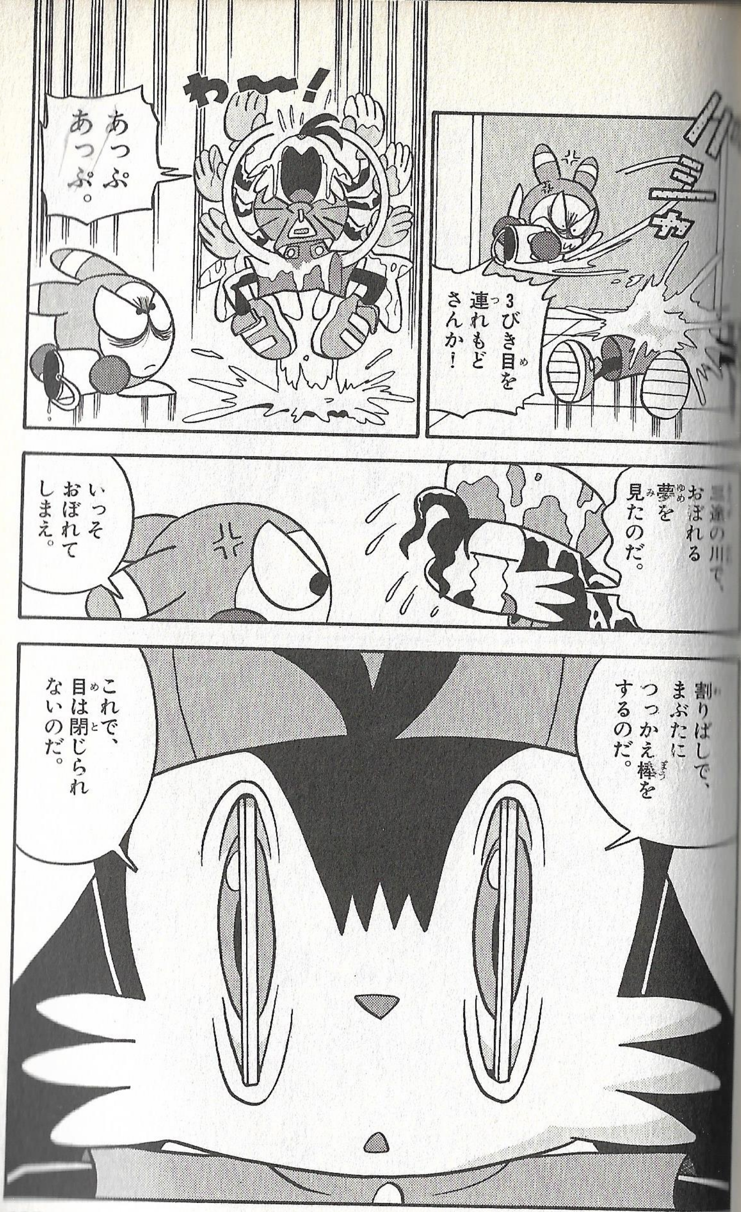

興奮させて、どうするんだよ！
それでは、催眠術でねむらせよう。
ホーラ ホーラ
ねむれ〜
ねむれ〜
ホーラ ホーラ
どんどん目がさえてくるである。
これならぜったいねむれるのだ！
ごん
わ。
ボロッ
わたしは石頭である。

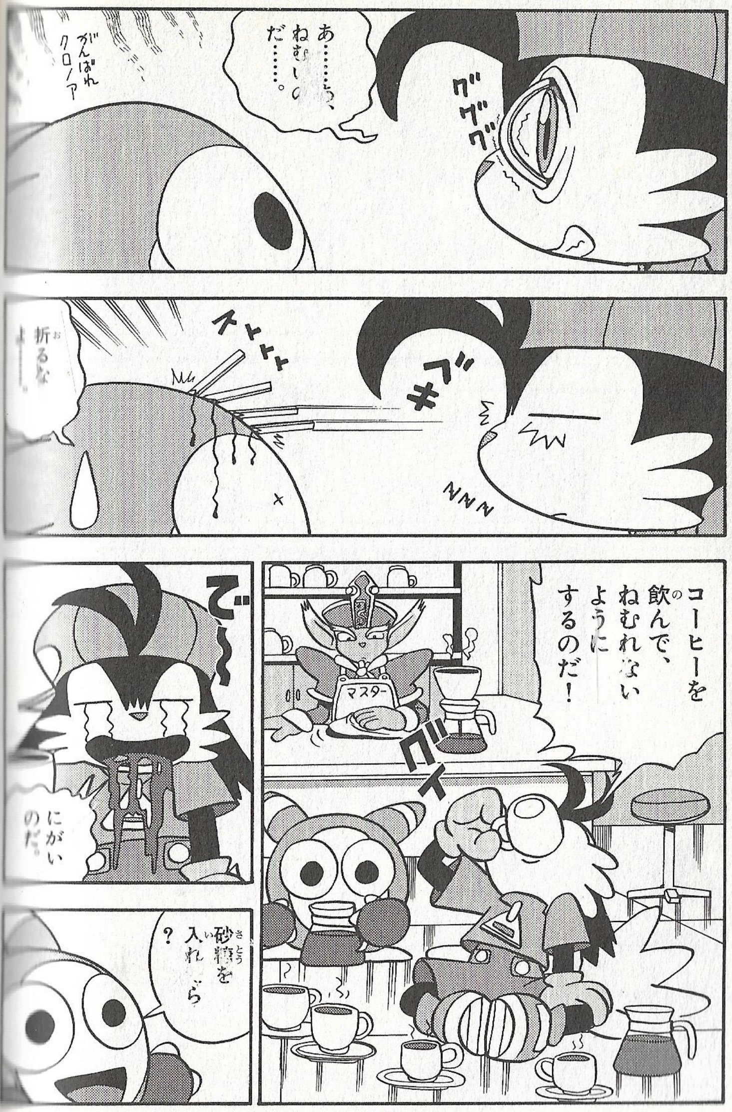

ワオオーン
ああ、どうしよう。
今夜もねむれず、おそろしい夜をむかえてしまうである。
ねむれないのが、そんなにこわいのか？
じつは、この城では深夜の12時になると、不気味な音が聞こえてくる。
ゴゴゴゴ
ポルターガイスト現象だ。
使用人は、こわがってにげだしたである——っ。
そして、あらゆるものが、動きだすのである。


不眠症の原因は、そのポルターガイストだ。
謎を解けば、不眠症は治るのだ！
ヒーローのうでの見せどころだね、クロノア。
見せられない。
よい子は、9時前にねむるのだ。
?
なんでだよ。
ぼくは、12時まで起きていられないから、活躍はできないのだ。
助けてくださいであるーーっ。
コラクロノア！
困っている人を見捨てるなんて、
それでもヒーローなのか！


ヒーロー
よいこ
うーん
わかったのだ。
ぼくに任せるのだ！
ホウホウ
それでこそクロノアだよ。
ゴーン
ゴーン
パッチリ
さすがヒーロー！ばっちり目が覚めてるじゃん。


って、ねてるのかい！
まぶたにサインペンで目をかくな——っ。
パッチリ
だって、やっぱりねむいのだ…
そうだ！
ヒツジを連れもどせば、目が覚めるのだ！
ヒツジを1ぴき。
めぇ
ヒツジを2ひき。
めぇ
ヒツジを……。
んがー
パッチリ

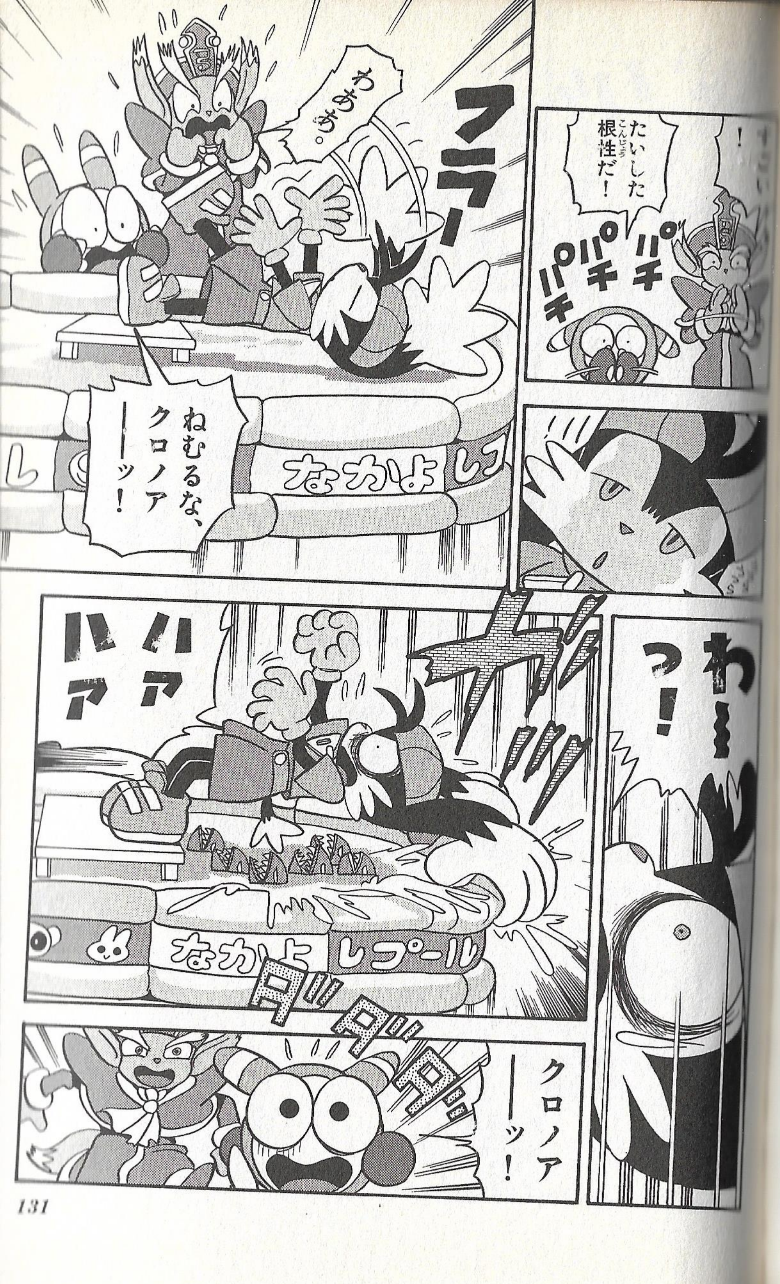

3びき目を連れもどさんか！
わ〜〜！
あっぷあっぷ。
三途の川で、おぼれる夢を見たのだ。
いっそおぼれてしまえ。
割りばしで、まぶたにつっかえ棒をするのだ。
これで、目は閉じられないのだ。


がんばれクロノア
あ……う、ねむいのだ……。
グググ
折るな
ストトト
でー
にがいのだ。
コーヒーを飲んで、ねむれないようにするのだ！
マスター
グイ
砂糖を入れたら？

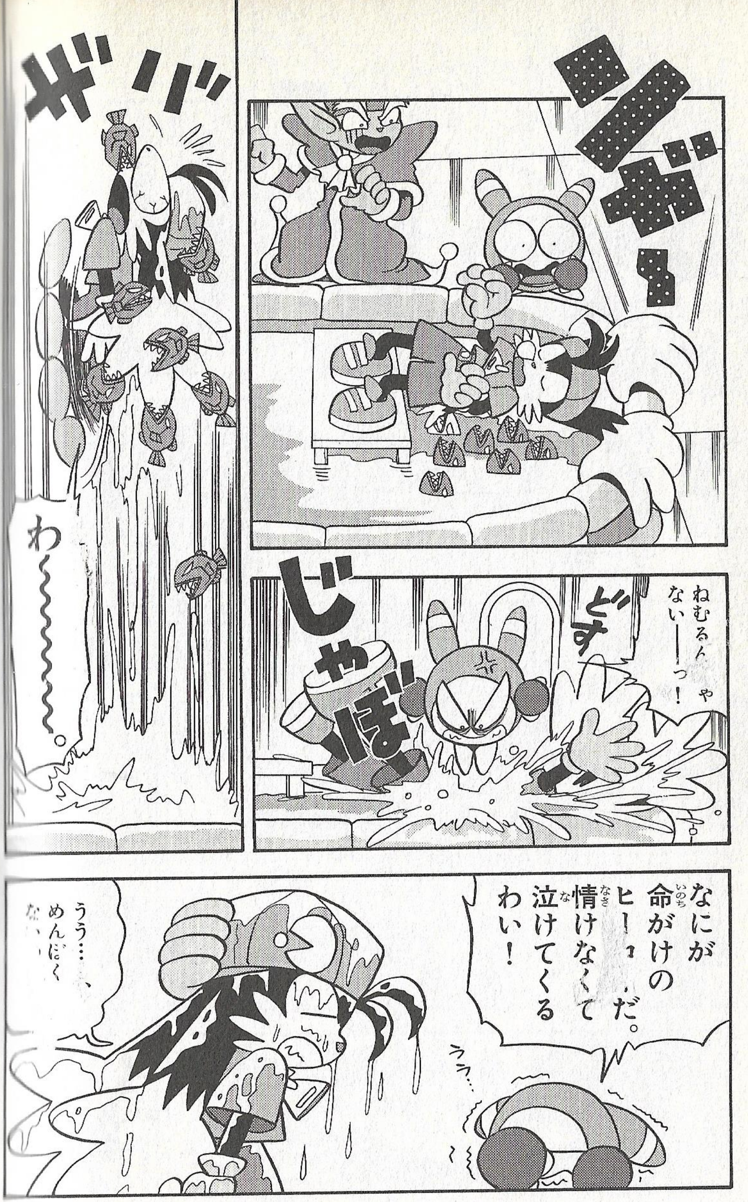

たっぷり
とってもあまいのだ。
し……
砂糖を食べすぎて、気持ちが悪いのだ。
コーヒー、ちっとも飲んでないじゃん！

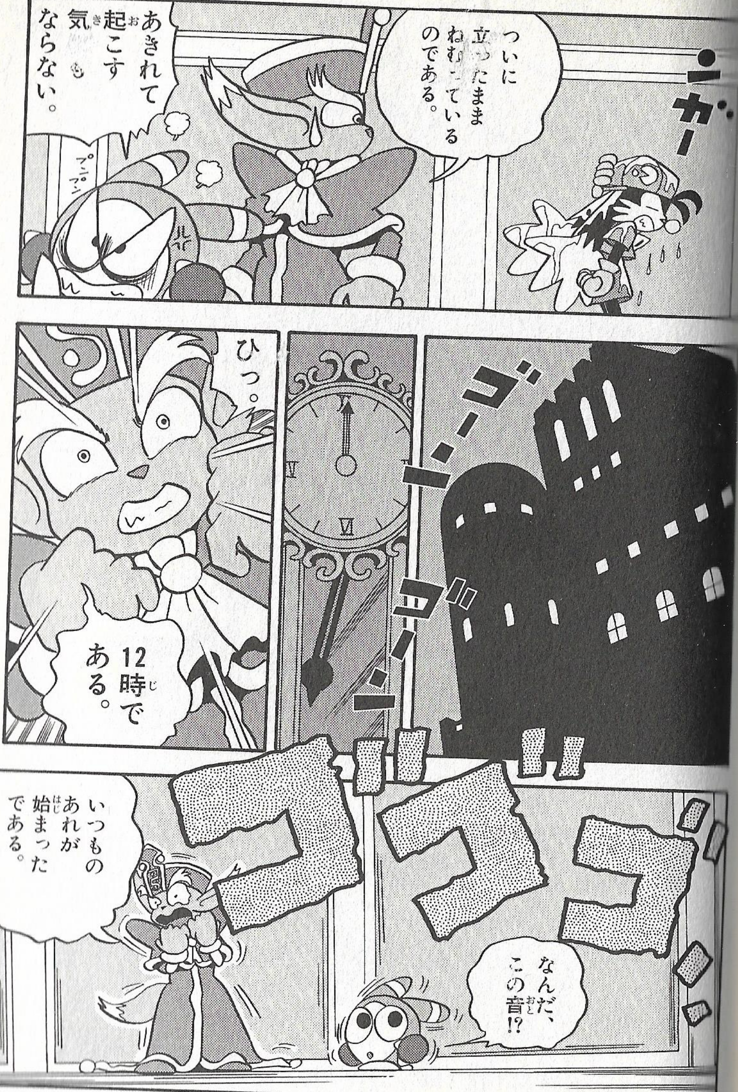


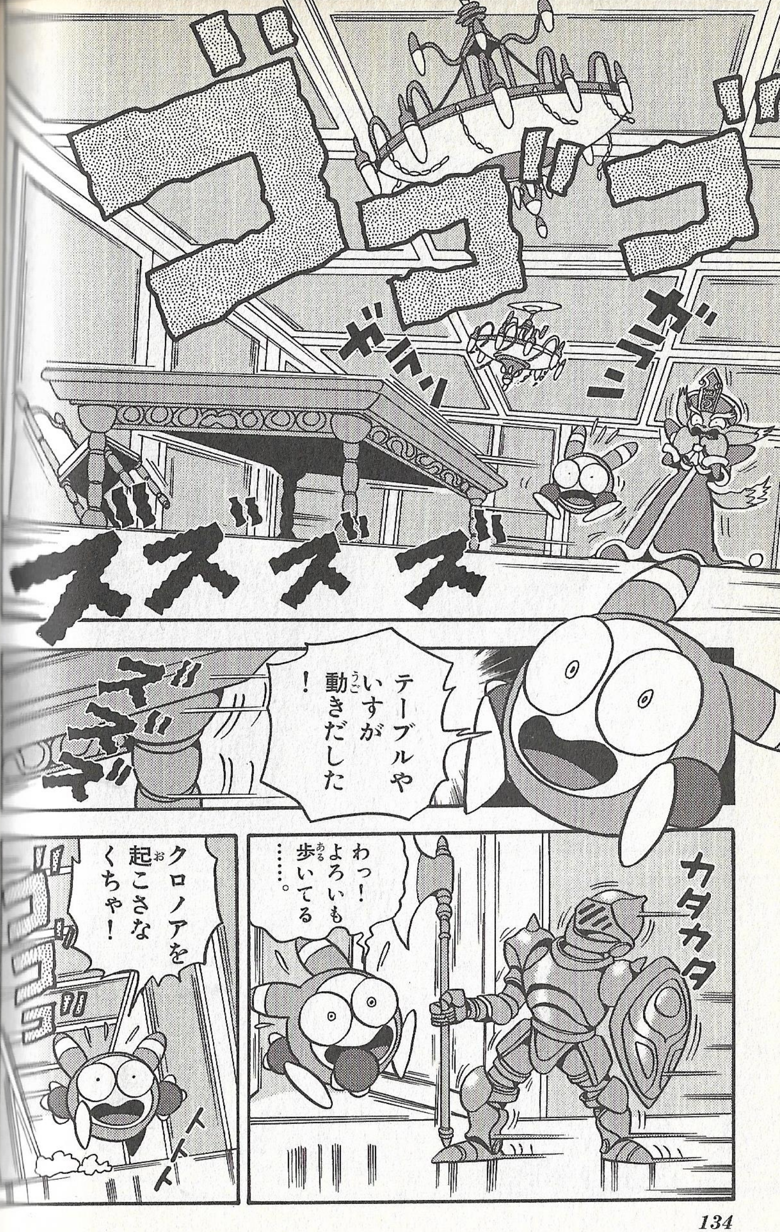
こうなったら、ヒーローの意地をかけて命がけで起きているのだ！
なんだよ、お子さま用の
じゃぼ じゃぼ
なかよしプ
ヘヘヘ。
この中には、どうもうな肉食魚、ピラニアが放たれているのだ。
ほんとだ……。
ぼくがねむってたおれたら、ピラニアのえじきになってしまうのだ！
ピチ
ピチ

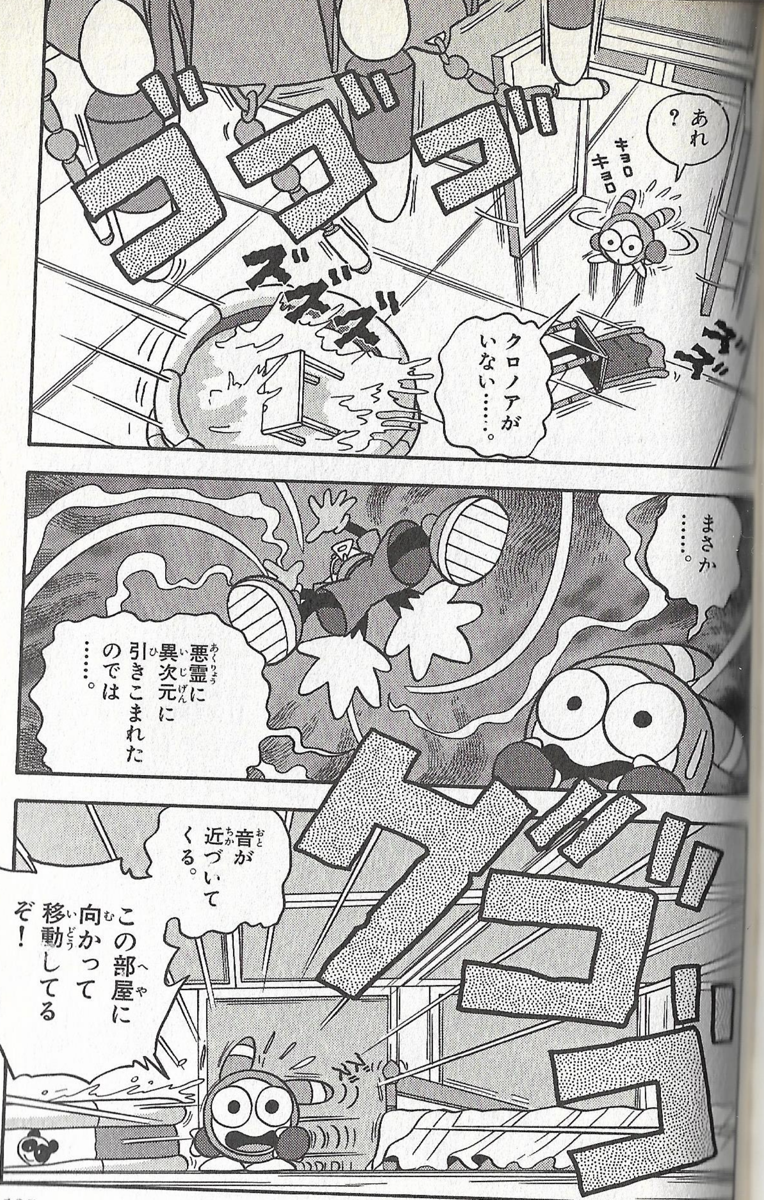


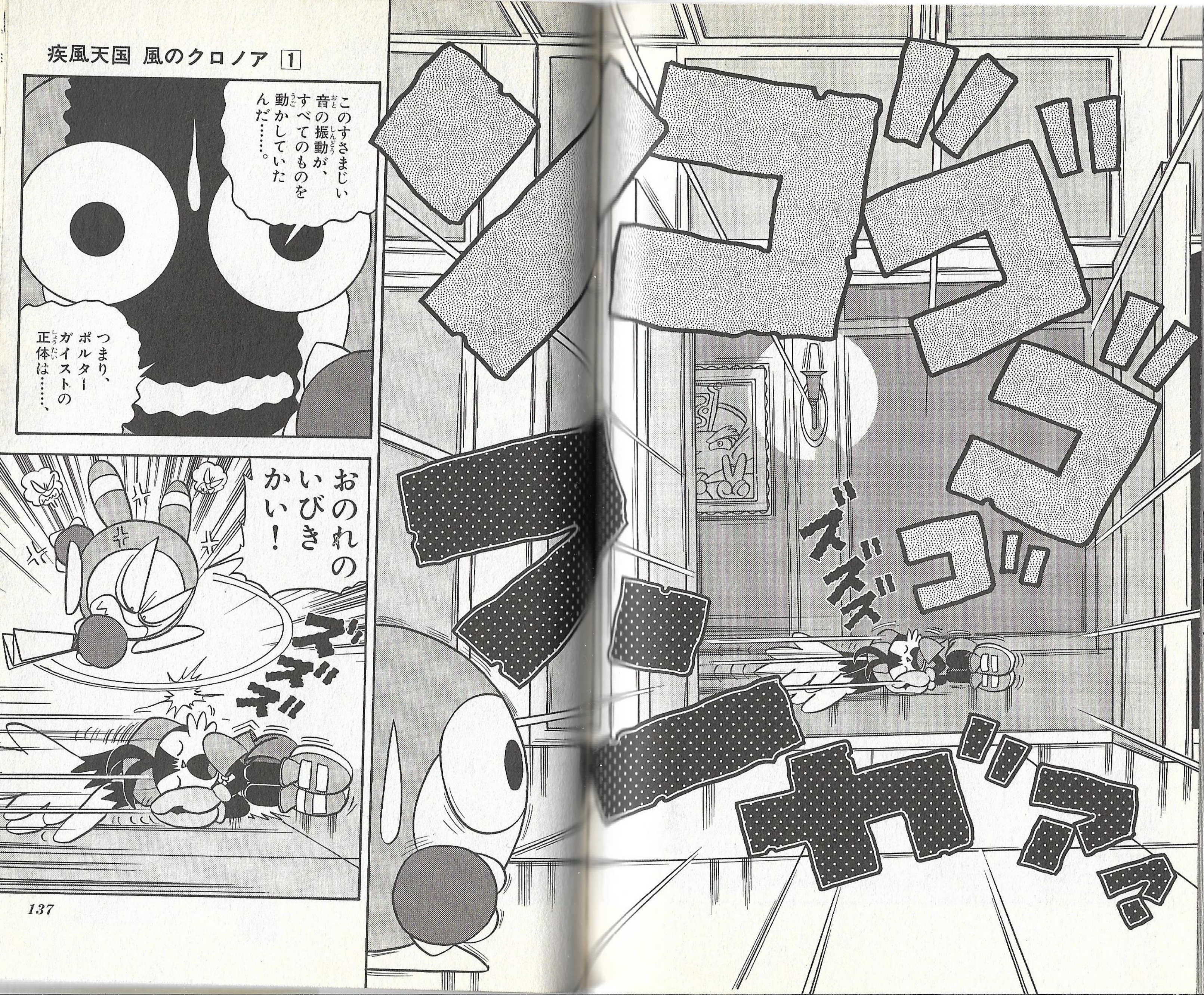
フラ〜
わあぁ。
たいした根性だ！
パチ パチ パチ パチ
ねむるな、クロノア――ッ！
なかよしプ
わ〜〜っ！
ガバ
ハァ ハァ
なかよしプール
ダッ ダッ ダッ
クロノア――ッ！

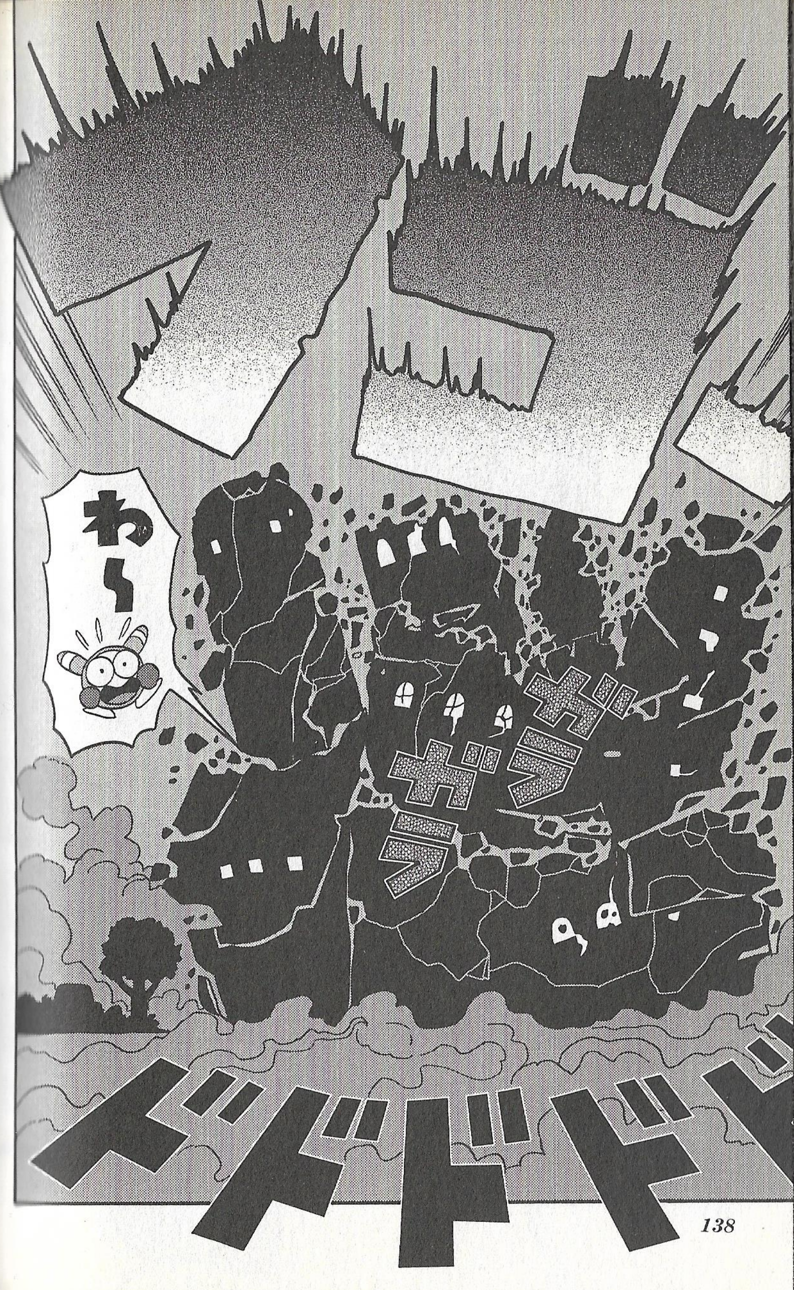

ザバッ
わ〜〜〜〜。
ねむるんやない——っ！
どす
じゃぼ
なにが命がけのヒー　だ。情けなくて泣けてくるわい！
うう…、めんぼくない…


ンガー
ついに立ったままねむっているのである。
あきれて起こす気もならない。
プンプン
ひっ。
12時である。
ゴーン
ゴーン
ゴゴゴ
いつものあれが始まったである。
なんだ、この音!?

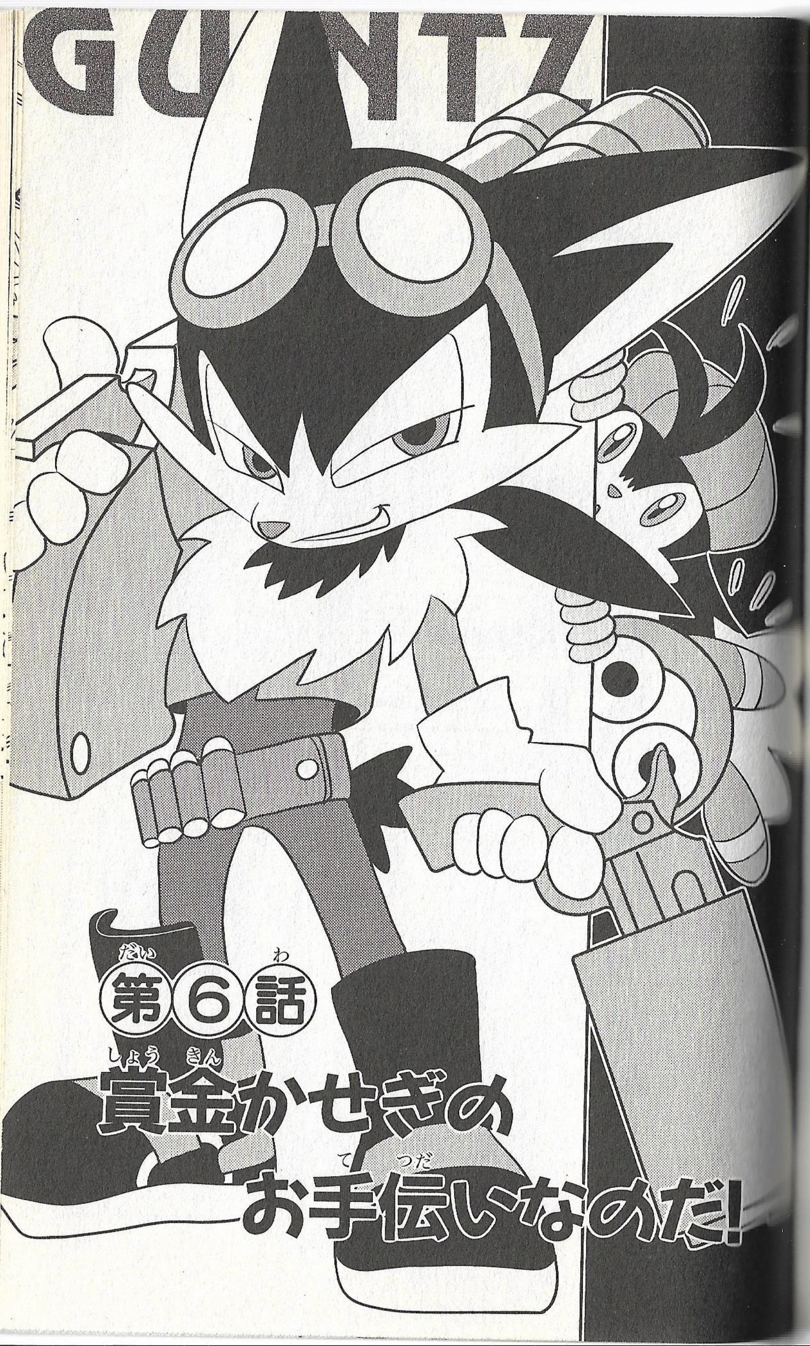

ゴゴゴゴ
ガラン
ガタン
ズズズズ
テーブルや いすが 動きだした!
ズズズ
カタカタ
わっ! よろいも 歩いてる……。
クロノアを 起こさなくちゃ!
ゴゴゴ
トトト

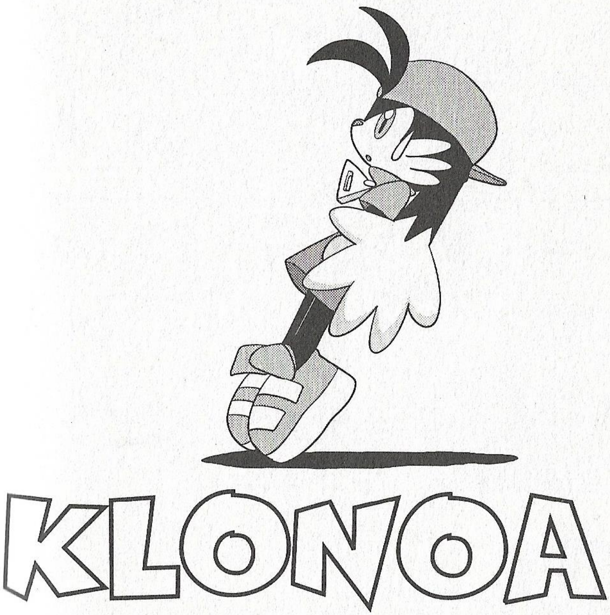

ゴゴゴ
あれ?
キョロキョロ
ズズズ
クロノアが いない……。
まさか……。
悪霊に 異次元に 引きこまれた のでは……。
ゴゴゴ
音が 近づいてくる。
この部屋に 向かって 移動してる ぞ!


ゴゴゴゴ
ズズズ
このすさまじい音の振動が、すべてのものを動かしていたんだ……。
つまり、ポルターガイストの正体は……、
おのれのいびきかい!

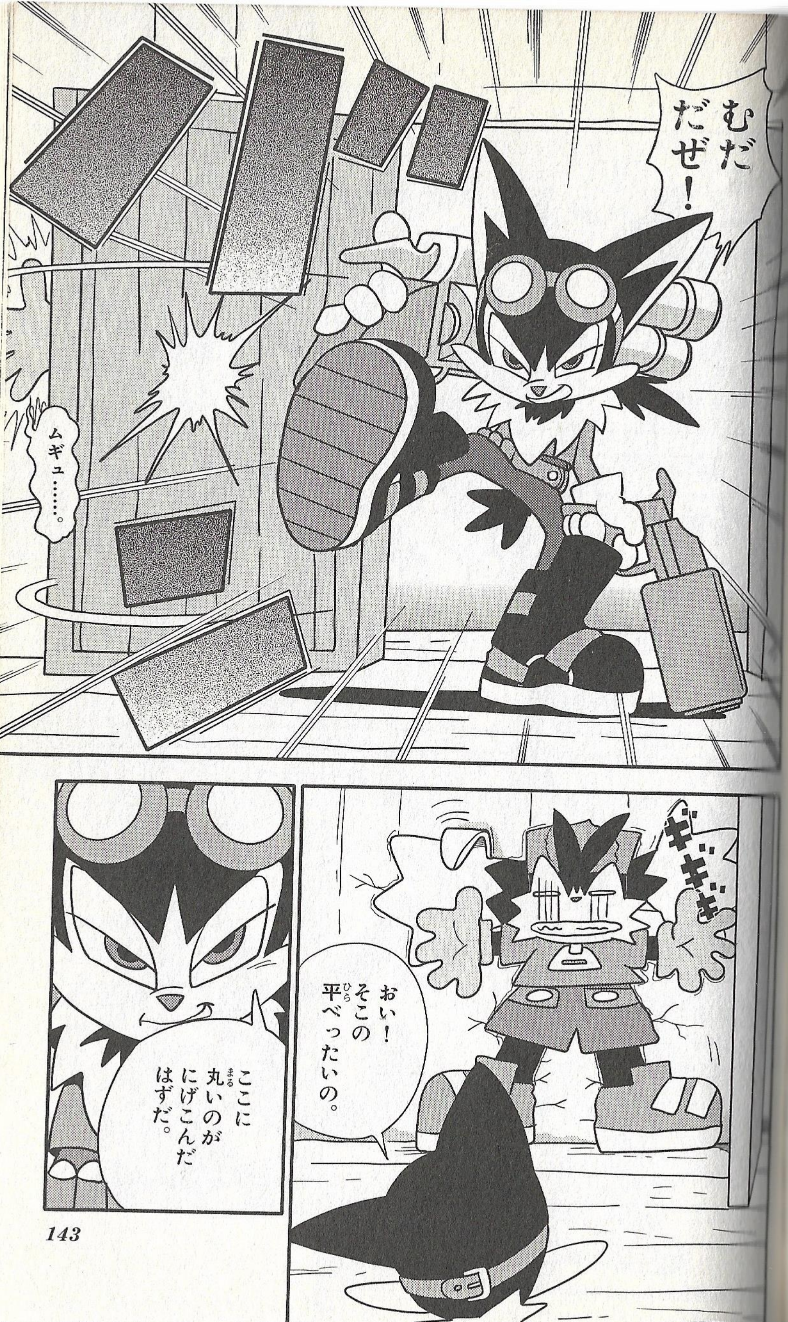

わ〜
ガラガラ
ドドドドド


ガラン
おはようなのだ。
はにゃ?
キョロキョロ
なぜ、城がくずれているのだ?
となりに住む耳の大きな悪霊が大暴れしたんだよ!
わ〜ん わたしのしろ〜〜
?


GUNTZ
第6話
賞金かせぎのお手伝いなのだ!


KLONOA


バタン
ドキュ〜ン
ドキュ〜ン
うわあ〜〜っ。
クロノア、た、助けて。
?
ギッ
どうしたのだ? ムゥ。
へんなやつに追われているんだ。
ドドドドド
かくれても……。

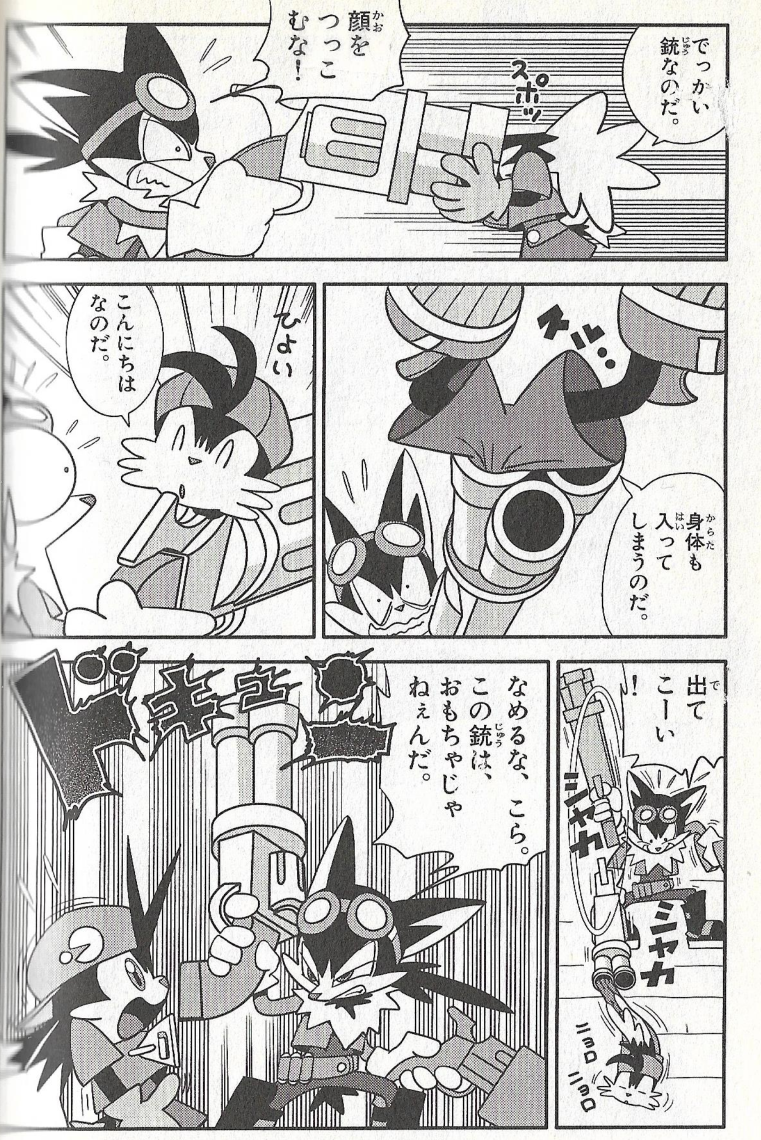

むだだぜ!
ムギュ……。
ギギギギ
おい! そこの平べったいの。
ここに丸いのがにげこんだはずだ。



丸
いうと、これか？
おれがさがしているのは、ボールじゃねぇ！
バシ
アンパンでも、
CDでも、
たらいでもねぇ！
それは、名まえがおまるだ。
やい！
ガシャ
おれさまを、だれだと思ってやがる。



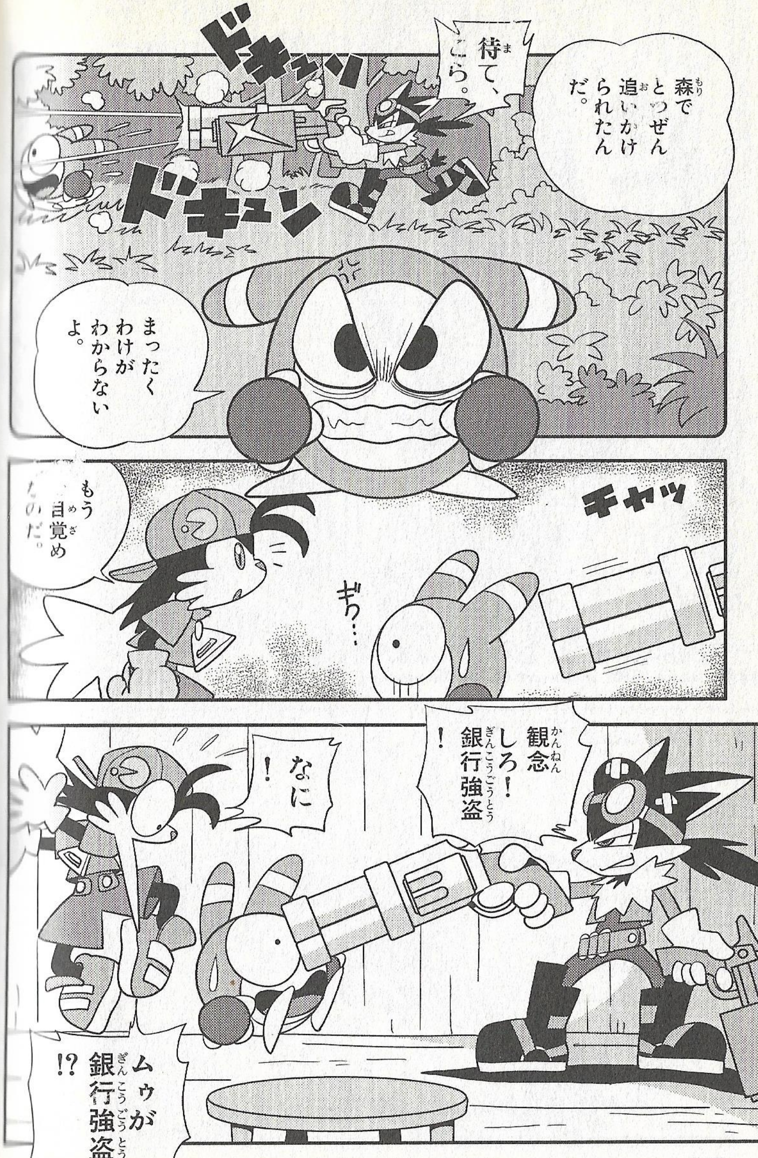
う～～くん。
わからないなら、聞けっ！
おれは、ガンツ。
金色の死神と異名をとる、すごうでの賞金かせぎだ。
ほ～
ほ～～、じゃねぇ。
チャッ
じゃまをすると、おまえも始末するぜ。

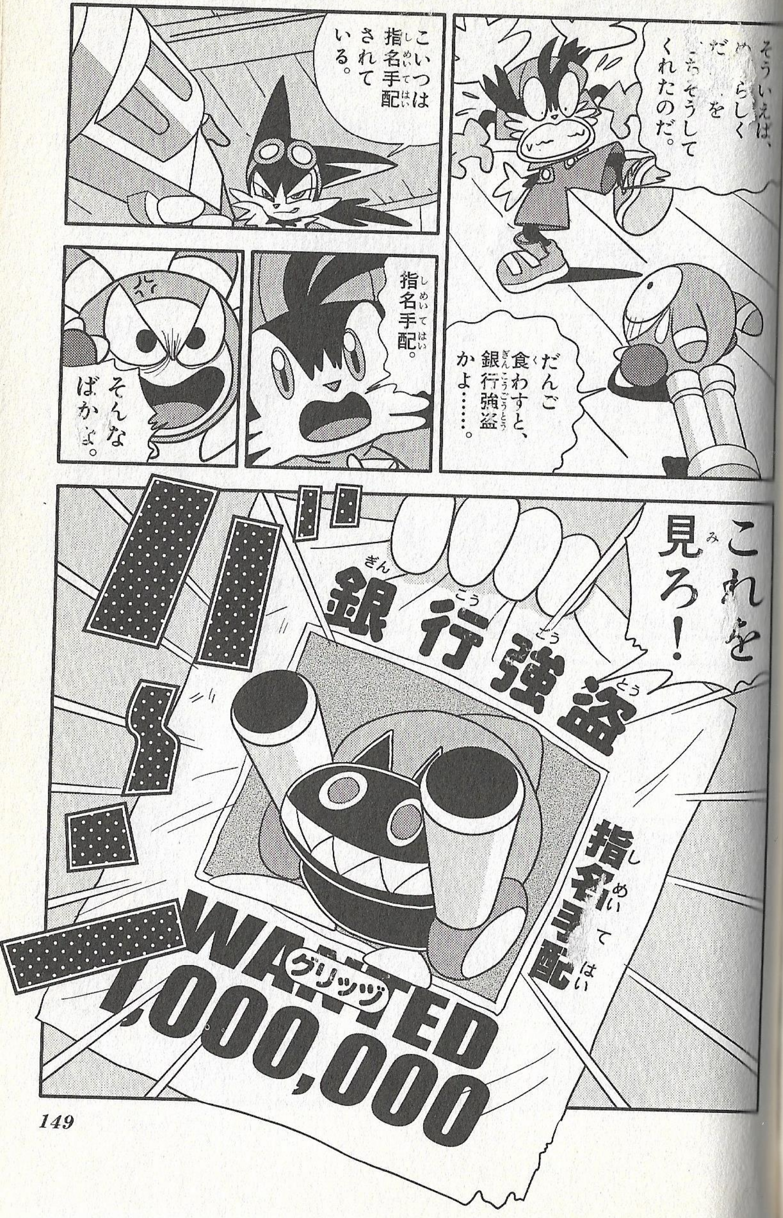


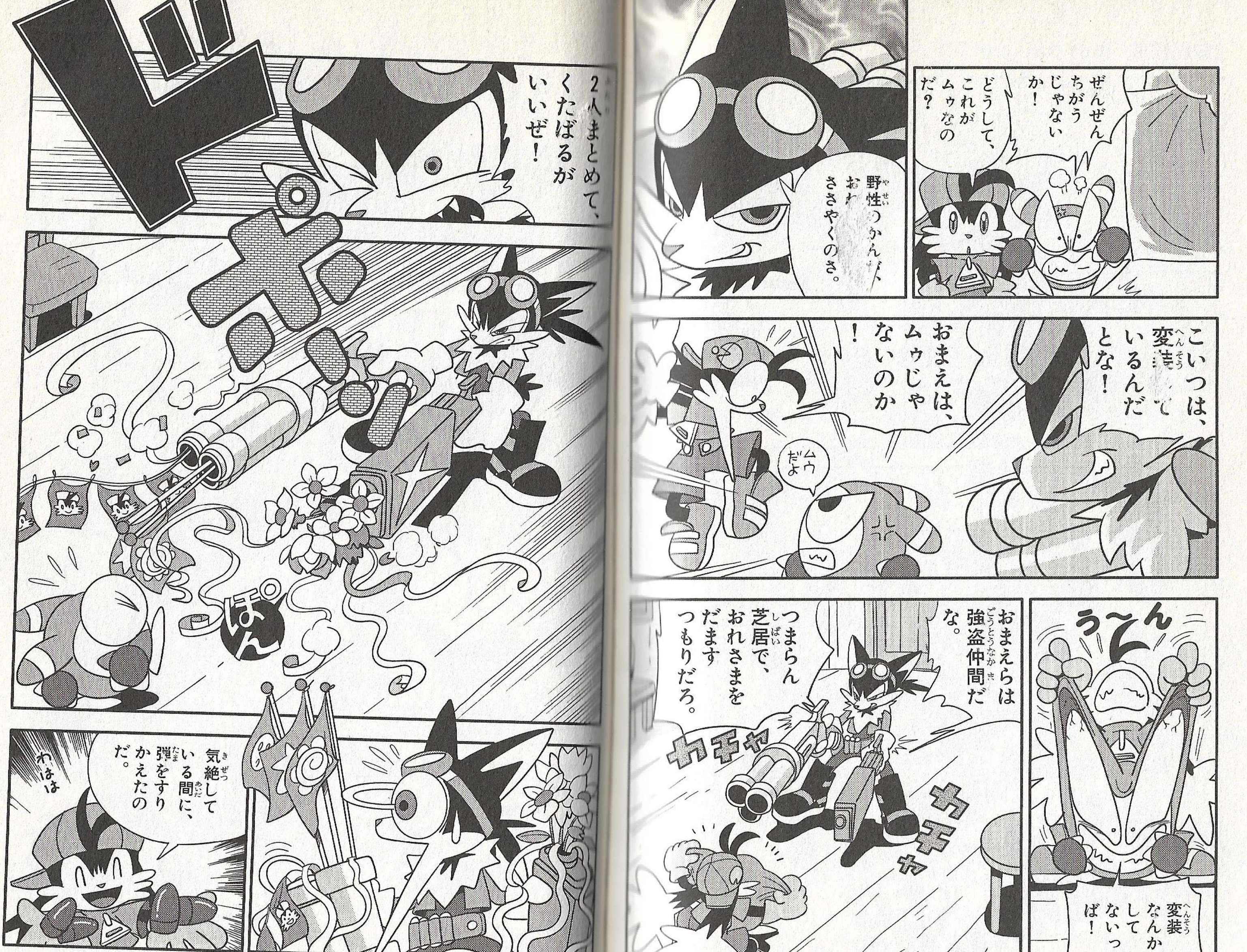
でっかい銃なのだ。
スポッ
顔をつっこむな！
スル…
身体も入ってしまうのだ。
ぴょい
こんにちはなのだ。
出てこーい！
シャカ
シャカ
ニョロ
ニョロ
なめるな、こら。この銃は、おもちゃじゃねえんだ。

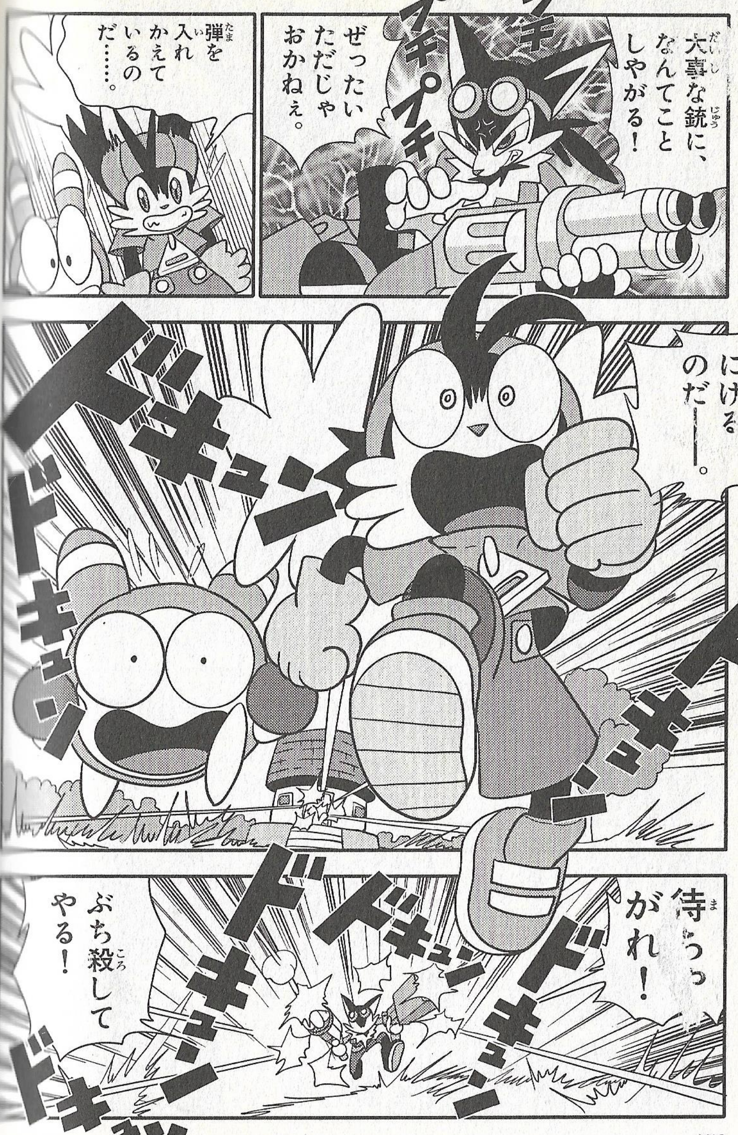


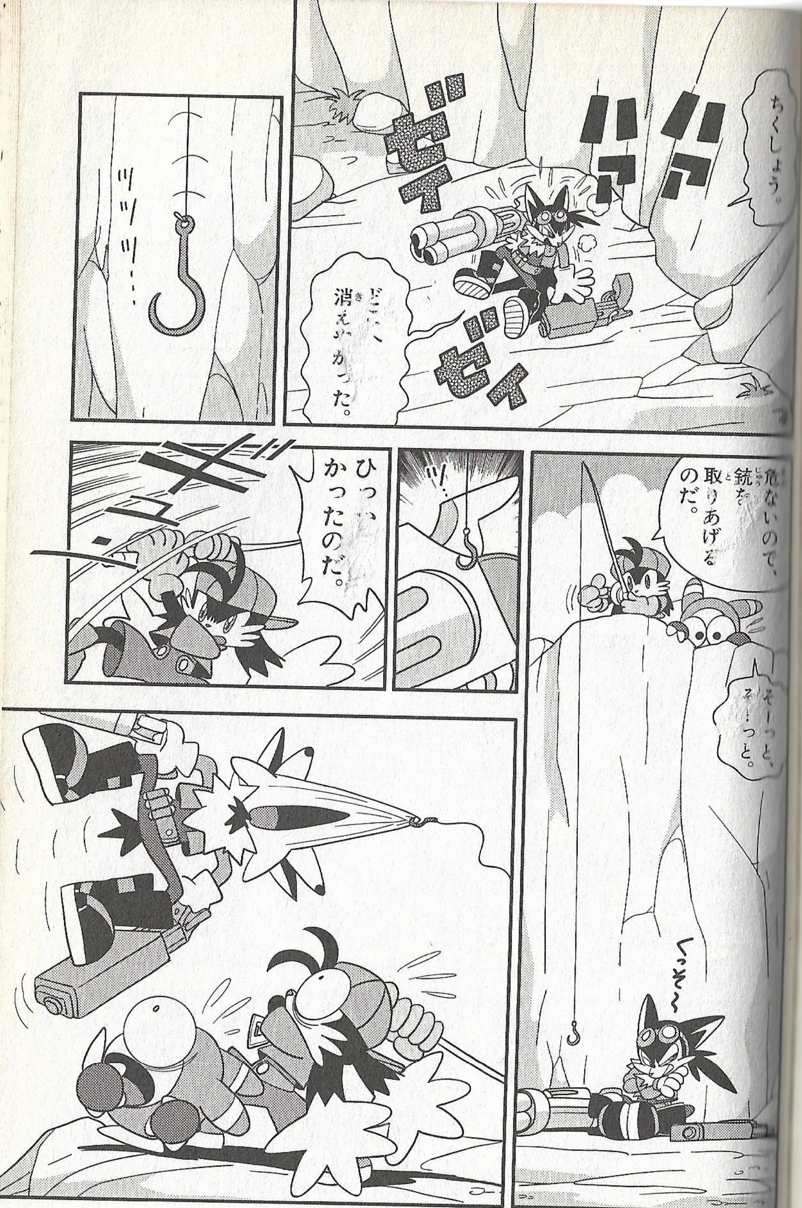
パラ
パラ
天井に大きな穴が空いたのだ。
ひゅるるるる
ササルンを撃ち落とすとは、すごい威力なのだ。
気を失ったみたいだね。
なにがあったのだ？


ドキュッ
待て、こら。
森でとつぜん追いかけられたんだ。
ドキュン
まったくわけがわからないよ。
チャッ
もう目覚めたのだ。
ぎ…
観念しろ！銀行強盗！
なに！
ムゥが銀行強盗!?


そういえば、めらしくだ　をこちそうしてくれたのだ。
こいつは指名手配されている。
だんご食わすと、銀行強盗かよ……。
指名手配。
そんなばかな。
これを見ろ！
銀行強盗
指名手配
WANTED
グリッツ
1,000,000


ぜんぜんちがうじゃないか！
どうして、これがムゥなのだ？
野性のかんが、おれささやくのさ。
こいつは、変装ているんだとな！
おまえは、ムゥじゃないのか！
ムゥだよ
う〜ん
変装なんかしてないってば！
おまえらは強盗仲間だな。
つまらん芝居で、おれさまをだますつもりだろ。
カチャ
カチャ
2人まとめて、くたばるがいいぜ！
ド
ポン
ぽん
気絶している間に、弾をすりかえたのだ。
わはは


プチ
プチ
大事な銃に、なんてことしやがる！
ぜったいただじゃおかねぇ。
弾を入れかえているのだ……。
にげるのだー。
ドキュン
ドキュン
ドキュン
待ちやがれ！
ぶち殺してやる！
ドキュン
ドキュン
ドキュッ


ハァ
ハァ
ゼイ
ゼイ
ちくしょう。
どこに消えやがった。
ツツツ……
ギュ
ひっかかったのだ。
ツ…
危ないので、銃を取りあげるのだ。
そーっと、そーっと。
くっそ〜



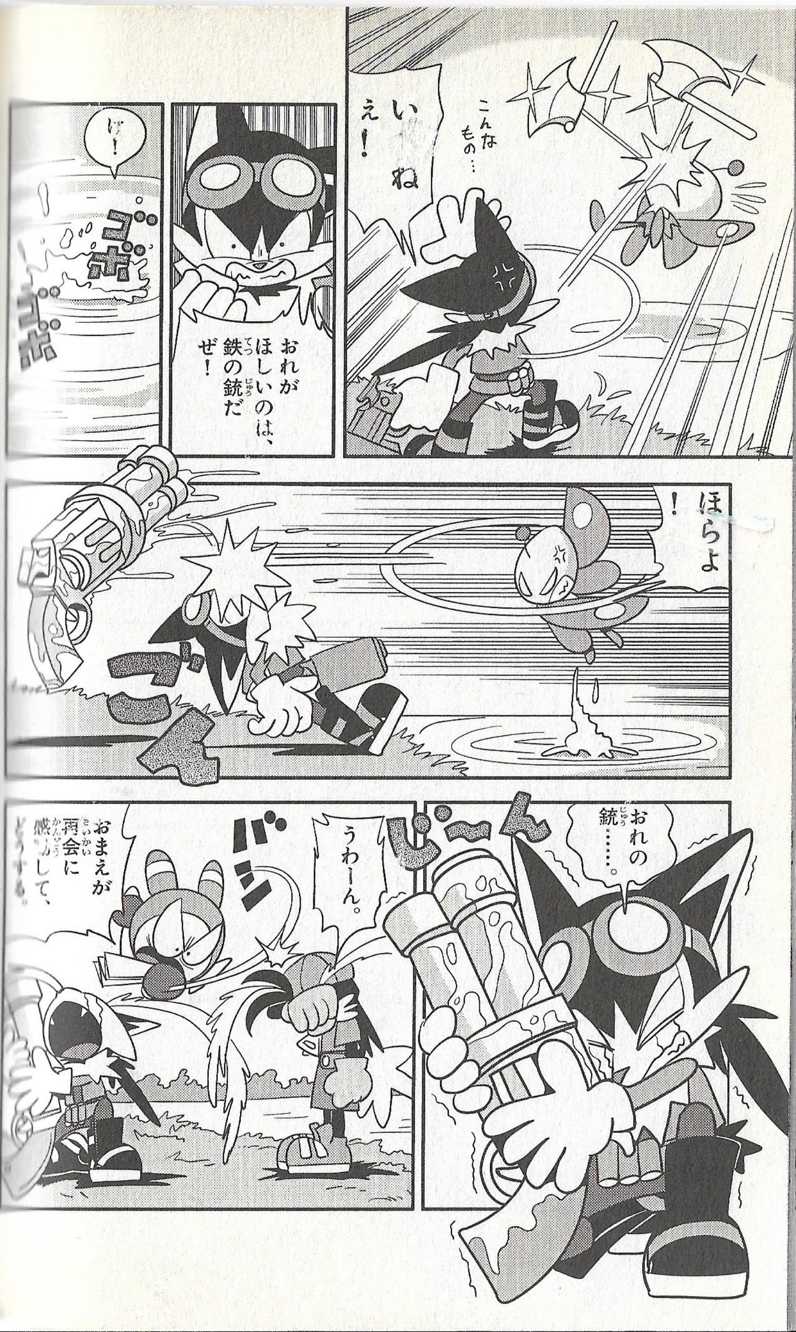
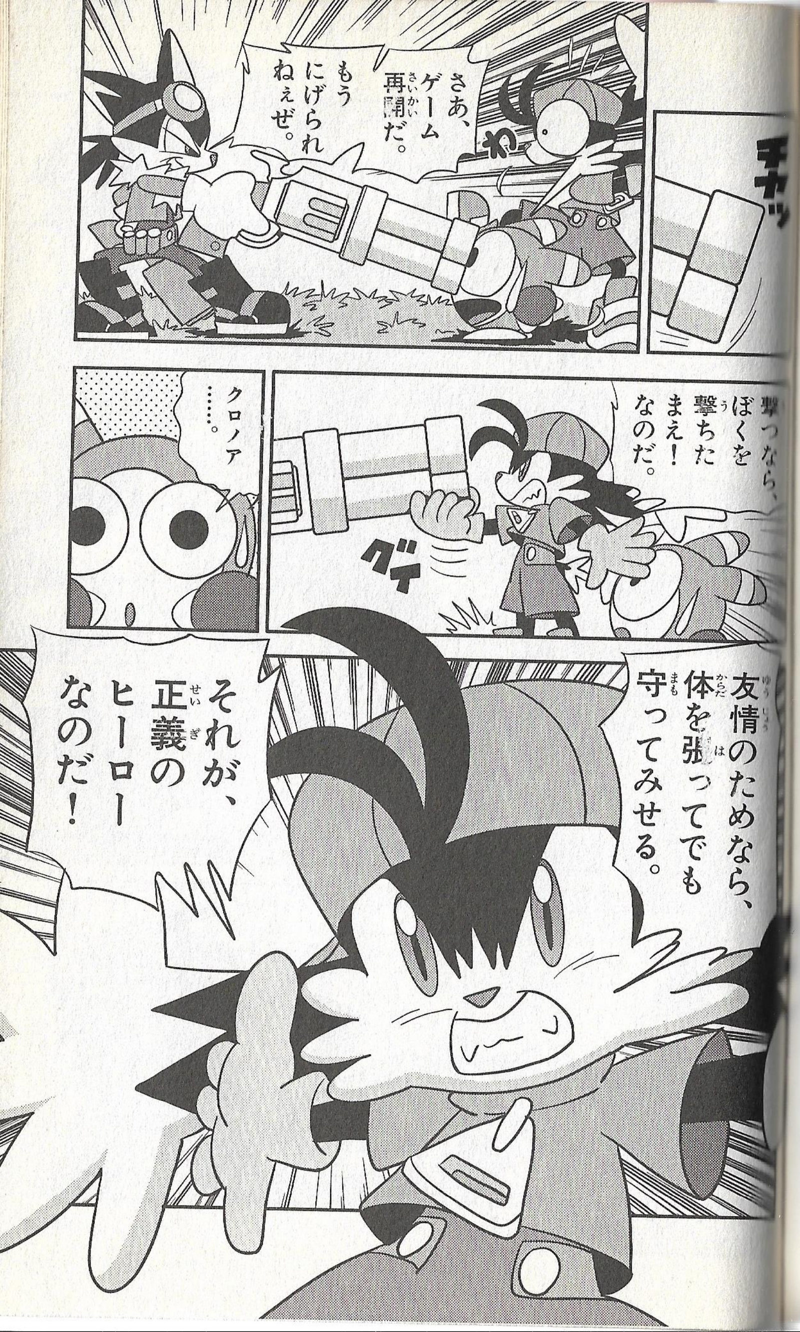
失敗なのだ。
ドキューン
ドキューン
あ。
な、なんだ？
ばかは見るーなのだ。
わ
え。
あほも見るーっ。
う



ブタのけつ〜〜〜。
やったのだ！
こら、待て！
ヨロ
ヨロ
げっ、銃がないのでまっすぐ走れねぇ。
ドキュン
岩をかついで、バランスをとるしかねぇ。
ばっちりの重さだぜ！

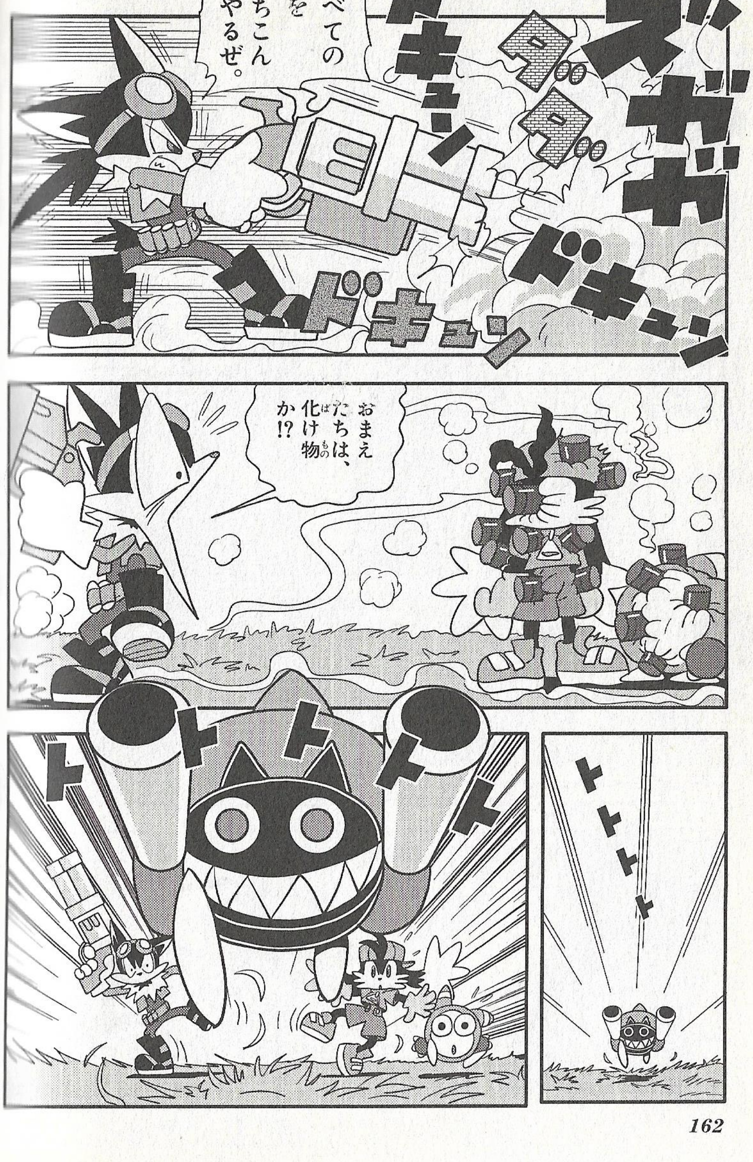

ガラガラ
ぐえ……。
えーい！危ない銃なんか、しずめてしまえ！
ボチャ
ひええええ——。
だだだ
おれの大切な銃が……。


ゴボ
ゴボ
わたしは泉の妖精。
あなたの落としものは、金のおの？銀のおの？
鉄の銃だけど……。
ニコ
あなたは正直者ね。
その金と銀のおのは……、
あなたの……も・の♥
こ…こんな…

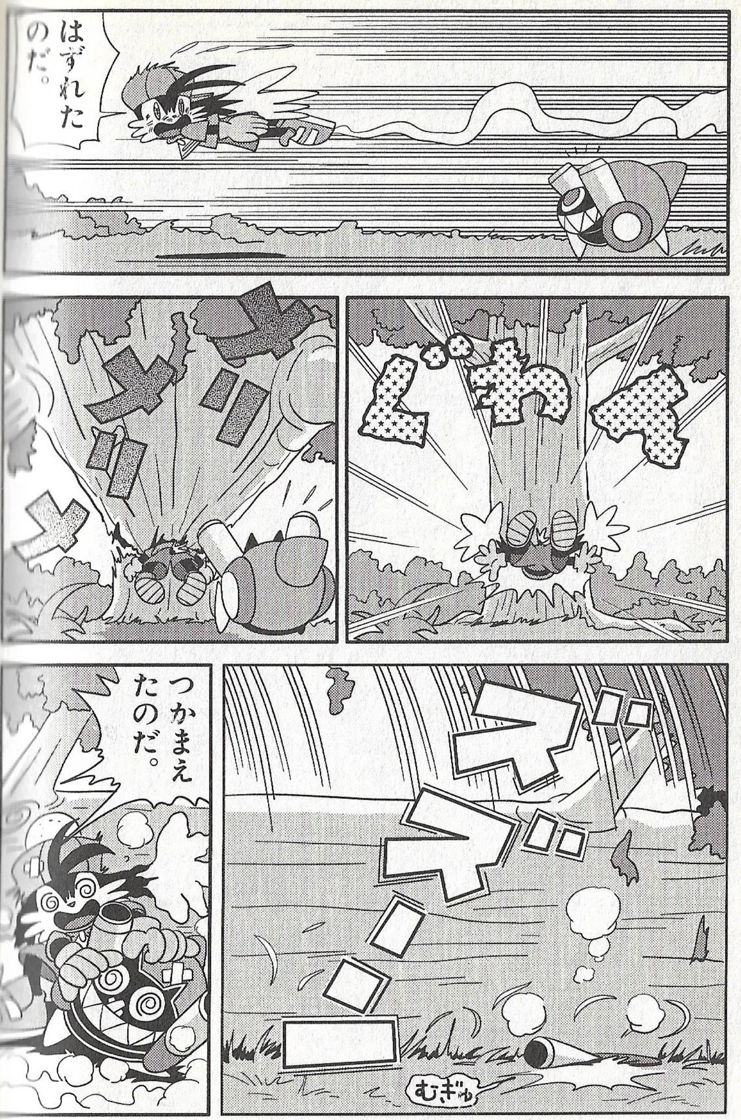

こんなもの…
い　ねえ！
げ！
ゴボ
ゴボ
おれがほしいのは、鉄の銃だぜ！
ほらよ！
ゴッ
おれの銃……。
じーん
うわーん。
バシ
おまえが再会に感激して、どうする。

さあ、ゲーム再開だ。もうにげられねぇぜ。
わ
チャッ
撃つなら、ぼくを撃ちたまえ！なのだ。
クロノア……。
グイ
友情のためなら、体を張ってでも守ってみせる。
それが、正義のヒーローなのだ！


ドキューン！
ほんとに撃つとは、ひどいやつなのだ。
むん。
おお…
安っぽい友情ごっこなど、おれには通じねぇ。

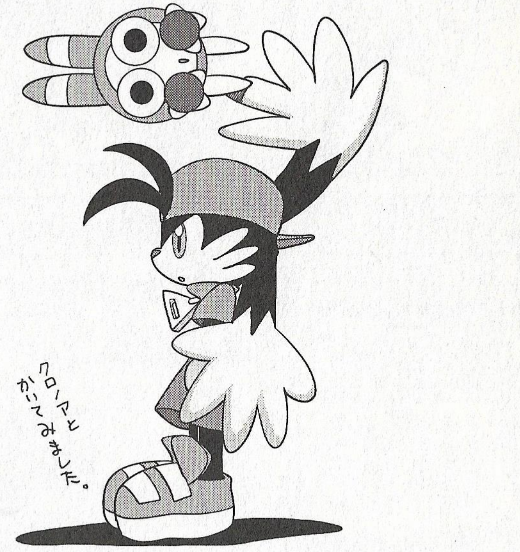

グオオ
友情のパワーは、無敵なのだ！
もう1発くらえ！
ドギューン
守ってくれるんじゃないのかよ！
やっぱり痛いのだ。
友情パワー破れたり……。


すべての弾を撃ちこんでやるぜ。
ズガガ
ダダ
ドキュン
ドキュン
ドキュン
おまえたちは、化け物か!?
トトトトト
トトトトト


どこかで見
だね。
指名手配の銀行強盗なのだ。
う、うそ。
つかまえるのだ。
ドドドドド
しかし、もう弾がねぇ。
ぼくが弾になるのだ。
スポ
撃つのだ!
ドキューン
わははは。銀行強盗を逮捕なのだ。


はずれたのだ。
つかまえたのだ。
むぎゅ


このえものは、
ものだせ。
事件解決で、めでたいのだ。
はんにん
賞金首め。おれさまにはじかかせやがって!
さあ、とっとと歩きやがれ!
カァ カァ
ところで……、
ムゥがいないのだ。
どこへ行ったのだ?
クロノアのばか―――。しばる相手をまちがえてるぞ―――。
うるせぇ
ドカッ



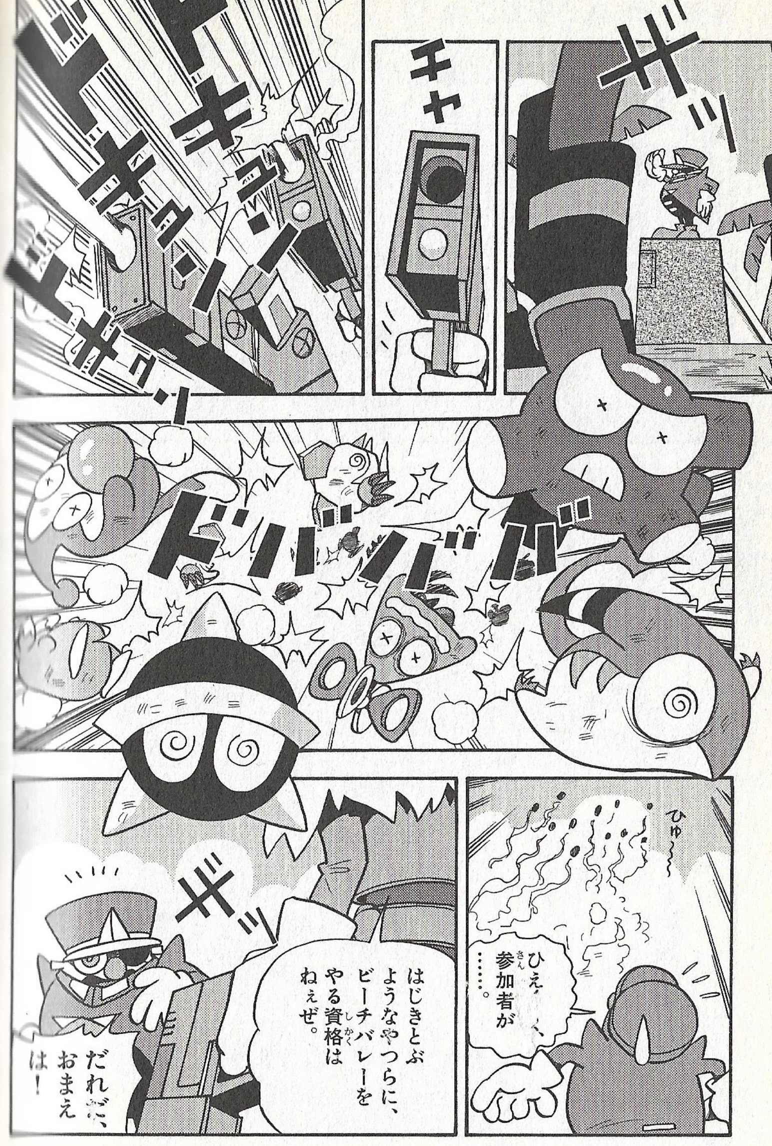
KLONOA




ひゅるるる
クロノアの家
なにが起こったのだ?
ガーレンから手紙爆弾なのだ。
ひどいやつだ
クロノアへ
家をこわしておいて、いばって助けを求めるなんて。
おまえがせいぎのヒーローならすぐにここへきてわがはいをたすけろ!
ちず
こわれモおまえんち
やま
やま
やま
ここ
やま
うみ
なんだ、こんなもの!
えいっ!えいっ!
ヒーローは助けに行くのだ。
い、行くのかよ。
なんだよ、これ!
人がたくさん集まっているのだ。
ザワザワ
ワイワイ


ガーレン杯争奪
ビーチバレー大会
よう！正義のヒーロー。
メンバーが足りないので参加してくれ。
あんなにいるじゃん。
ザワ ザワ
ワイ ワイ
1人でも多いほうが、大会がもりあがるからな。
そんなことで、家を爆破するな！
笑ってる場合か！
賞金が出るぞ。

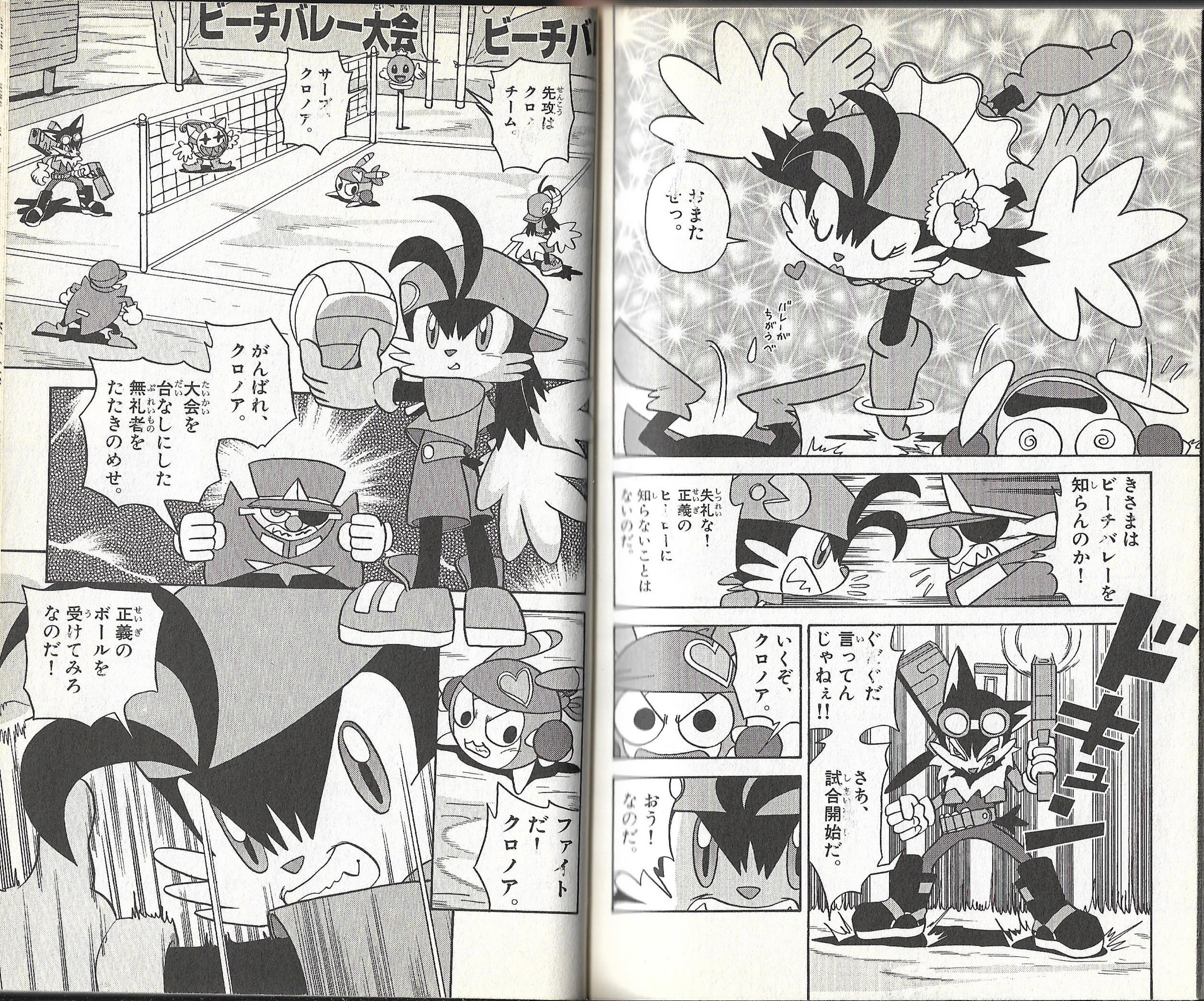

優勝者には、1000万円だ！
おおおーっ。
ふん！クロノアが金につられるものか！
ただいまより〜〜っ、
ガーレン杯争奪、ビーチバレー大会を開催する！
ワー
ワー
ワー

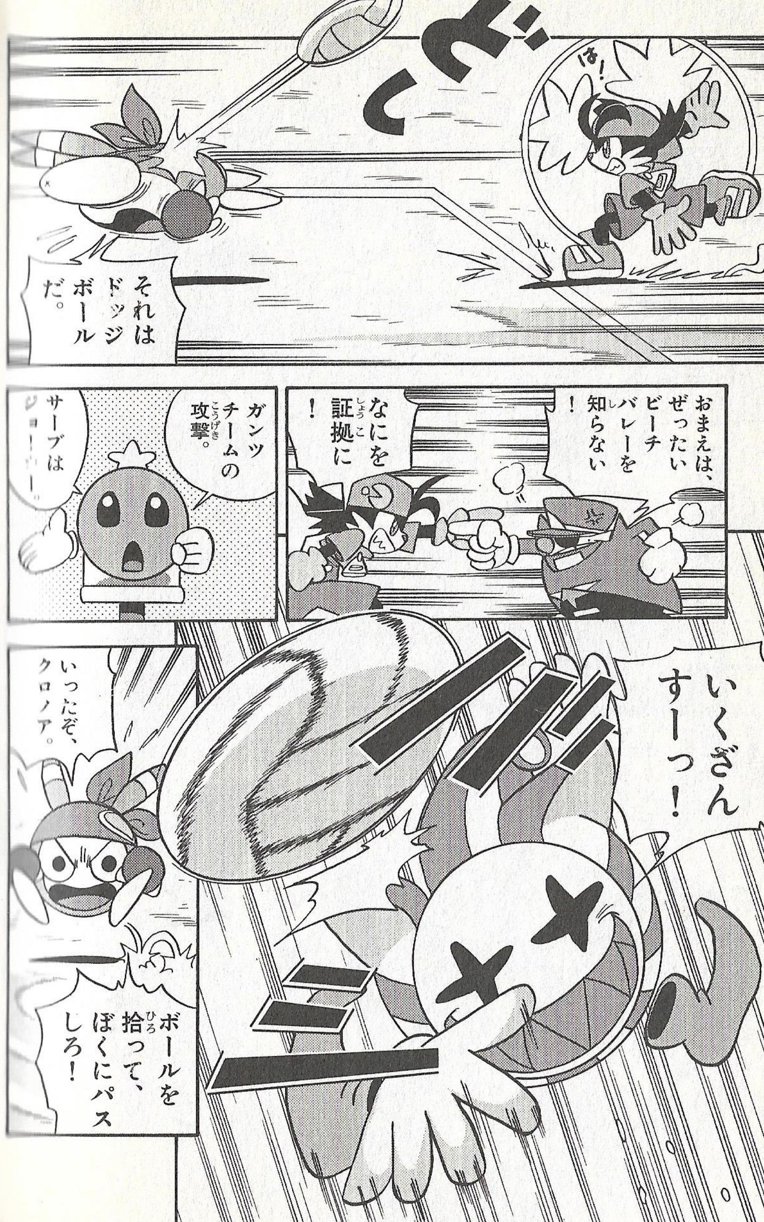

ドキュン
ドキュン
ドキュン
チャ
ギッ
ドババババ
ギッ
はじきとぶようなやつらに、ビーチバレーをやる資格はねぇぜ。
だれだ、おまえは!
ひゅ～
ひえ～、参加者が……。


フフフ
おれぁガンツ。
金色い死神と呼ばれる賞金かせぎだ。
く。
参加者は消えた。
不戦勝で、その賞金は、おれさまのものだ。
そ、そんなむちゃな。
どこのだれともわからんやつに賞金をもっていかれてたまるか。

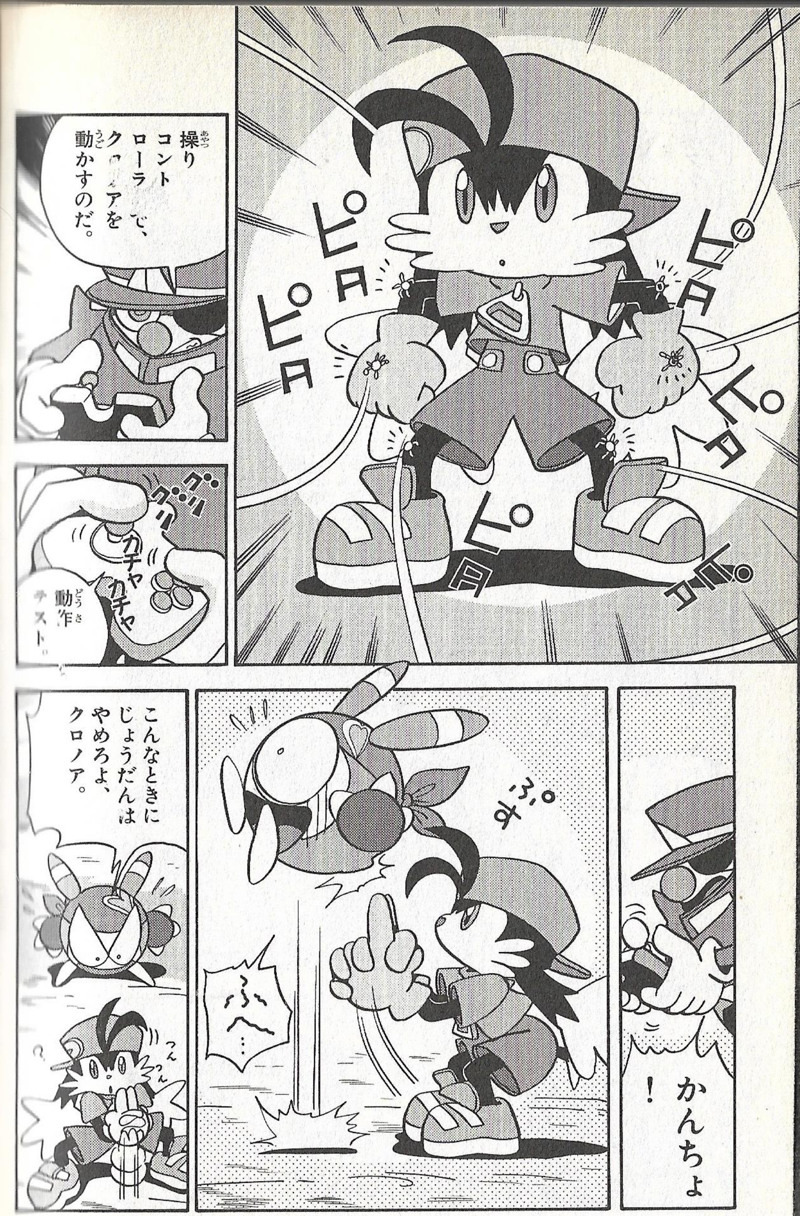

み、見ろ。
とばされてないのが、ここにおるぞ。
げ…
お、おまえは……。
賞金がほしいなら、
クロノアとビーチバレーで勝負しろ。
そういうおまえは金色のちり紙。
死神っ！
いいだろう……。
ただし、命の保障しねぇぜ。


ヒュウウウウ
ガーレン杯争奪
ビーチバレー大会
おれの相棒だ。
ハーイ
あっしはジョーカー。
手加減はしないざんす！
おい、クロノアは、どこだ。
したくしてくるって、言ってたけど。
ひょほほ
びびってにげたざんすね。
にげるものか！
ギャッ
ク…、クロノア……。

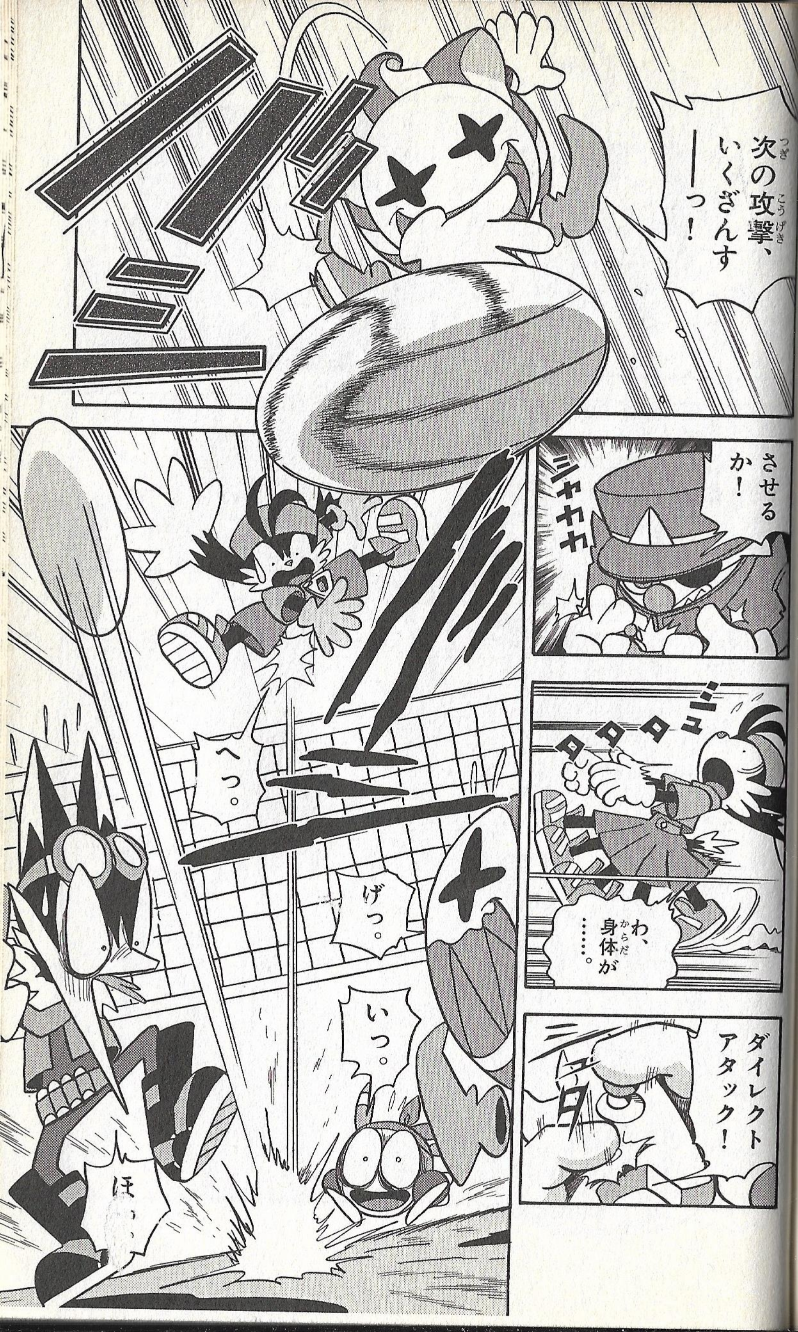

おまたせっ。
バレーがちがうぞ
きさまはビーチバレーを知らんのか！
失礼な！正義のヒーローに知らないことはないのだ。
ぐだぐだ言ってんじゃねぇ!!
いくぞ、クロノア。
さあ、試合開始だ。
おう！なのだ。
ビーチバレー大会
ビーチバ
先攻はクロノアチーム。
サーブ、クロノア。
がんばれ、クロノア。
大会を台なしにした無礼者をたたきのめせ。
正義のボールを受けてみろなのだ！
ファイトだ！クロノア。


は!
それはドッジボールだ。
おまえは、ぜったいビーチバレーを知らない!
なにを証拠に!
ガンツチームの攻撃。
いくざんすーっ!
いったぞ、クロノア。
ボールを拾って、ぼくにパスしろ!


は!
ビーチバレ
ぼくを拾ってボールにパスして、どうするんだよ。
クロノアのばかめ。
これでは勝負にならんぞ。
こうなったら、あれを使うしかあるまい。
ピ
ピ
ピ
操りトレーナー。
発進。



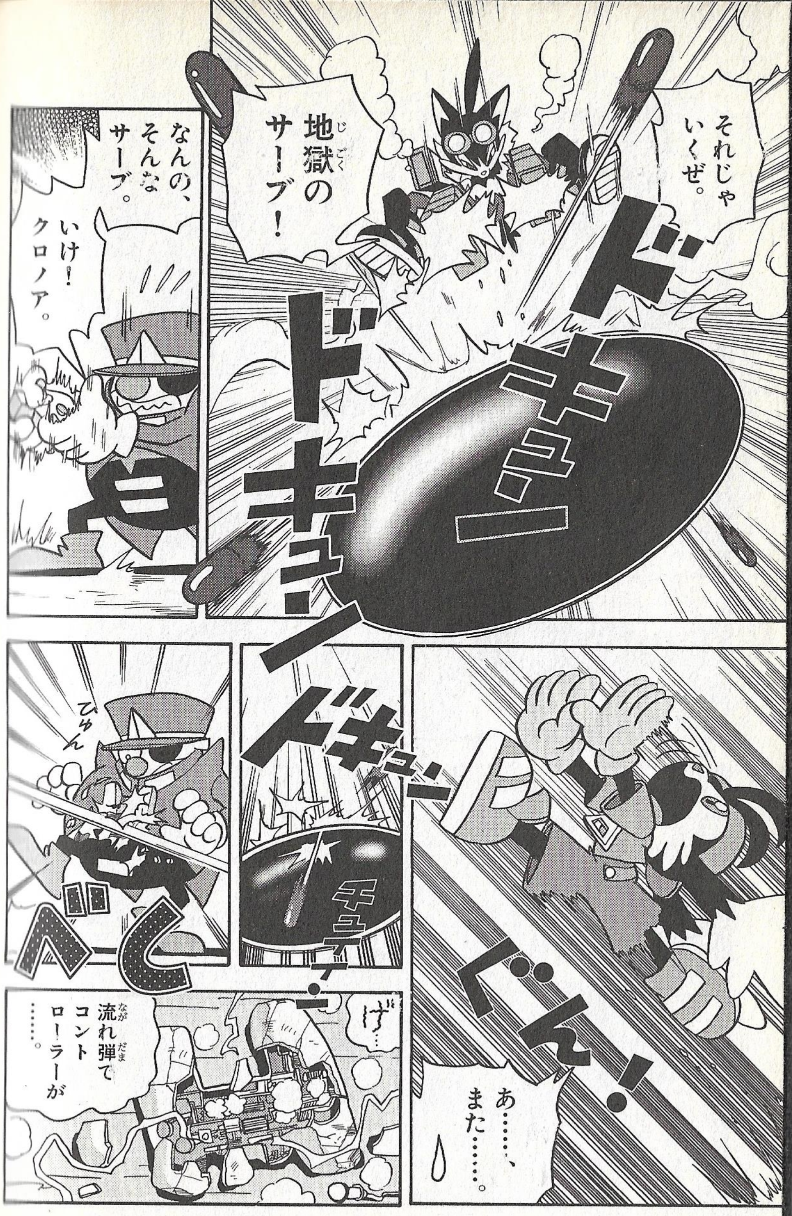
操りコントローラーで、クロノアを動かすのだ。
ピ ピ ピ
ピ ピ ピ
グリグリ
カチャカチャ
動作テスト。
かんちょ
！
ぷす
ふへ〜…
こんなときにじょうだんはやめろよ、クロノア。
つんつん



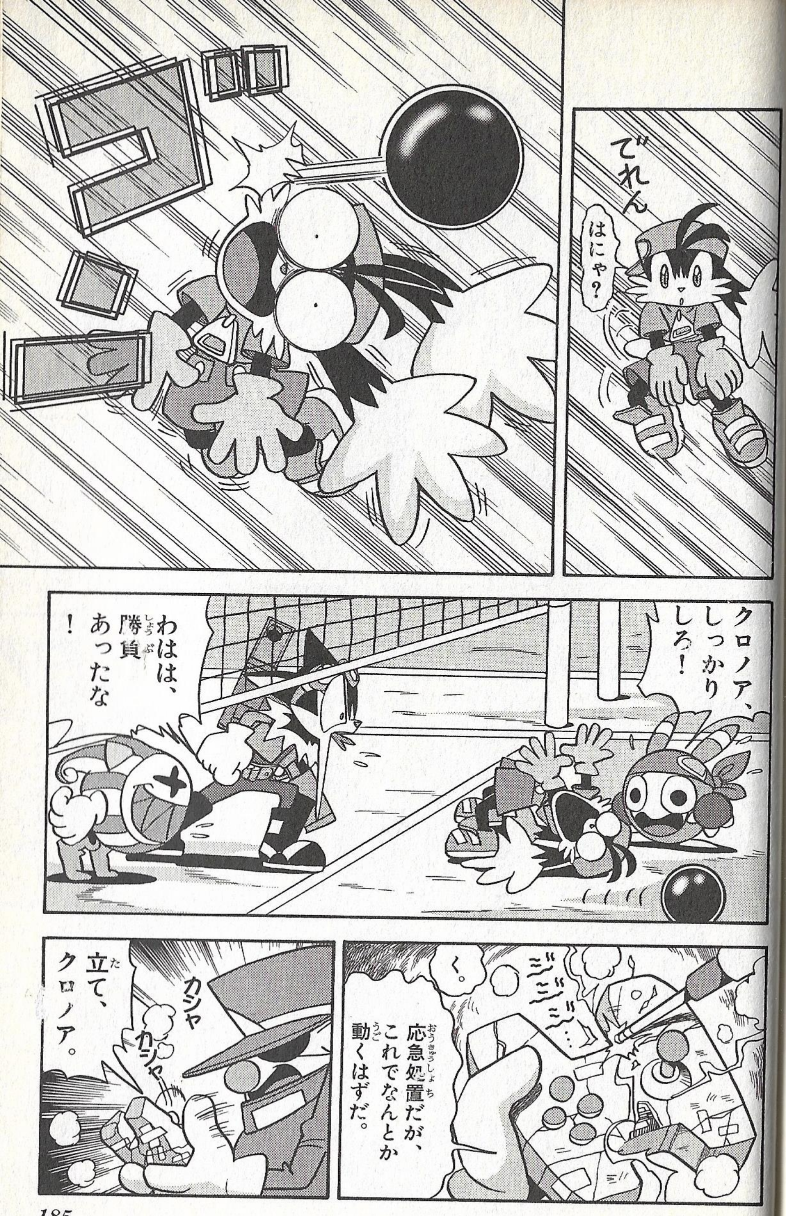
次の攻撃、いくぞんす——っ！
させるか！
シャカカカ
ミュ
タタタタ
わ、身体が……。
へっ。
げっ。
いっ。
ダイレクトアタック！


しゃーっ!
見直したよ、クロノア。
わはは
これが、ぼくの実力なのだ。
なにが、ぼくの実力だ。
わがはいの実力だ。
今度は、ぼくのサーブだ。
ほいさ!
ポン
くらえ。
死神ファイアー。
ガンツにパスざんすっ。

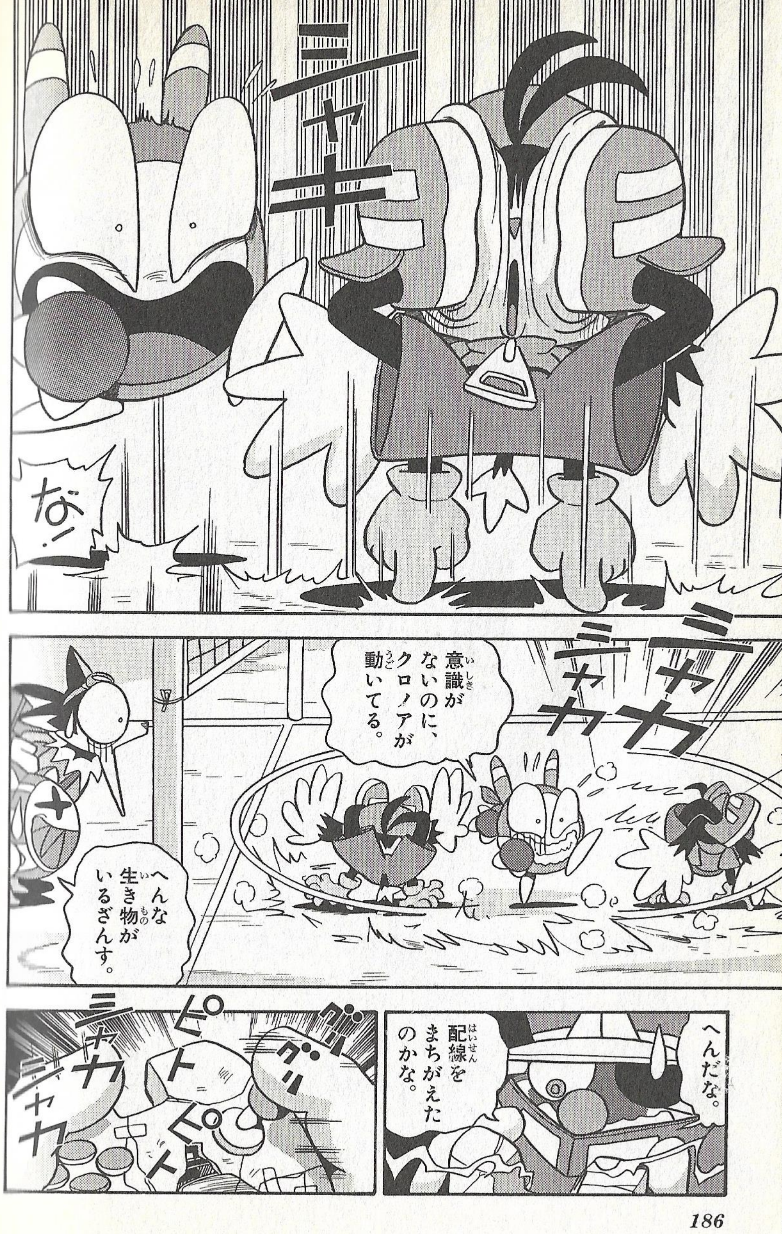

こんな球、打ち返せるわけないじゃん。
ぺちゃ
それでは、ガンツ特製鋼鉄の球を使おう。
これなら、銃で破れる心配はないぞ。
そ…、それは……。
あまりに危険すぎる……。
はっはっは。
危険がこわくて、ちくわが食べられるか!
わっ、言っちゃった……。



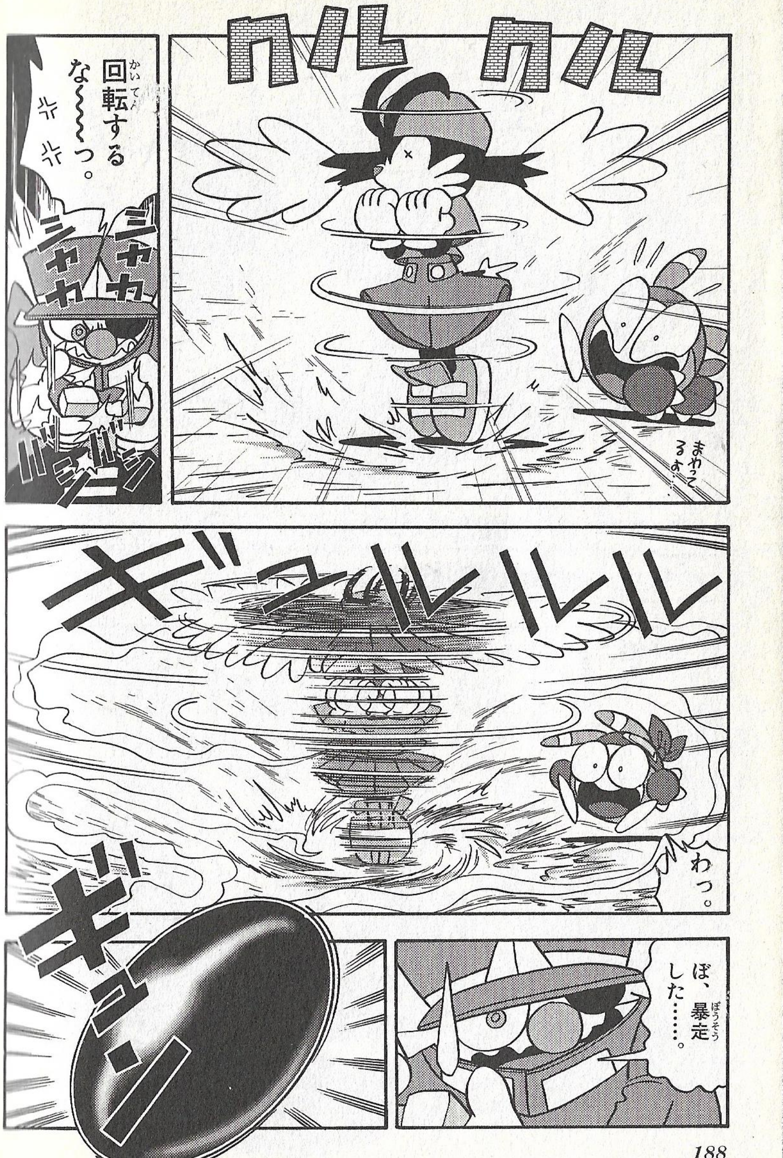
それじゃいくぜ。
地獄のサーブ！
なんの、そんなサーブ。
いけ！クロノア。
ひゅん
あ……、また……。
げ……
流れ弾でコントローラーが……。



でれん
はにゃ？
クロノア、しっかりしろ！
わはは、勝負あったな！
くっ。
応急処置だが、これでなんとか動くはずだ。
カシャ
カシャ
立て、クロノア。

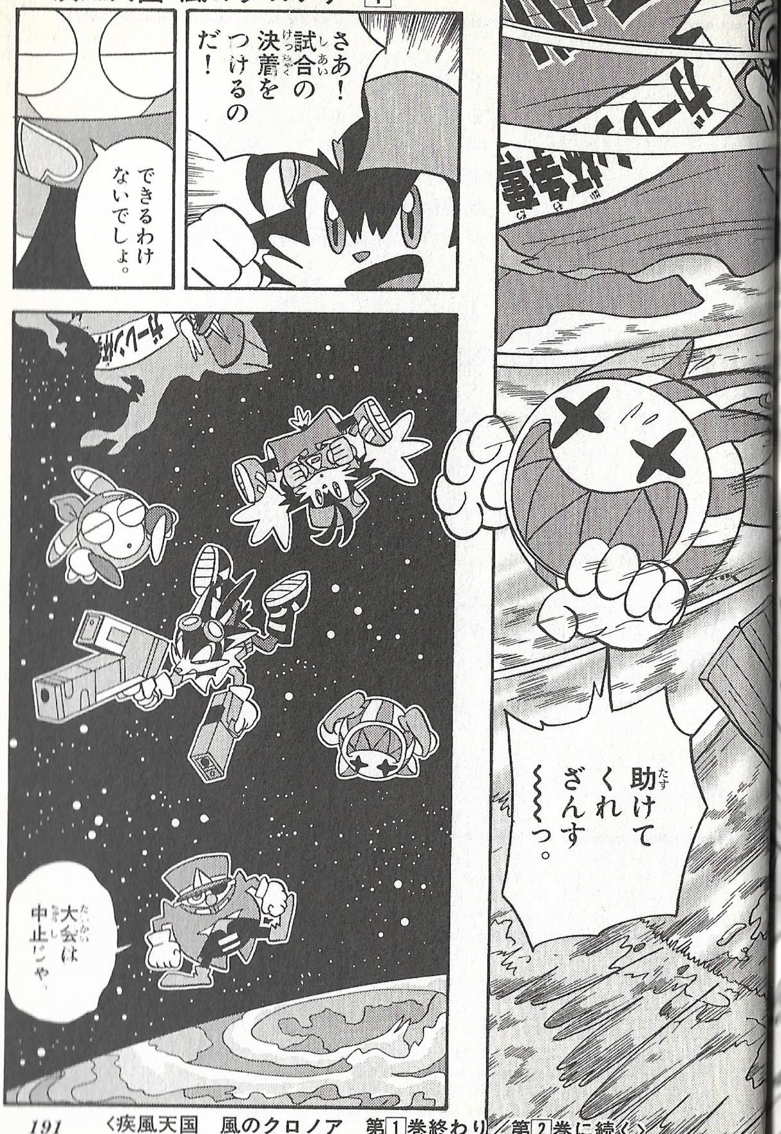

シャキー
な!
ジャカジャカ
意識がないのに、クロノアが動いてる。
へんな生き物がいるざんす。
へんだな。配線をまちがえたのかな。
グリグリ
ピトピト
ジャカジャカ


びよん
びよん
ぞ〜〜〜。
なめるな、こら!
いくぜ! ファイアーサーブ!
ドギュ
ドギュ
くそ。ちゃんと動け! クロノア。
ガシャガシャ


クル クル
回転するな〜〜っ。
シャカ シャカ
まわってるよ…
ギュルルルル
わっ。
ギュン
ぼ、暴走した……。


なにっ。
わっ。
鉄球を打ち返した!♥
クロノアが飛びあがった!
でかした、クロノア!


わあぁ。
ゴオオオ
き、気流に巻きこまれる！


助けてくれざんす〜〜〜っ。
さあ！試合の決着をつけるのだ！
できるわけないでしょ。
大会は中止じゃ。